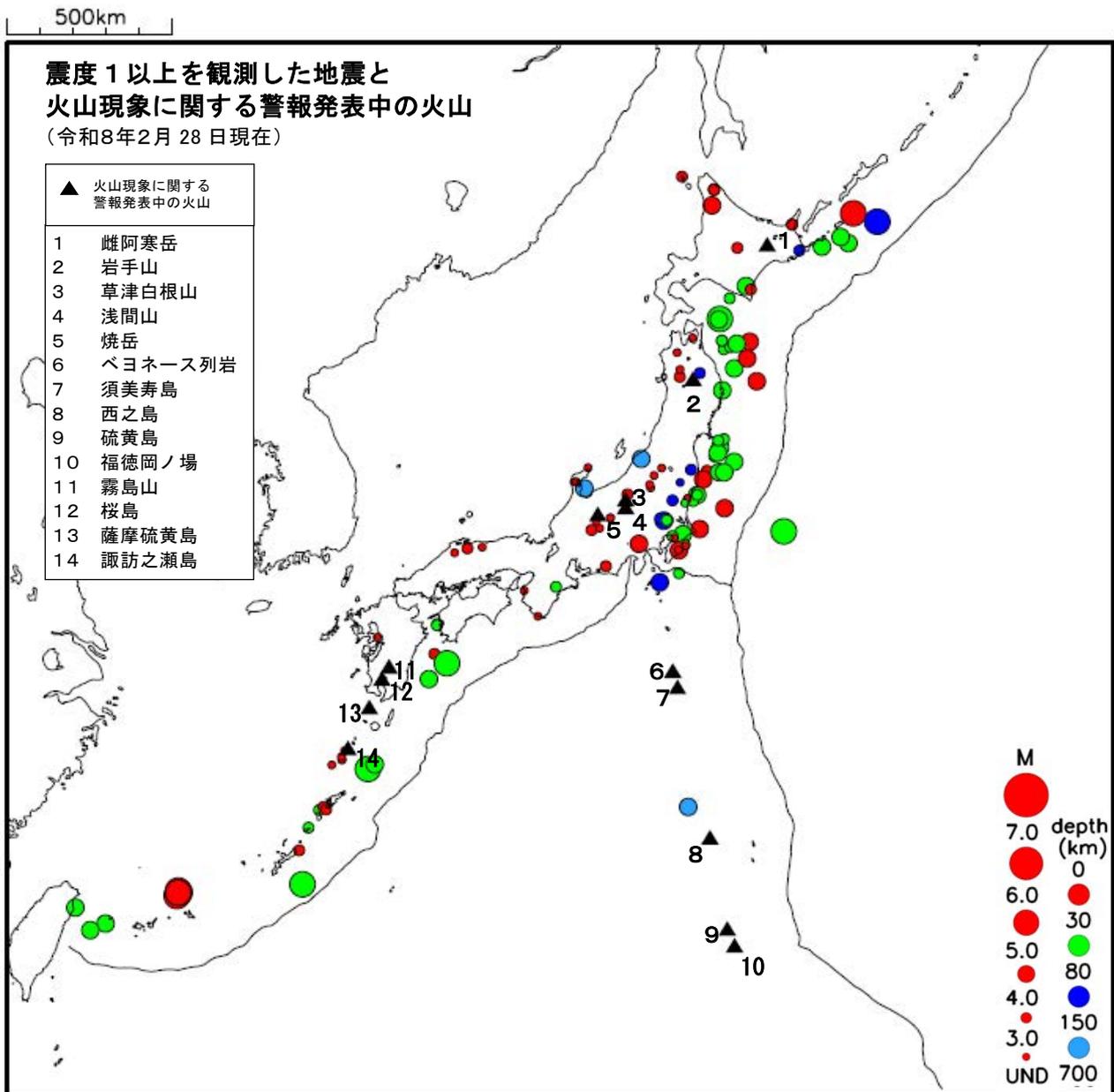


令和8年2月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

February 2026



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

令和 8 年 2 月 地震・火山月報（防災編）

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和 8 年 2 月 28 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、7 政令指定都市。

注** 令和 8 年 2 月 28 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成には GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ (km)

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N = xx, yy/ZZ：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P 波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。なお、CMT 解はベストダブルカップル解を示す。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸） N：N 軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト (Global CMT Project) により求められた解である。

・M-T 図について

縦軸にマグニチュード (M)、横軸に時間 (T) を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1 月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016 年 4 月 1 日以降の震源では、M の小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020 年 9 月以降に発生した地震を含む図については、2020 年 8 月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム (DONET2) による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報 (カタログ編) [気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系 (Japanese Geodetic Datum 2000) に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報 (カタログ編) [気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/bulletin/index_vcatalog.html] に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	4
東北地方の地震活動	6
最近の千島海溝・日本海溝周辺の地震活動	11
関東・中部地方の地震活動	12
近畿・中国・四国地方の地震活動	13
九州地方の地震活動	14
沖縄地方の地震活動	16
その他の地域の地震活動	18
● 南海トラフ周辺の地殻活動	20
● 日本の主な火山活動	23
北海道地方の火山活動	35
東北地方の火山活動	37
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	39
近畿・中国・四国地方の火山活動	43
九州地方の火山活動	44
沖縄地方の火山活動	48
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	49
● 世界の主な地震	51
● 世界の主な火山活動	52
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	53
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	70
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	71
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	72
5. 緊急地震速報の提供状況	74

● 日本及びその周辺での主な地震活動

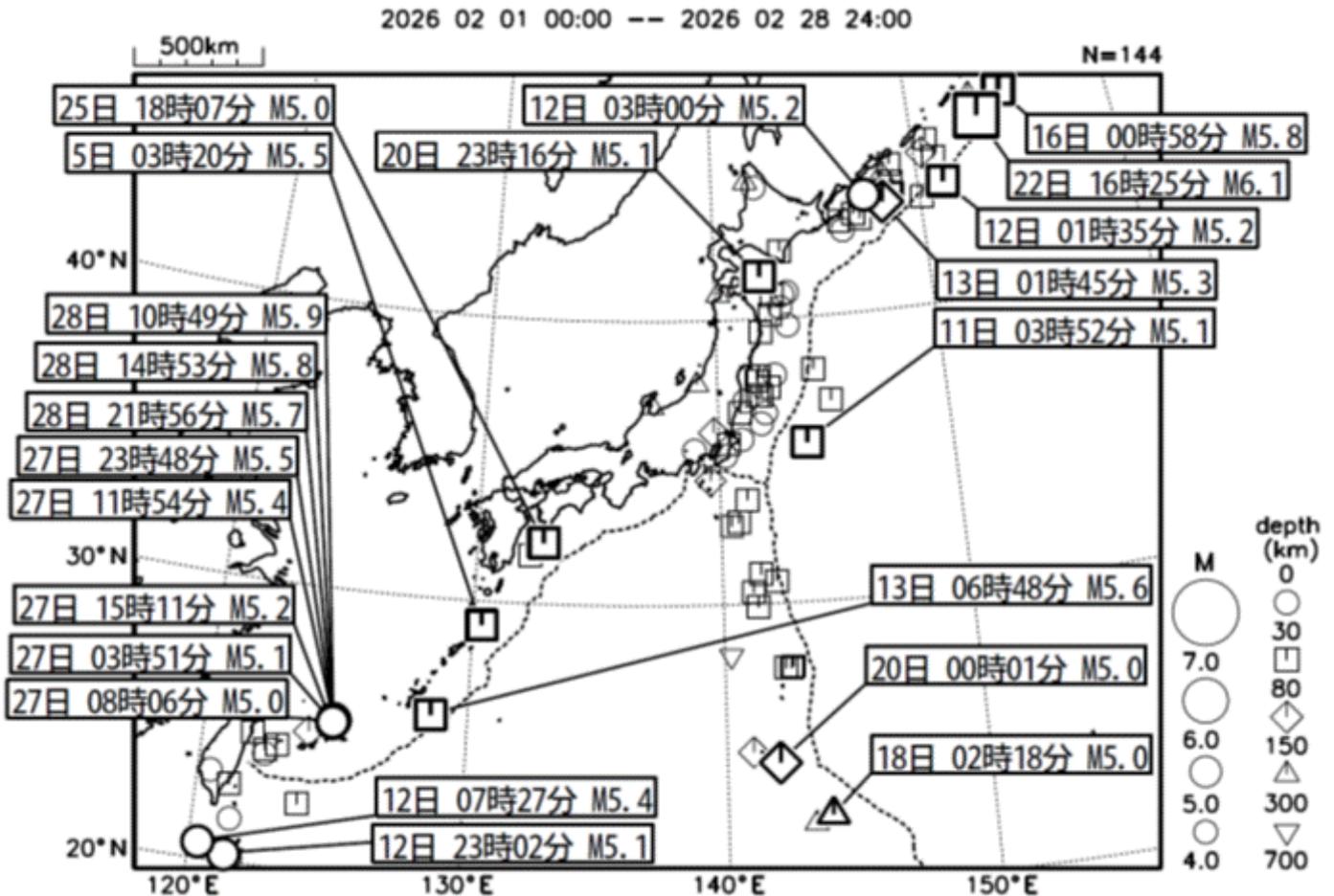


図1 令和8年2月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

令和8年（2026年）2月に日本国内で震度4以上を観測した地震はなかった（1月は11回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は144回（1月は137回）であった（図1）。2月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3に示す。2月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（1月は震度5弱以上観測した地震は2回、津波を観測した地震はなかった）。

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和8年2月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	2 5 3 20	奄美大島北東沖	5.5	5.5	・ ・ ・ ・	3：鹿児島県 鹿児島十島村悪石島* 鹿児島十島村諏訪之瀬島*	15
2	2 12 3 0	北海道東方沖	5.2	4.9	・ ・ ・ ・	3：北海道 根室市落石東*	5
3	2 20 23 16	青森県東方沖	5.1	5.3	・ ・ ・ ・	3：青森県 東通村砂子又沢内* 階上町道仏*	7～9
4	2 22 16 25	千島列島	6.1	-	M ・ ・ ・		19
5	2 25 3 16	岩手県沿岸北部	4.6	-	・ ・ ・ ・	3：岩手県 花巻市大迫総合支所* 矢巾町南矢幅* 奥州市胆沢* など1県6地点	10
6		宮古島北西沖				2月中に震度1以上を観測した地震が17回 (震度2：6回、震度1：11回)	17

(注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

(注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

(注4) M_w欄の「-」はM_wが求められていないことを示す。

(注5) M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注6) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

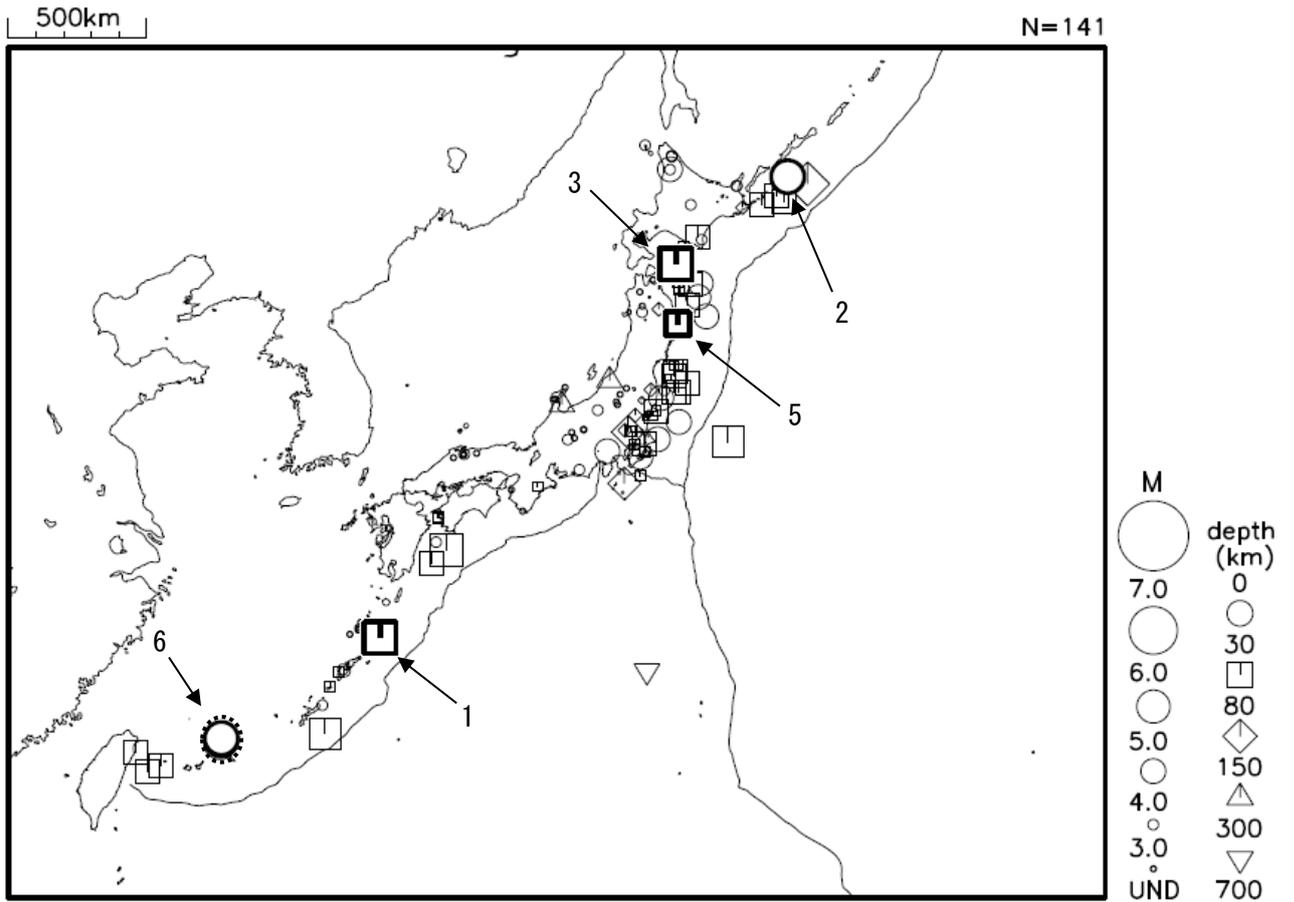


図2 令和8年2月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

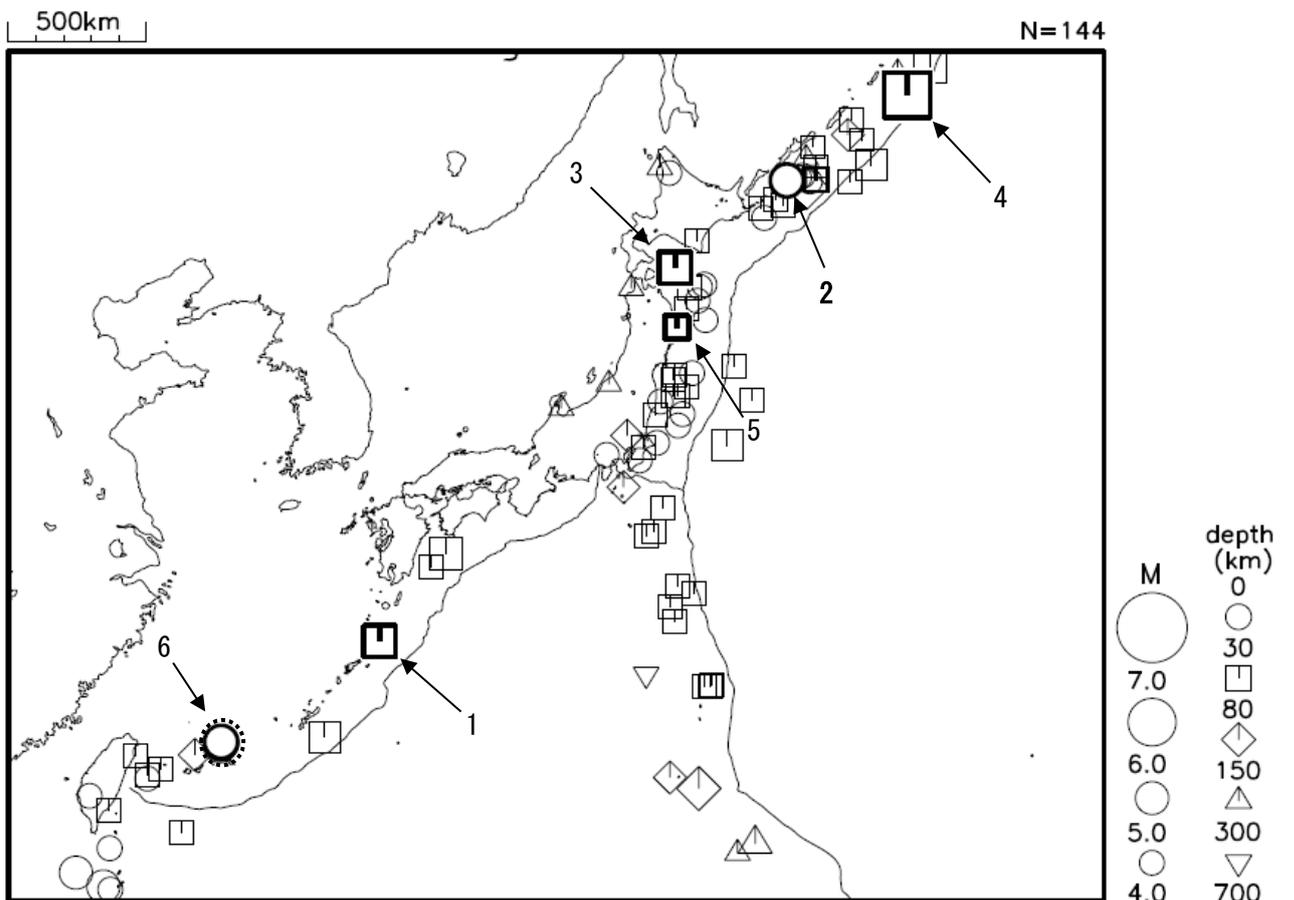


図3 令和8年2月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

○北海道地方の地震活動

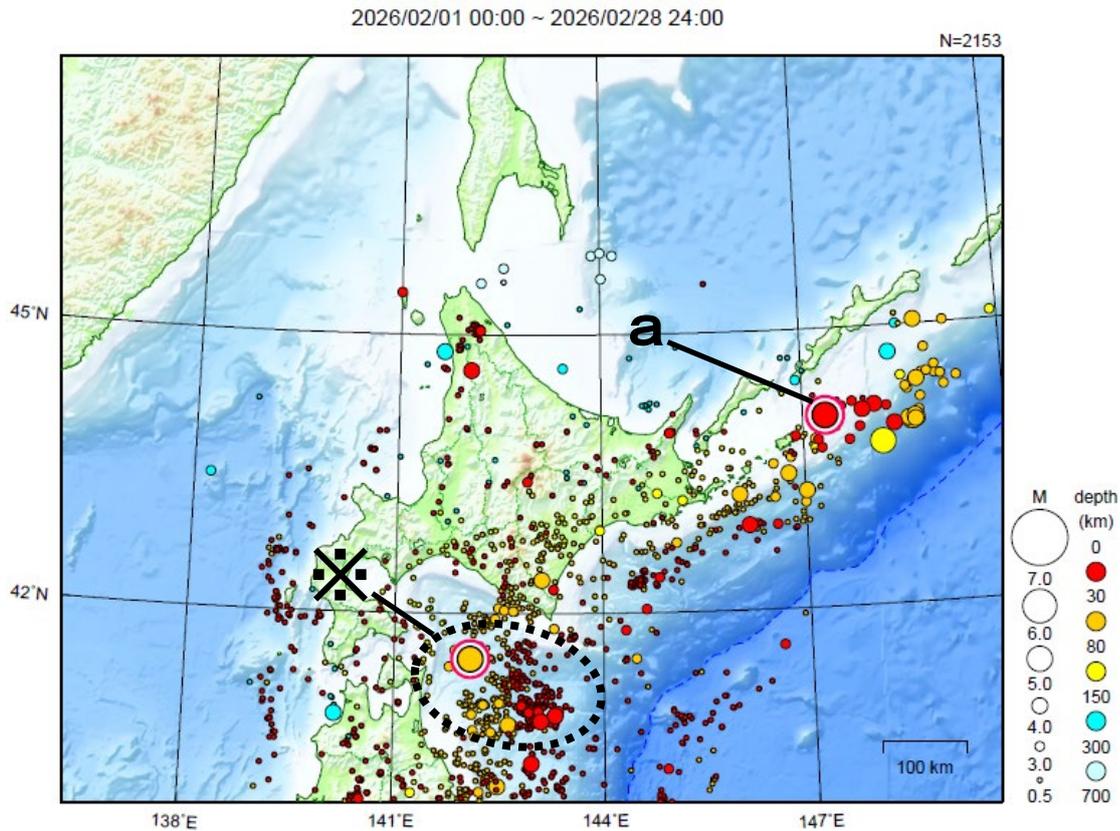


図 4 北海道地方の震央分布図（2026 年 2 月 1 日～2 月 28 日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

〔概況〕

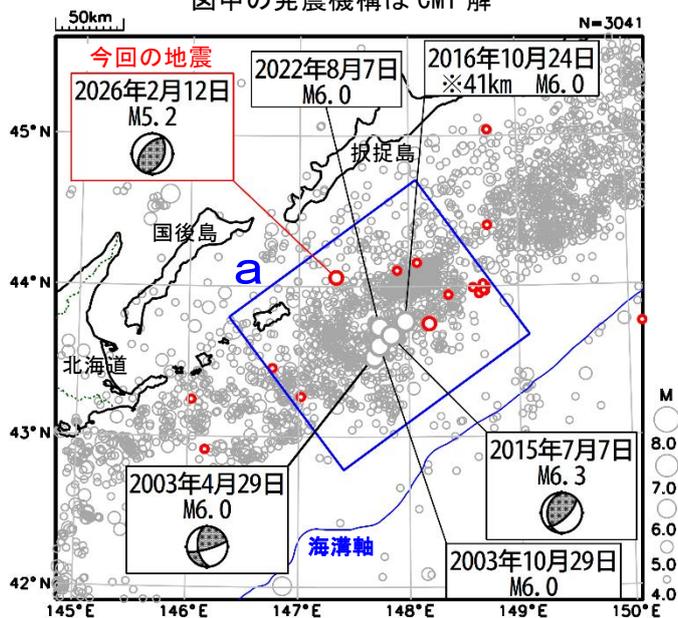
2 月に北海道地方で震度 1 以上を観測した地震は 23 回（1 月は 70 回）であった。
2 月中の主な地震活動は次のとおりである。

- a 12 日 03 時 00 分に北海道東方沖で $M5.2$ の地震が発生し、北海道根室市で震度 3 を観測したほか、北海道で震度 2～1 を観測した（p. 5 参照）。

※ 東北地方の地震活動を参照（p. 6～9 参照）。

2月12日 北海道東方沖の地震

震央分布図
 (2001年10月1日～2026年2月28日、
 深さ0～150km、 $M \geq 4.0$)
 2026年2月に発生した地震を赤色で表示
 図中の発震機構はCMT解



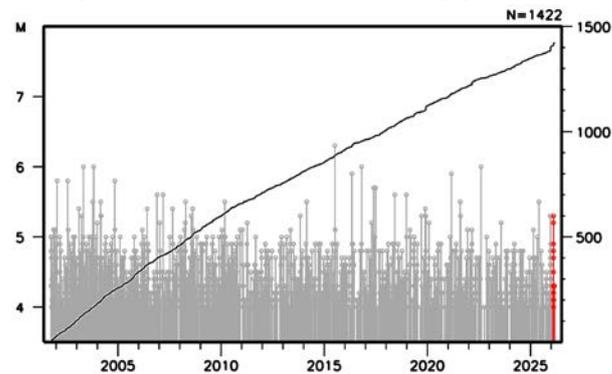
※深さはCMT解による

2026年2月12日03時00分に北海道東方沖でM5.2の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

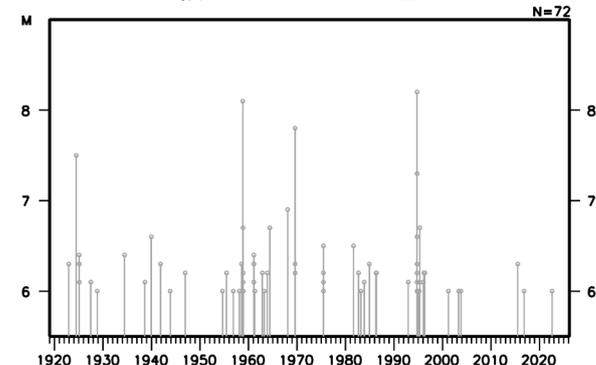
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、M6.0以上の地震が5回発生しており、2015年7月7日にはM6.3の地震 (最大震度3) が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M7.0以上の地震が5回発生しており、1994年10月4日の「平成6年 (1994年) 北海道東方沖地震」 (M8.2、最大震度6) では、北海道根室市花咲で168cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波など、北海道から沖縄の太平洋沿岸、オホーツク海沿岸で津波を観測した。また、この地震により、重軽傷者436人、住家被害4,586棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

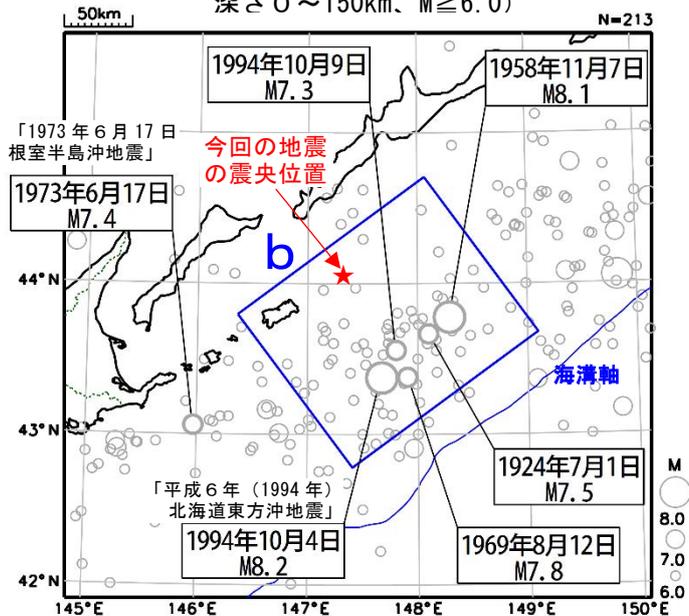
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



震央分布図
 (1919年1月1日～2026年2月28日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



○東北地方の地震活動

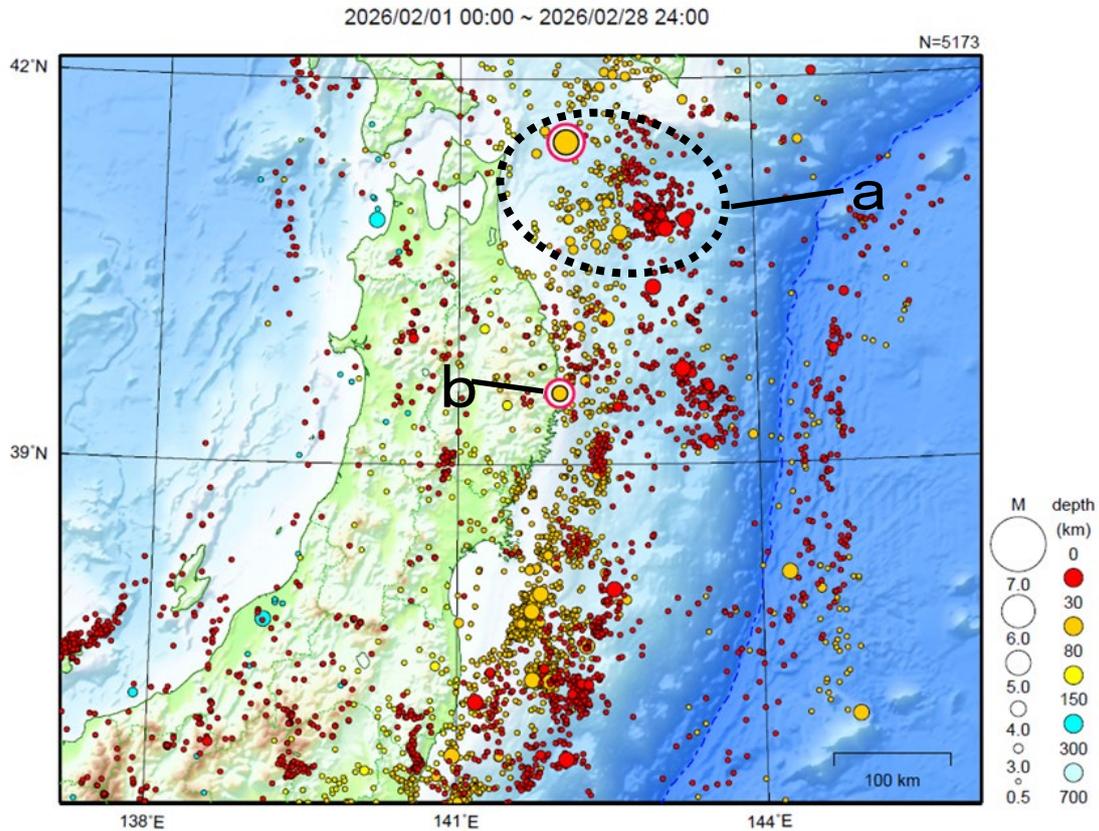


図5 東北地方の震央分布図（2026年2月1日～2月28日、M \geq 0.5）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

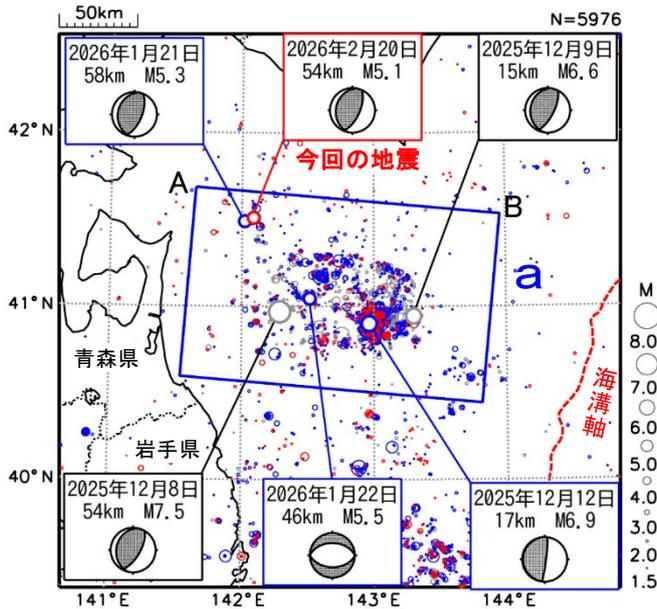
2月に東北地方で震度1以上を観測した地震は40回（1月は53回）であった。
2月中の主な活動は次のとおりである。

- a 20日23時16分に青森県東方沖の深さ54kmでM5.1の地震が発生し、青森県で震度3を観測したほか、北海道及び東北地方で震度2～1を観測した。この地震の震央周辺（領域a）では、2025年12月8日に青森県東方沖でM7.5の地震（最大震度6強）が発生して以降、地震活動が継続している（p. 7～9参照）。
- b 25日03時16分に岩手県沿岸北部の深さ54kmでM4.6の地震が発生し、岩手県で震度3を観測したほか、東北地方で震度2～1を観測した（p. 10参照）。

2月20日 青森県東方沖の地震 (2025年12月8日からの青森県東方沖の地震活動)

震央分布図

(2025年12月1日～2026年2月28日、深さ0～140km、M \geq 1.5)
 ○2025年12月1日～2025年12月11日 ●2025年12月12日～2026年1月31日
 ●2026年2月1日以降 図中の発震機構はCMT解を示す

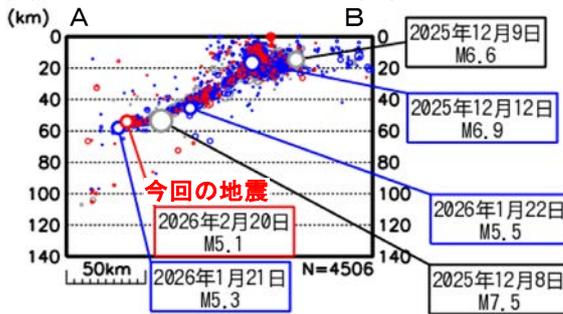


2026年2月20日23時16分に青森県東方沖の深さ54kmでM5.1の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

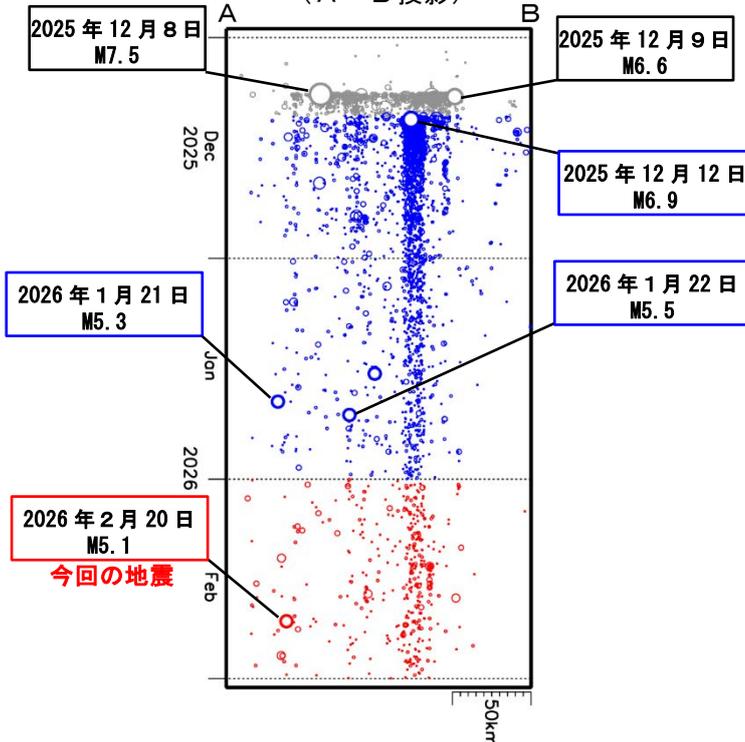
今回の地震の震央周辺 (領域a) では、2025年12月8日にM7.5の地震が発生して以降地震活動が継続しており、特に2025年12月12日のM6.9の地震の震源付近で活発に推移している。

2025年12月8日から2026年2月28日まで震度1以上を観測した地震が68回 (震度6強: 1回、震度4: 4回、震度3: 11回、震度2: 18回、震度1: 34回) 発生した。このうち、2月に発生した地震は8回 (震度3: 2回、震度2: 2回、震度1: 4回) である。

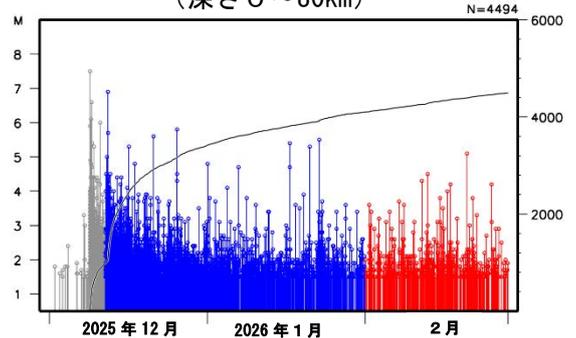
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域a内の時空間分布図 (A-B投影)

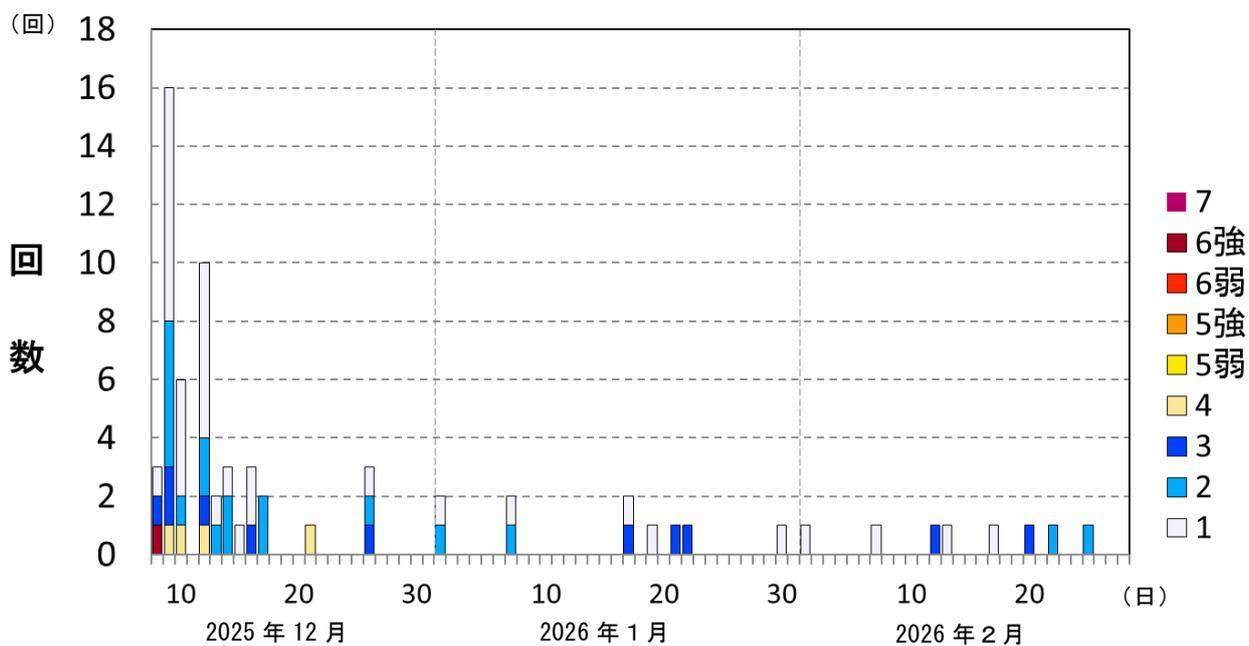


領域a内のM-T図及び回数積算図 (深さ0～80km)



令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

最大震度別地震回数（日別）
 （2025年12月8日23時～2026年2月28日24時、震度1以上の地震）

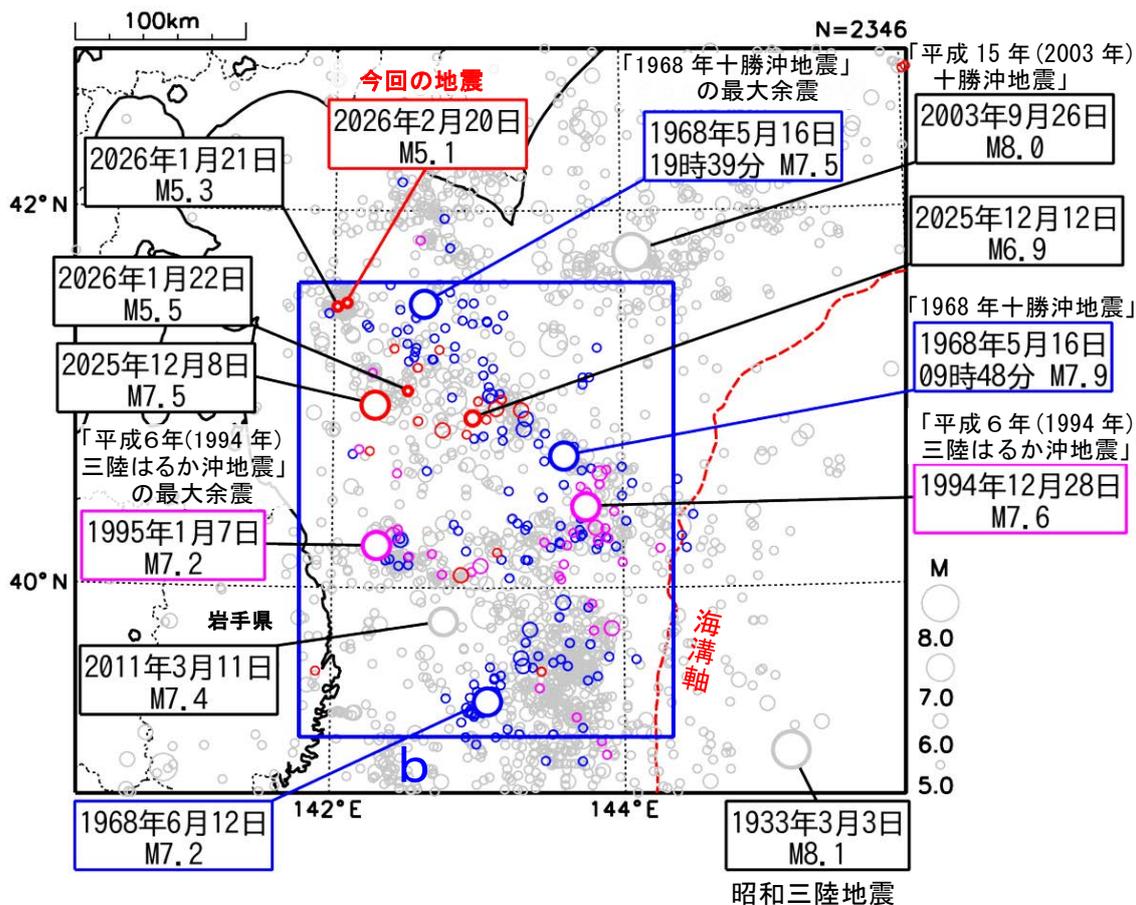


最大震度別地震回数表
 （2025年12月8日23時～2026年2月28日24時）

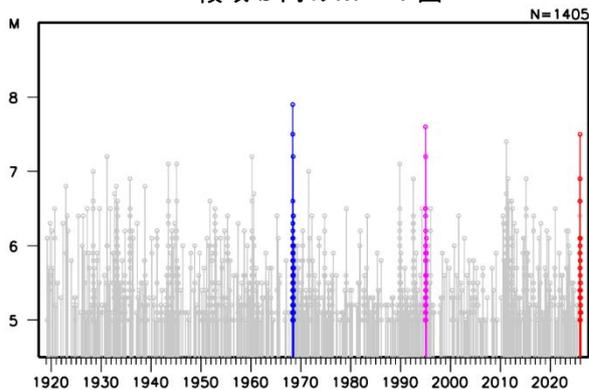
月別（2025年12月8日～2026年1月） 日別（2026年2月）	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		震度4以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	回数	累計	
2025年12月 （12/8 23時～12/31 24時）	25	14	6	4	0	0	0	1	0	50	50	5	5	
2026年1月	5	2	3	0	0	0	0	0	0	10	60	0	5	
2月1日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	61	0	5	
2月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	5	
2月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	5	
2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	5	
2月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	5	
2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	5	
2月7日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	62	0	5	
2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	5	
2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	5	
2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	5	
2月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	5	
2月12日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	63	0	5	
2月13日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	64	0	5	
2月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	0	5	
2月15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	0	5	
2月16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	0	5	
2月17日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	65	0	5	
2月18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	0	5	
2月19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	0	5	
2月20日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	66	0	5	
2月21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66	0	5	
2月22日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	67	0	5	
2月23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	0	5	
2月24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	0	5	
2月25日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	68	0	5	
2月26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	5	
2月27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	5	
2月28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0	5	
総計	34	18	11	4	0	0	0	1	0	-	68	-	5	

震央分布図(1919年1月1日～2026年2月28日、深さ0～100km、M≥5.0)

- 1968年5月16日～1968年7月31日 ○ 1994年12月28日～1995年2月28日
- 2025年12月1日以降 ○ 上記以外の期間



領域 b 内の M-T 図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7を超える地震が時々発生している。このうち、1968年5月16日には「1968年十勝沖地震」（M7.9、最大震度5）が発生し、青森県八戸〔火力発電所〕で295cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟、半壊3,004棟、一部破損15,697棟などの被害が生じた。

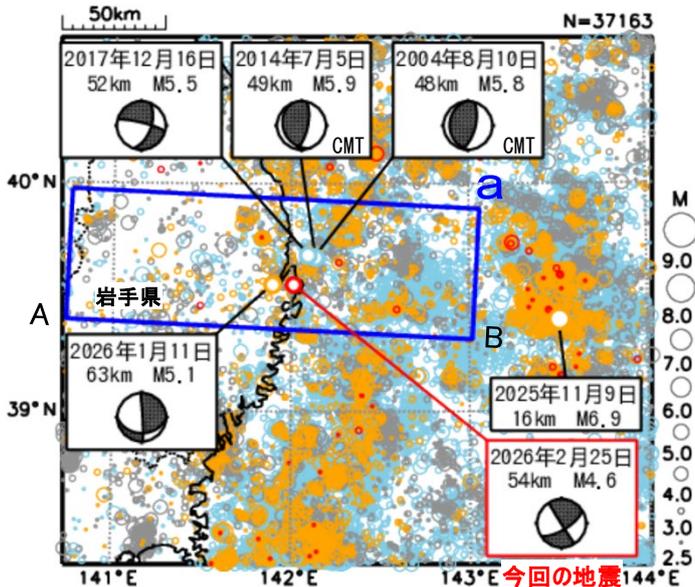
また、1994年12月28日には「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」（M7.6、最大震度6）が発生した。この地震により、青森県八戸と岩手県宮古で50cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「験震時報第64巻」による）ほか、死者3人、負傷者688人、住家全壊72棟、半壊429棟、一部破損9,021棟などの被害が生じた（被害は、いずれも「日本被害地震総覧」による）。

2月25日 岩手県沿岸北部の地震

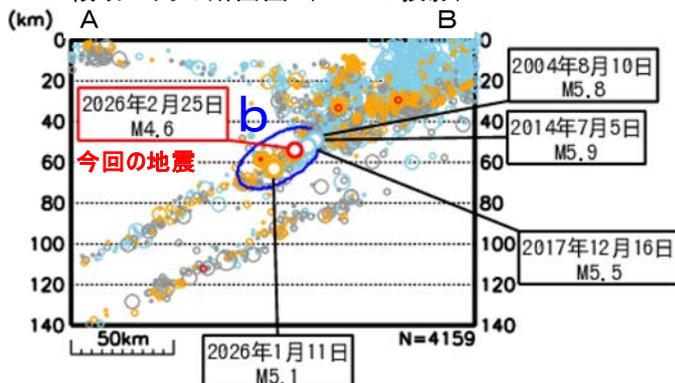
震央分布図

(1997年10月1日～2026年2月28日、深さ0～140km、 $M \geq 2.5$)

- 1997年10月1日～2011年2月28日
- 2011年3月1日～2020年8月31日
- 2020年9月1日～2026年1月31日
- 2026年2月1日以降

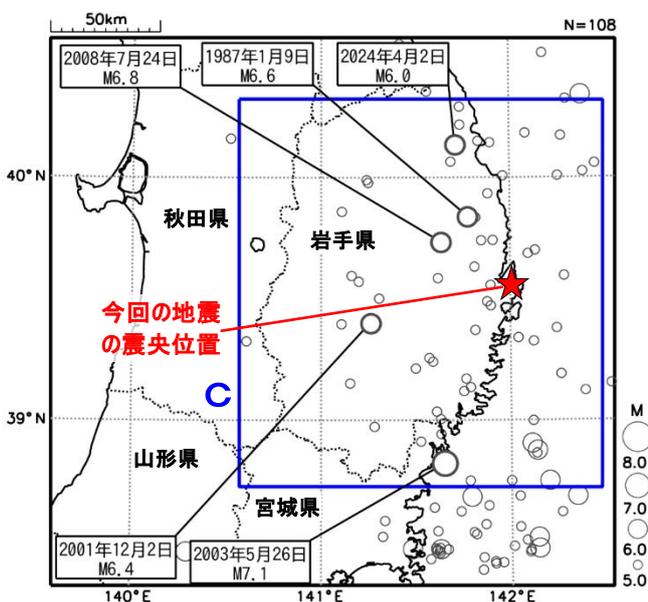


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

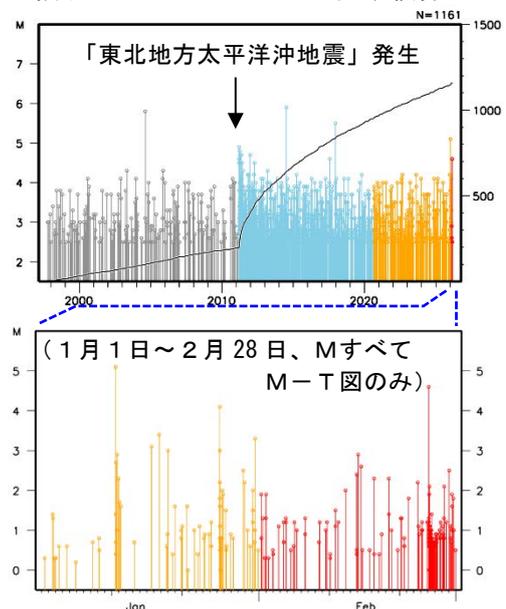
(1919年1月1日～2026年2月28日、深さ50～150km、 $M \geq 5.0$)



2026年2月25日03時16分に岩手県沿岸北部の深さ54kmでM4.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

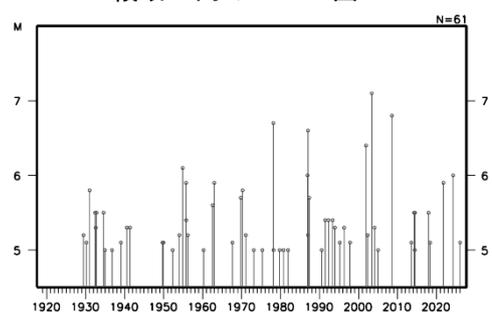
1997年10月以降の活動を見ると、これらの地震の震源付近（領域b）では2026年1月11日にM5.1の地震（最大震度4）が発生するなど、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）発生以降、地震活動が活発で、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6を超える地震が時々発生しており、2008年7月24日には深さ108kmでM6.8の地震（最大震度6弱）が発生した。この地震により死者1人、負傷者211人、住家全壊1棟、一部破損379棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

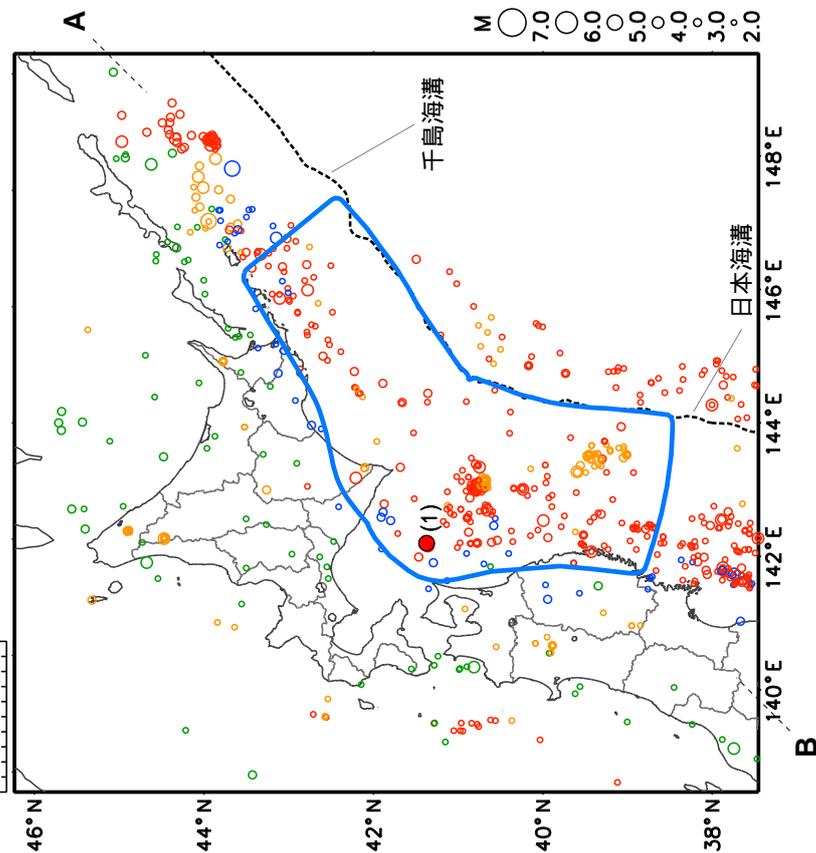
領域c内のM-T図



最近の千島海溝・日本海溝周辺の地震活動

2026年2月1日～2月28日

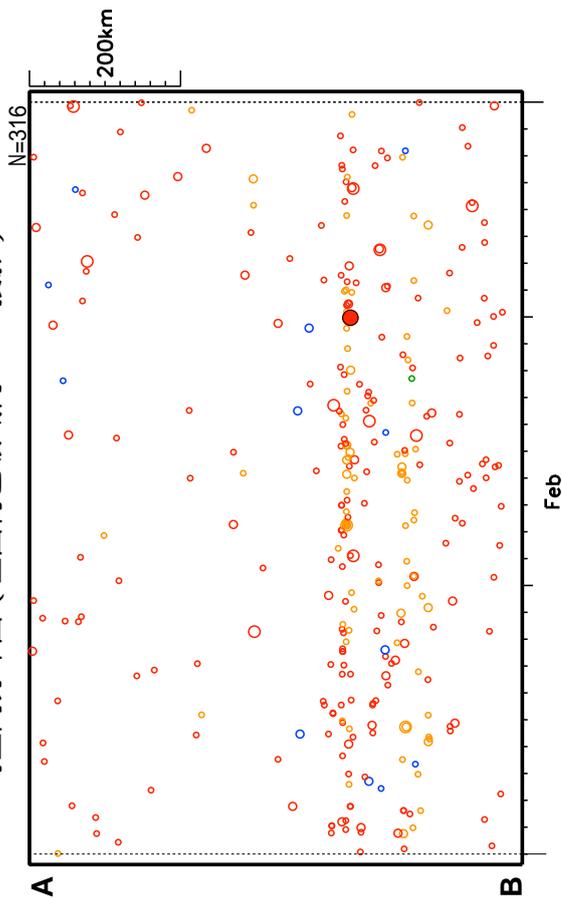
震央分布図（2026年2月1日～2月28日、M 2.0、深さ0～500km）



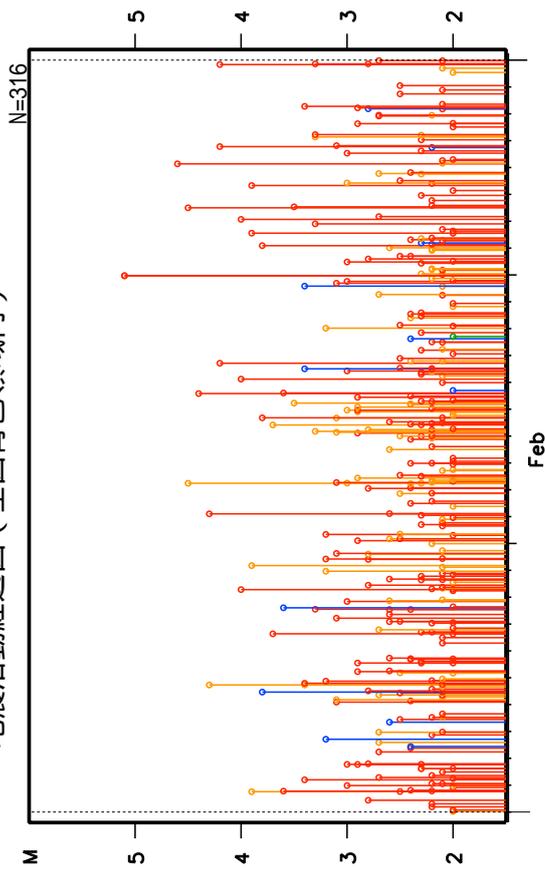
深さ
 0～15km 黄
 15～60km 赤
 60～100km 青
 100～500km 緑

M ○ 7.0
 ○ 6.0
 ○ 5.0
 ○ 4.0
 ○ 3.0
 ○ 2.0

時空間分布図（左図青色領域内：A-B投影）



地震活動経過図（左図青色領域内）



青の実線は千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「十勝・根室沖」及び「日高・三陸沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

[主な地震活動]

- ・上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震（最大5つ）
- ・近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

(1) 02月20日 23時16分 M5.1 最大震度3 青森県東方沖

○関東・中部地方の地震活動

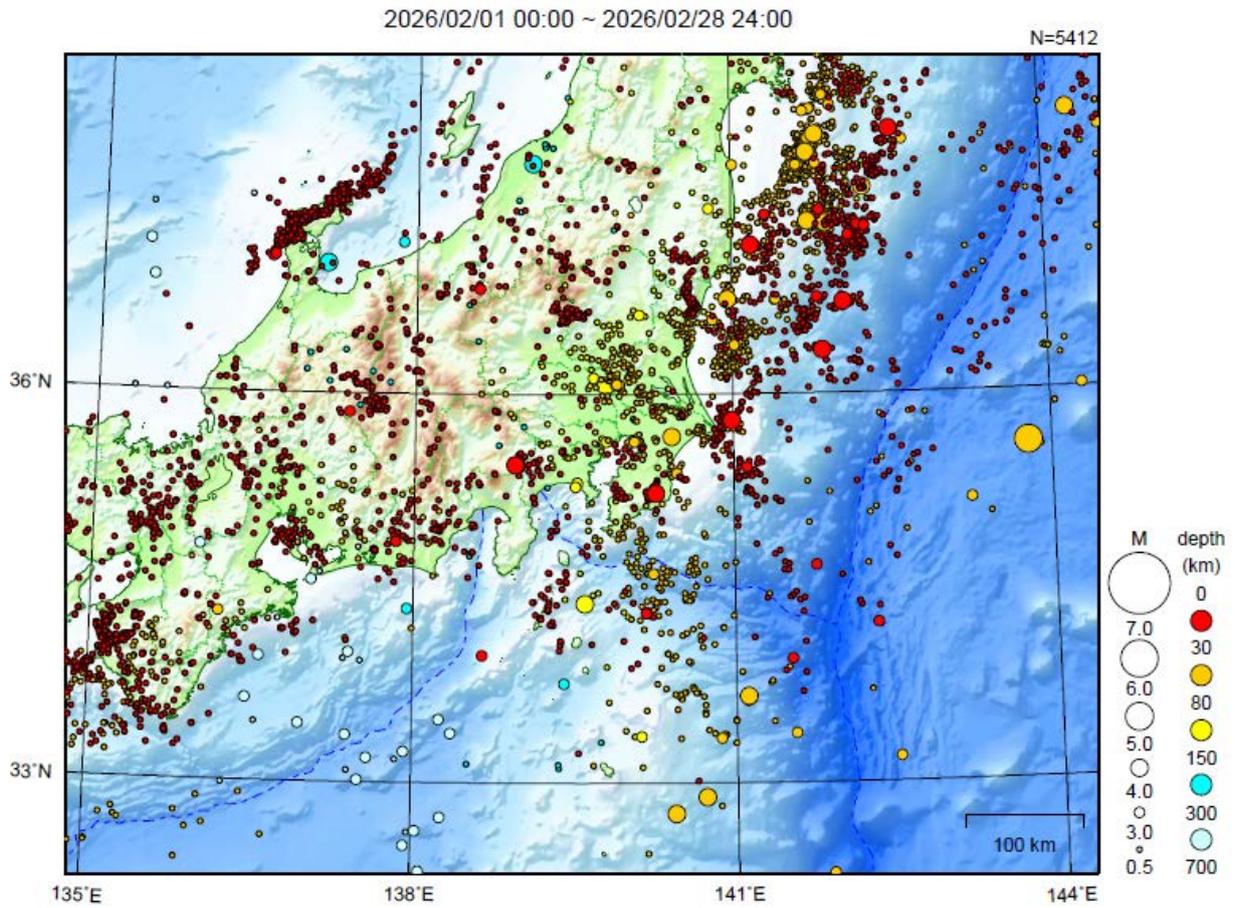


図6 関東・中部地方の震央分布図（2026年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

2月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は42回（1月は74回）であった。

2月中、特に目立った地震活動はなかった。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

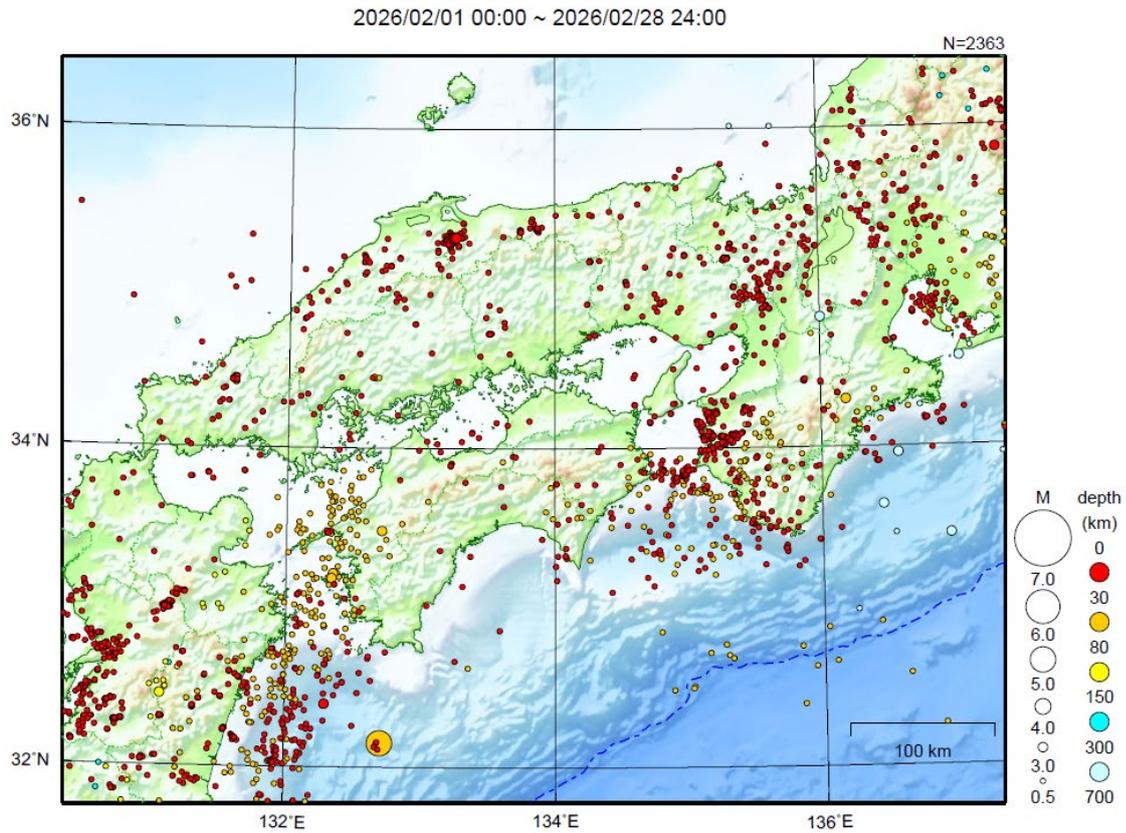


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2026年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

[概況]

2月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は12回（1月は71回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

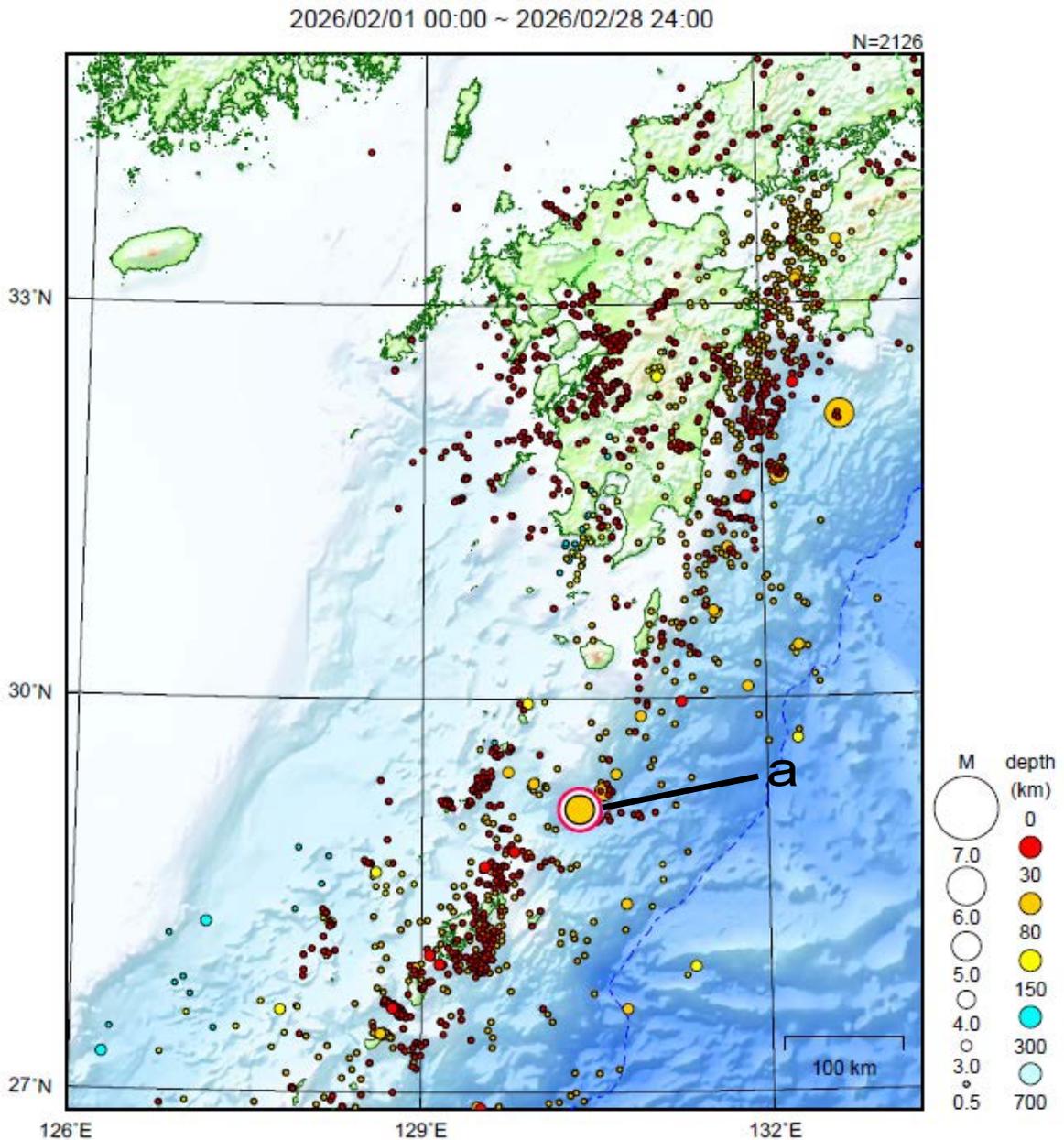


図8 九州地方の震央分布図（2026年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

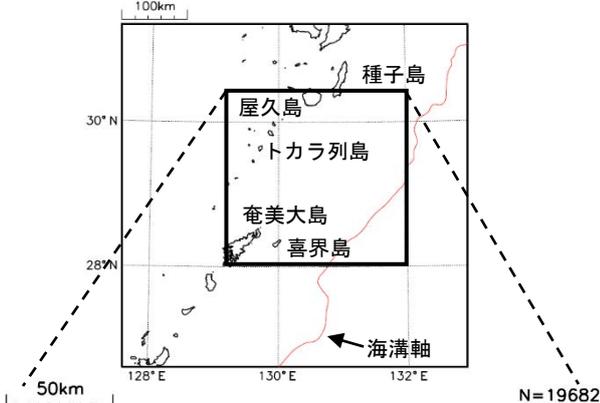
[概況]

2月に九州地方で震度1以上を観測した地震は17回（1月は39回）であった。
2月の主な活動は次のとおりである。

- a 5日03時20分に奄美大島北東沖でM5.5の地震が発生し、鹿児島県十島村（諏訪之瀬島、悪石島）で震度3を観測したほか、鹿児島県で震度2～1を観測した（p. 15参照）。

2月5日 奄美大島北東沖の地震

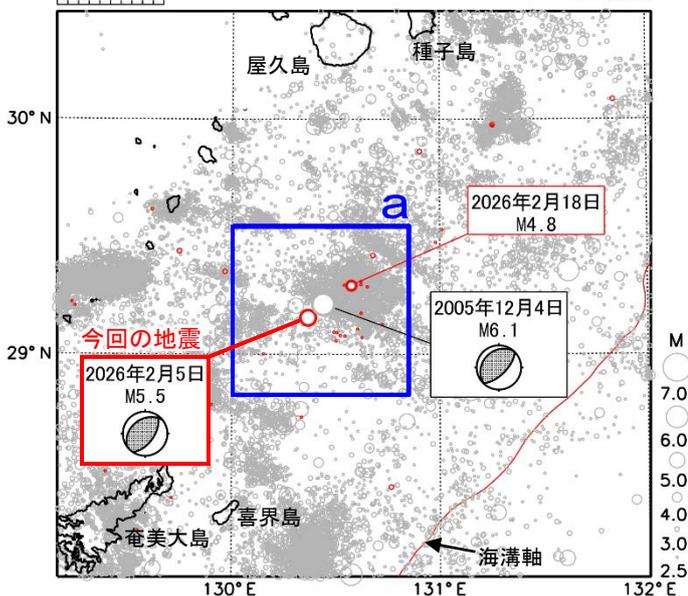
震央分布図
 (1994年10月1日～2026年2月28日、
 深さ0～100km、 $M \geq 2.5$)
 2026年2月の地震を赤色○で表示
 図中の発震機構はCMT解



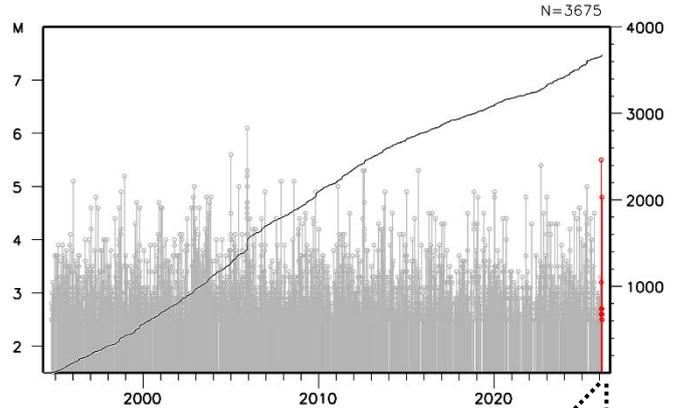
2026年2月5日03時20分に奄美大島北東沖でM5.5の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。また、この地震の震央付近（領域a）では、18日11時27分にM4.8の地震（最大震度3）が発生している。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が時々発生しており、2005年12月4日にはM6.1の地震（最大震度3）が発生している。

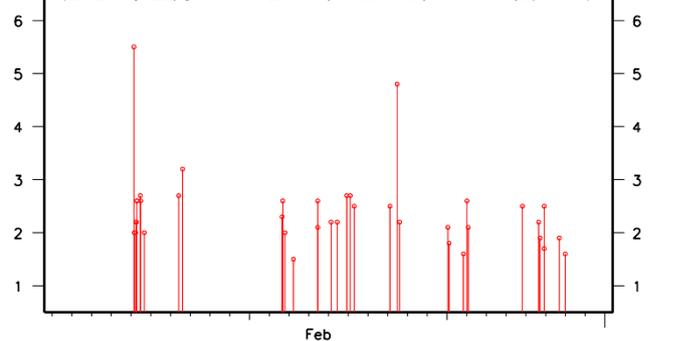
1919年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2009年10月30日にM6.8の地震（最大震度4）が発生し、鹿児島県の枕崎で18cmの津波を観測したほか、鹿児島県及び沖縄県で津波を観測した。



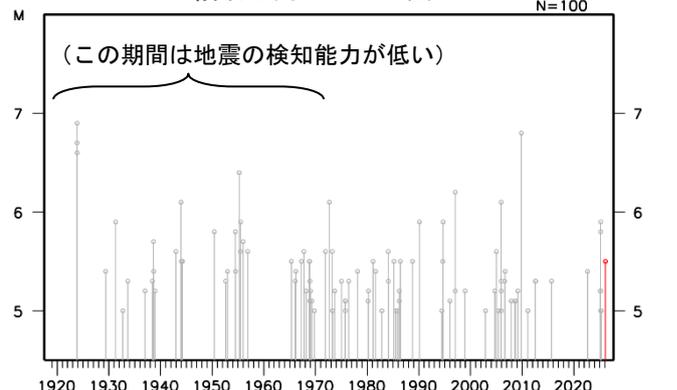
領域a内のM-T図及び回数積算図



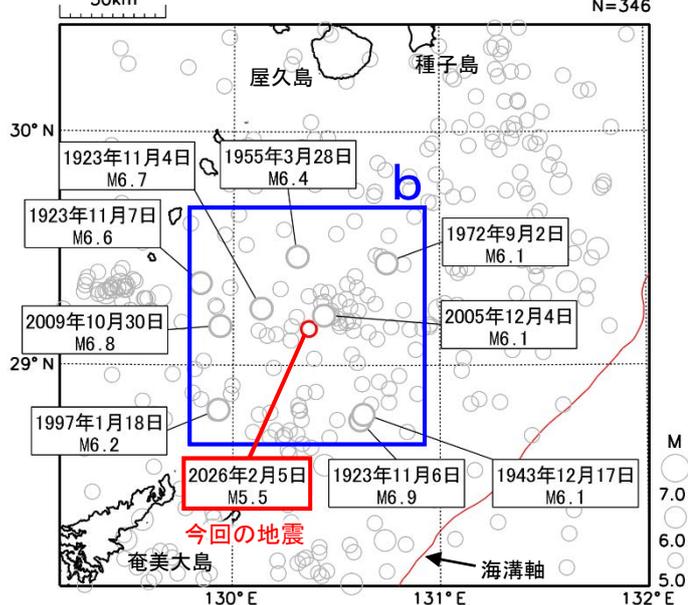
(2026年2月1日～28日、 $M \geq 1.5$ 、M-T図のみ)



領域b内のM-T図



震央分布図
 (1919年1月1日～2026年2月28日、
 深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
 2026年2月の地震を赤色○で表示



○沖縄地方の地震活動

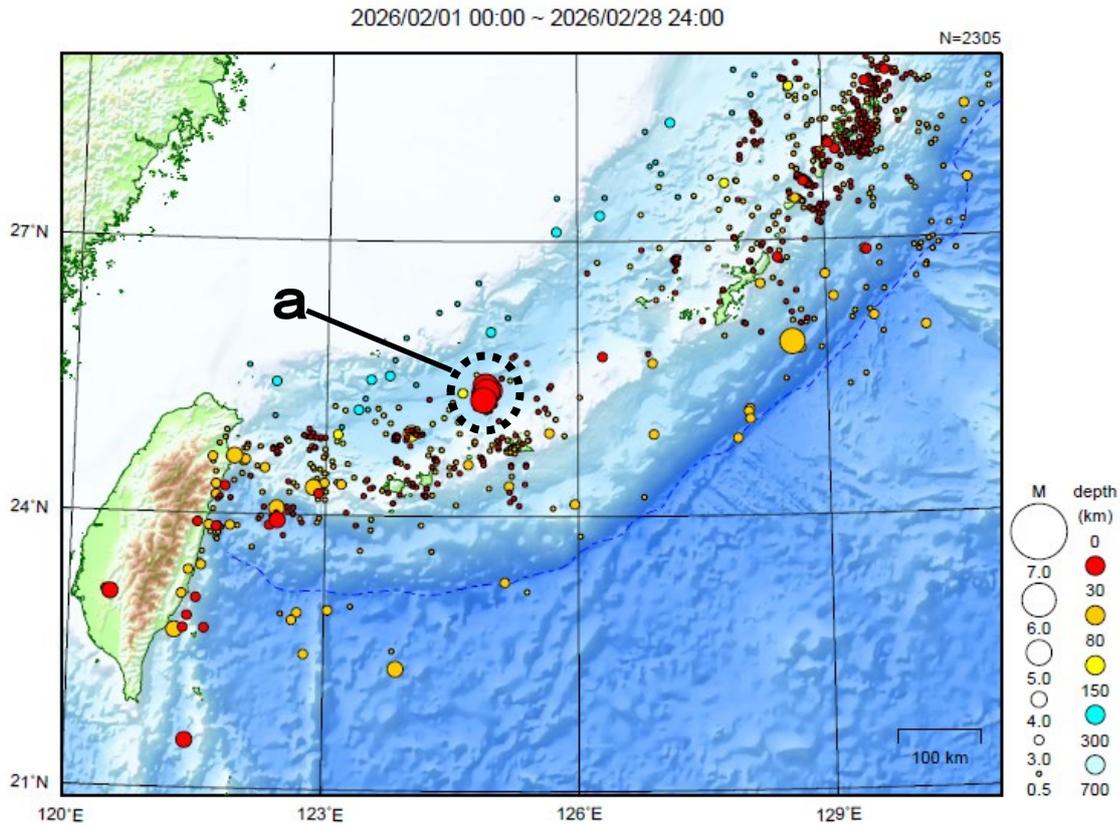


図9 沖縄地方の震央分布図（2026年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

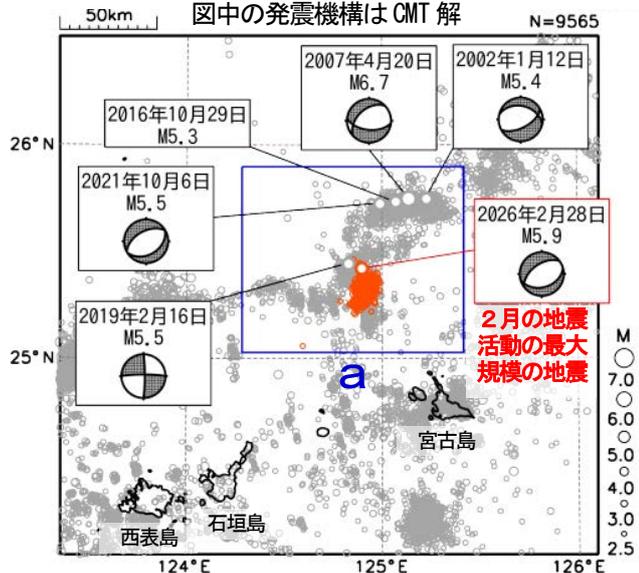
〔概況〕

2月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は22回（1月は3回）であった。2月の主な活動は次のとおりである。

- a 宮古島北西沖では、2月に震度1以上を観測した地震が17回（震度2：6回、震度1：11回）発生した。このうち最大規模の地震は、28日10時49分に発生したM5.9の地震で、宮古島と多良間島で震度2を観測したほか、宮古島から西表島にかけて震度2～1を観測した（p.17参照）。

宮古島北西沖の地震活動

震央分布図
(2000年7月1日～2026年2月28日、
深さ0km～50km、 $M \geq 2.5$)
2026年2月26日～2月28日の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

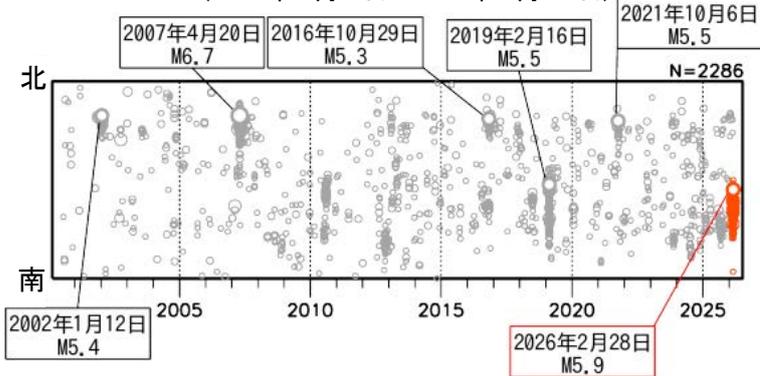


宮古島北西沖では、2026年2月26日から地震活動が活発となっている。この地震活動により、2月26日から2月28日までに震度1以上を観測する地震が17回 (震度2:6回、震度1:11回) 発生した。これらの地震は陸のプレート内で発生した。このうち最大規模の地震は、28日10時49分に発生したM5.9の地震 (最大震度2) で、発震機構 (CMT解) は、北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。

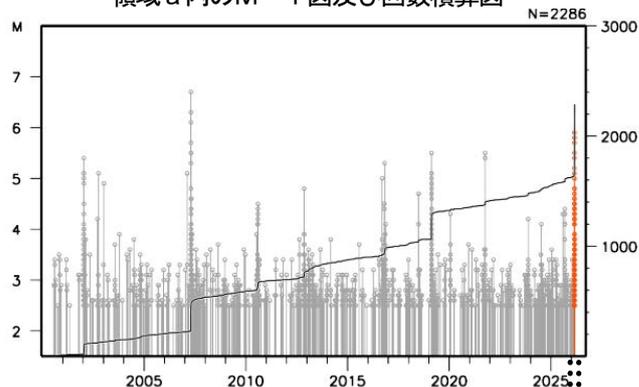
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、M5.0以上の地震活動が時々見られる。2007年4月20日には、M6.7の地震 (最大震度3) が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M6.0以上の地震がまれに見られる。1938年6月10日にはM7.2の地震 (最大震度4) が発生しており、宮古島平良港に地震後10分で津波が襲来して高さ1.5m (目視による最大の高さ)、栈橋の流出などの被害があった (被害は、日本被害地震総覧による)。

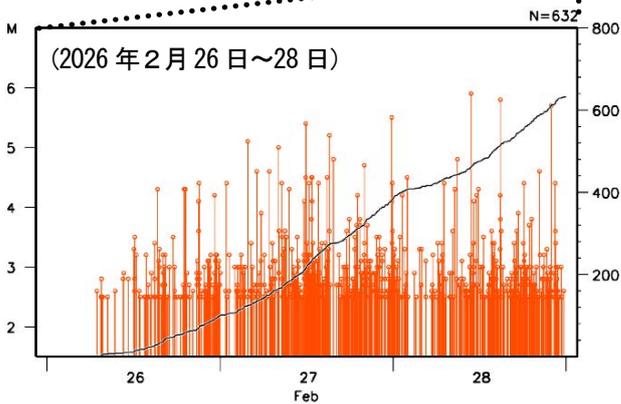
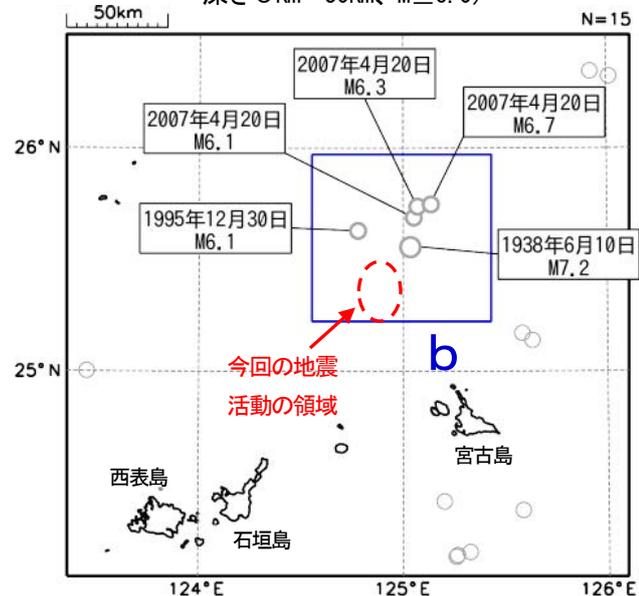
領域a内の時空間分布図 (南北投影)
(2000年7月1日～2026年2月28日)



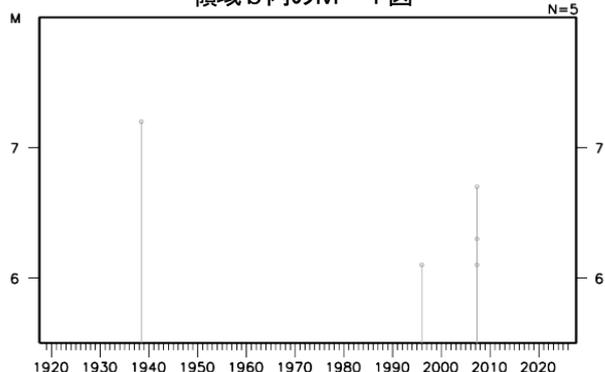
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2026年2月28日、
深さ0km～50km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図



○その他の地域の地震活動

2026/02/01 00:00 ~ 2026/02/28 24:00

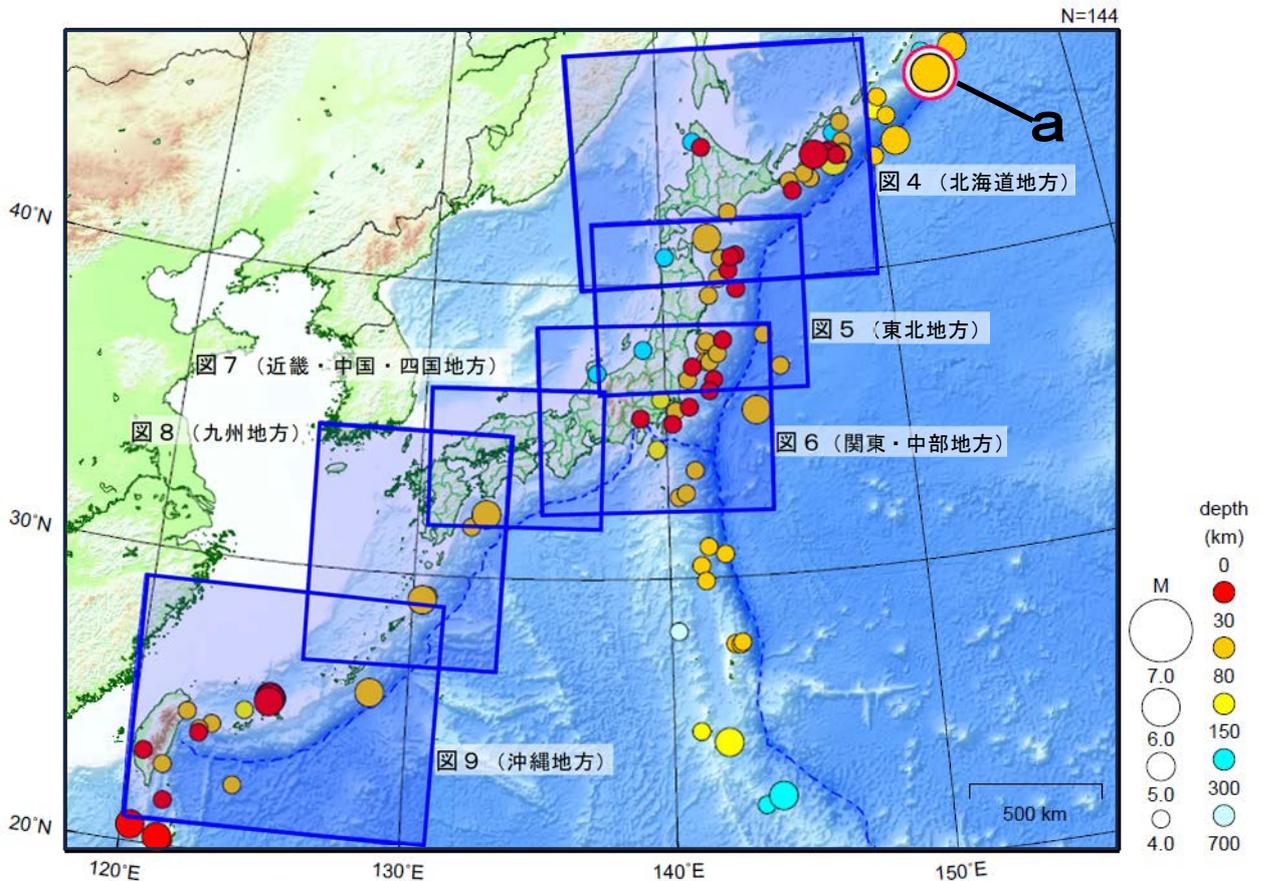


図10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2026年2月1日～2月28日、 $M \geq 4.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

[概況]

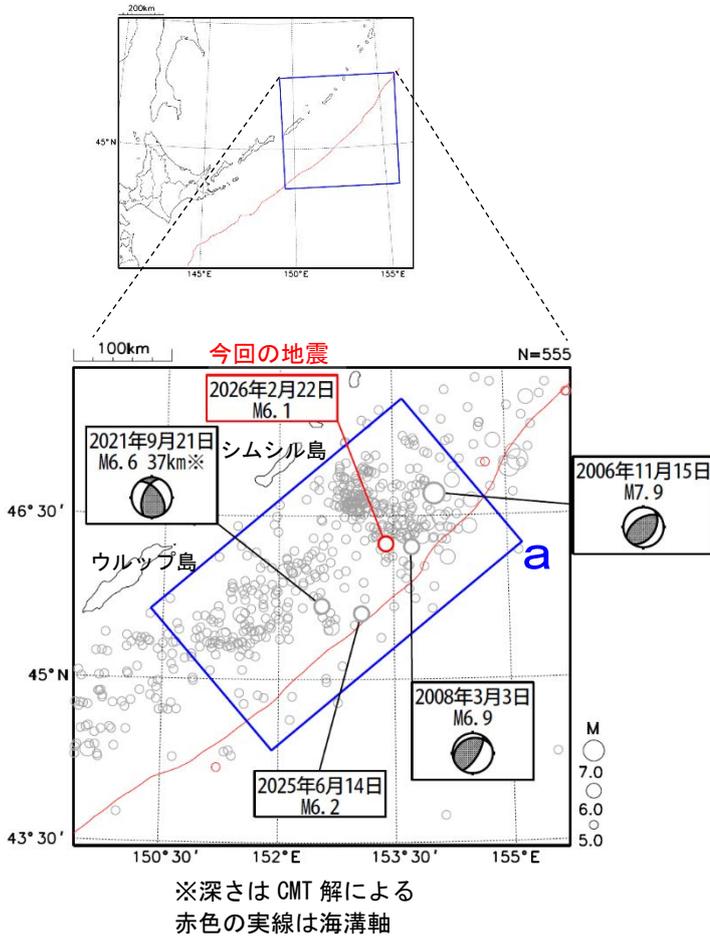
2月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震は1回（1月は3回）。

2月中の主な活動は次のとおりである。

- a 22日16時25分に千島列島でM6.1の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。（p.19参照）。

2月22日 千島列島の地震

震央分布図
 (197年10月1日～2026年2月28日、
 深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
 2026年2月の地震を赤色で表示
 図中の発震機構はCMT解

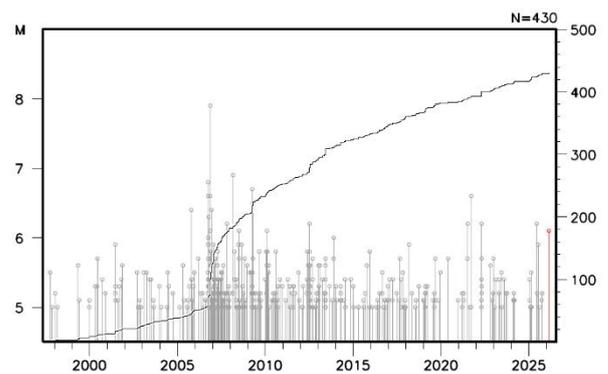


2026年2月22日16時25分に千島列島でM6.1の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。

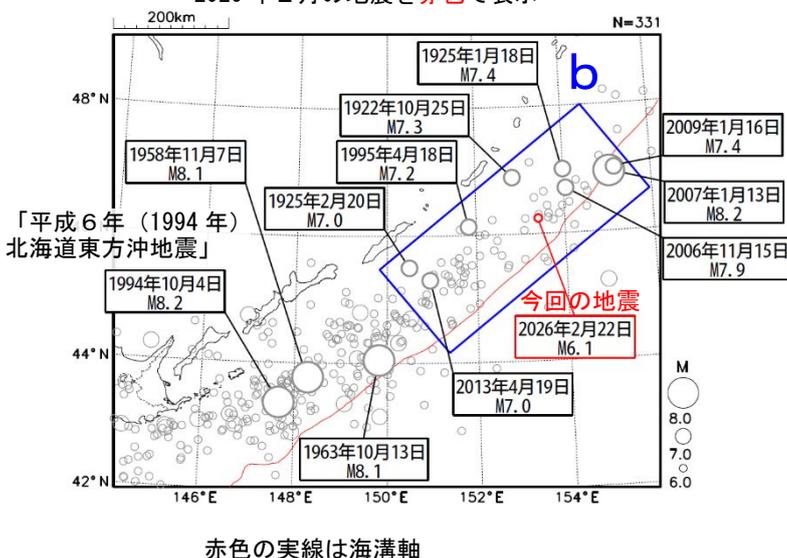
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2006年11月15日に発生したM7.9の地震では、北海道で震度2の揺れを観測したほか、三宅島坪田で84cmなど、オホーツク海沿岸から太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が時々発生している。2007年1月13日の千島列島東方（シムシル島東方沖）で発生したM8.2の地震では、北海道から東北地方にかけて震度3の揺れを観測したほか、三宅島坪田で43cmなど、北海道日本海沿岸北部からオホーツク海沿岸、太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を観測した。

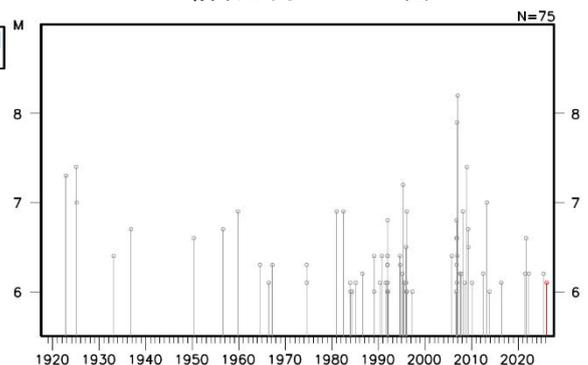
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1919年1月1日～2026年2月28日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)
 2026年2月の地震を赤色で表示



領域b内のM-T図



● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第103回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第481回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和8年3月6日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.22に掲載する。

(注) <https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

2月25日18時07分に四国沖を震源とするM5.0の地震が発生しました。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生しました。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- (1) 紀伊半島北部から紀伊半島中部：2月8日から2月26日
- (2) 四国中部：2月18日から2月23日

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）、（2）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られました。

GNSS観測によると、2022年初頭から、静岡県西部から愛知県東部にかけて、それまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（顕著な地震活動に関する現象）

2月25日に発生した四国沖の地震は、フィリピン海プレート内部で発生した地震で、その規模から南海トラフ沿いのプレート境界の固着状態の特段の変化を示すものではないと考えられます。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）、（2）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2022年初頭からの静岡県西部から愛知県東部にかけての地殻変動は、渥美半島周辺から浜名湖周辺にかけてのプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。この長期的ゆっくりすべりは、すべりの中心が渥美半島周辺から浜名湖周辺に移動しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

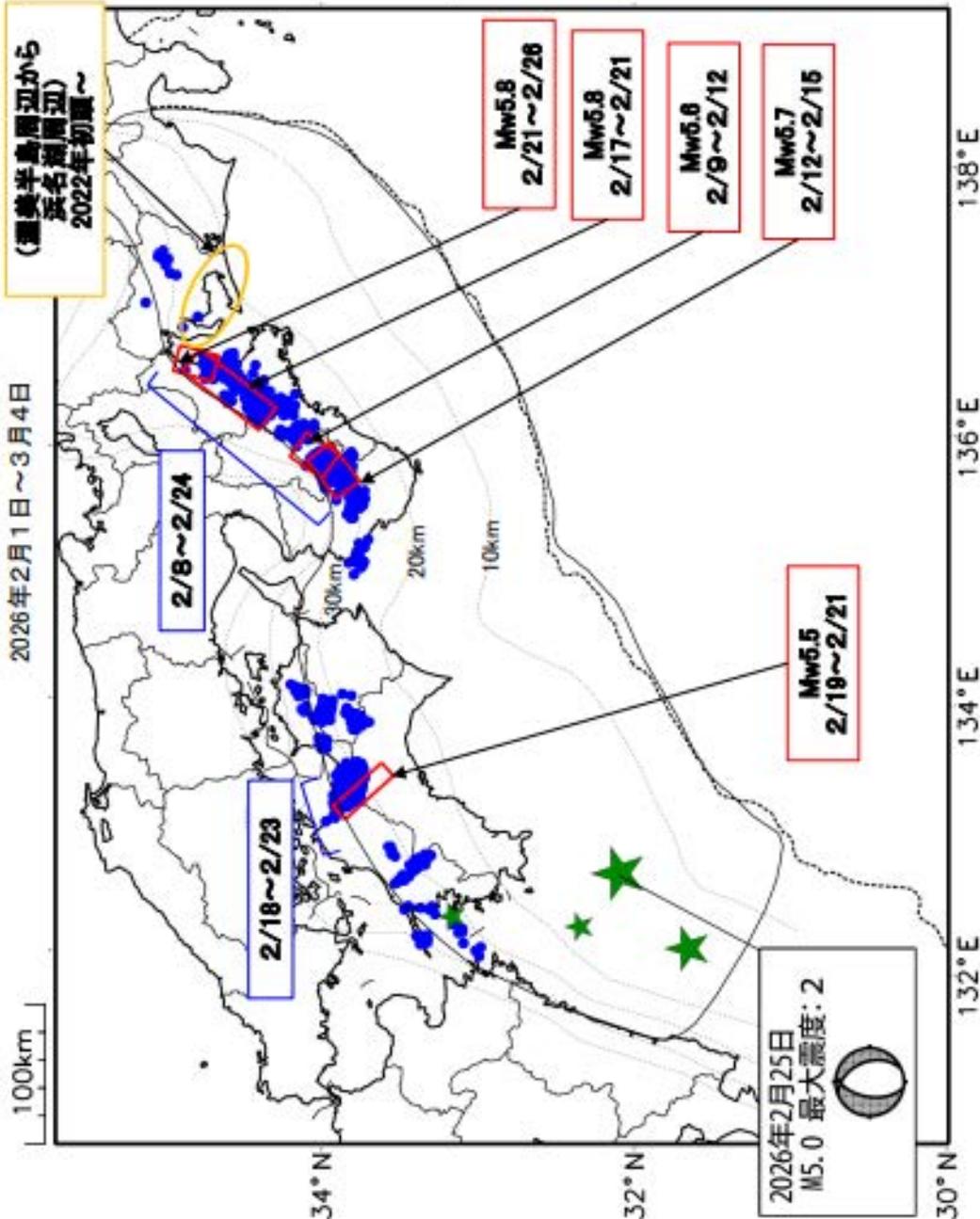
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2026年2月1日～3月4日



緑(★)
通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上の地震、大きさはMの大きさを示す)

青(●)
深部低周波地震(微動)

赤(□)
短期的ゆっくりすべり

黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり……………産業技術総合研究所の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり……………国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和8年2月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和8年3月9日14時現在）。

焼岳では、3月4日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

表1 令和8年3月9日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	雌阿寒岳、岩手山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ペヨネース列岩※、須美寿島※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

本資料は、気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、同東北、北陸、関東、中部、九州各地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、(国研)防災科学技術研究所、(国研)産業技術総合研究所、(国研)宇宙航空研究開発機構、北海道、(地独)北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所、青森県、東京都、神奈川県温泉地学研究所、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村、(公財)阿蘇火山博物館及び(公財)地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。（(国研)は国立研究開発法人、(地独)は地方独立行政法人、(公財)は公益財団法人。）



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（2月1日～28日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

雌阿寒岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

3月8日（期間外）にポンマチネシリ 96-1 火口でごく小規模な噴火が発生しました。

ポンマチネシリ火口付近では、2025年9月12日から観測されている火口方向が上がる傾斜変動が緩やかに続いており、火口付近浅部は引き続き膨張した状態と考えられます。また、96-1火口の噴煙活動は引き続き活発です。火山活動の高まった状態が続いており、ポンマチネシリ火口から約500mの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

岩手山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

2025年10月以降みられていた、東岩手山のやや深部の開口割れ目の膨張を示すと考えられるひずみの変化は、1月頃から停滞しています。また、大地獄谷付近のごく浅いところの膨張を示す地殻変動は、積雪のため確認はできないものの継続している可能性があります。

引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるた

め注意してください。

草津白根山(白根山(湯釜付近)) [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

湯釜付近を震源とする火山性地震は2025年10月中旬以降、次第に減少していましたが、2月14日以降、一時的に増加しました。湯釜付近の地下浅部の膨張を示すと考えられる地殻変動や、地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化は、鈍化しながらも継続しています。また、噴気の化学成分比には、活発化を示す変化が引き続き認められています。これらのことから、白根山(湯釜付近)の火山活動は高まった状態が続いています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

山体浅部を震源とする火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態が続いていますが、2025年7月頃から減少傾向がみられます。山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、2024年5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、2023年4月以降、多い状態が続いていましたが、2025年6月頃から次第に減少しています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）] ←3月4日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

山頂付近を震源とする微小な火山性地震が1月25日から増加しましたが、その後少ない状況が続いています。火山活動は地震増加前の状態に戻り、想定火口域から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、3月4日（期間外）14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる長期的な変化が続いています。また、山頂付近の微小な地震活動は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきていますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

ベヨネース列岩 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩(明神礁)の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ(横なぐりの噴煙)に警戒してください。また、噴火による浮遊物(軽石等)に注意してください。

須美^{すみ}寿^{すし}島 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

今期間、噴火は認められませんでした。2024年7月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物(軽石等)に注意してください。

西之島 [火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]

噴火は2023年10月を最後に観測されていませんが、山頂火口付近では噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められるため、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒し

てください。

硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

今期間、島内及びその周辺海域で噴火は認められず、火山性地震は少ない状態で経過しました。

長期的には島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、小規模な噴火の発生に警戒してください。

福德岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

新燃岳では、2025年9月8日以降噴火は観測されていません。

火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しており、中長期的には活発な状態が続いています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1日あたり数百トンの状態が継続しています。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む一部の基線で、霧島山深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められていましたが、2025年12月中旬頃からは停滞しています。

新燃岳では、火山活動は高まった状態で経過しています。弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する噴火が発生する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、噴火¹が1回発生し、爆発は発生しませんでした。噴煙は最高で火口縁上2,200mまで上がりました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上300mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、観測されませんでした。

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

GNSS連続観測では、2024年10月以降、島の西側におけるマグマの蓄積量の増加を示唆する変動が認められていましたが、2025年11月頃から停滞しています。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、少ない状態で経過しています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
八甲田山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
十和田		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
秋田焼山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
岩手山		火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2024年10月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
秋田駒ヶ岳		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
鳥海山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
栗駒山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
蔵王山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
吾妻山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
安達太良山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
磐梯山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年8月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年3月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2026年1月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2026年3月4日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年1月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年5月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年6月17日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年7月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	須美寿島	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2024年9月19日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海徳海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒） 2025年2月14日噴火予報（活火山であることに留意）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年9月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年5月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年7月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年7月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年7月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年3月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2025年4月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2025年5月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2025年10月17日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年6月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年7月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2024年10月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年12月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年2月14日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年4月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年6月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2025年9月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年9月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年6月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年1月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2024年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印及び**印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカランダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

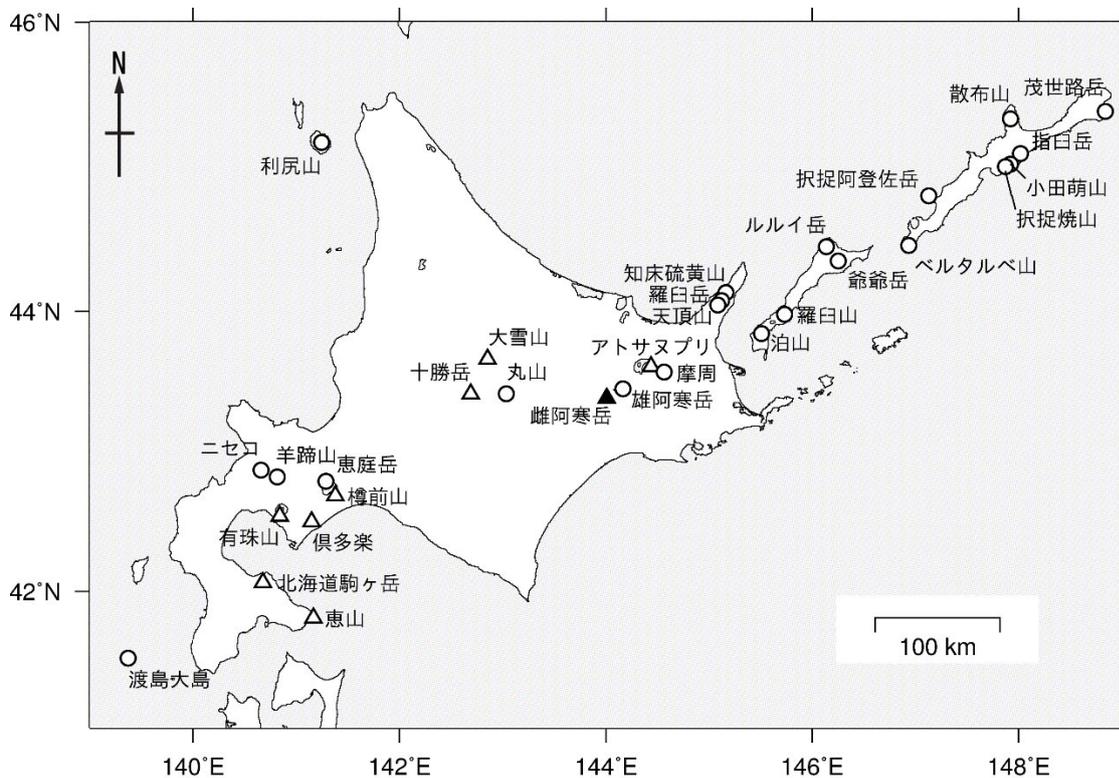
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和8年2月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	雌阿寒岳
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例		
噴火警戒レベル対象火山	▲：噴火警報発表中	△：噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●：噴火警報発表中	○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

3月8日（期間外）にポンマチネシリ 96-1 火口でごく小規模な噴火が発生しました。

ポンマチネシリ火口付近では、2025年9月12日から観測されている火口方向が上がる傾斜変動が緩やかに続いており、火口付近浅部は引き続き膨張した状態と考えられます。また、96-1火口の噴煙活動は引き続き活発です。火山活動の高まった状態が続いており、ポンマチネシリ火口から約500mの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

62-2火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態が続いています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和8年2月）

仙台管区气象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	岩手山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳 鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

2023年以降、中湖^{なかのうみ}付近の深さ5km前後が震源と推定される火山性地震の発生頻度がやや高い状態であり、GNSS連続観測では、2023年前半から主に十和田湖を挟む東西の基線でわずかな変化が認められています。火山活動は深部にやや変化が認められるものの、概ね静穏に経過しています。

秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

GNSS連続観測では2020年中頃から秋田焼山を挟む基線で伸びの変化が継続していますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

2025年10月以降みられていた、東岩手山のやや深部の開口割れ目の膨張を示すと考えられるひずみの変化は、1月頃から停滞しています。また、大地獄谷付近のごく浅いところの膨張を示す地殻変動は、積雪のため確認はできないものの継続している可能性があります。



引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。また、^め女^{だけ}岳付近では2015年頃まで地熱域の拡大が認められ、その後大きな変化は認められていません。引き続き地震活動や熱活動がやや高まった状態で経過していますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、活発化を示す傾向は認められません。火山活動は概ね静穏に経過しています。火山ガスや噴気・地熱の活動は継続していますので、入山する際には注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は2022年10月以前に比べて引き続きやや多い状態で経過していますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、概ね静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

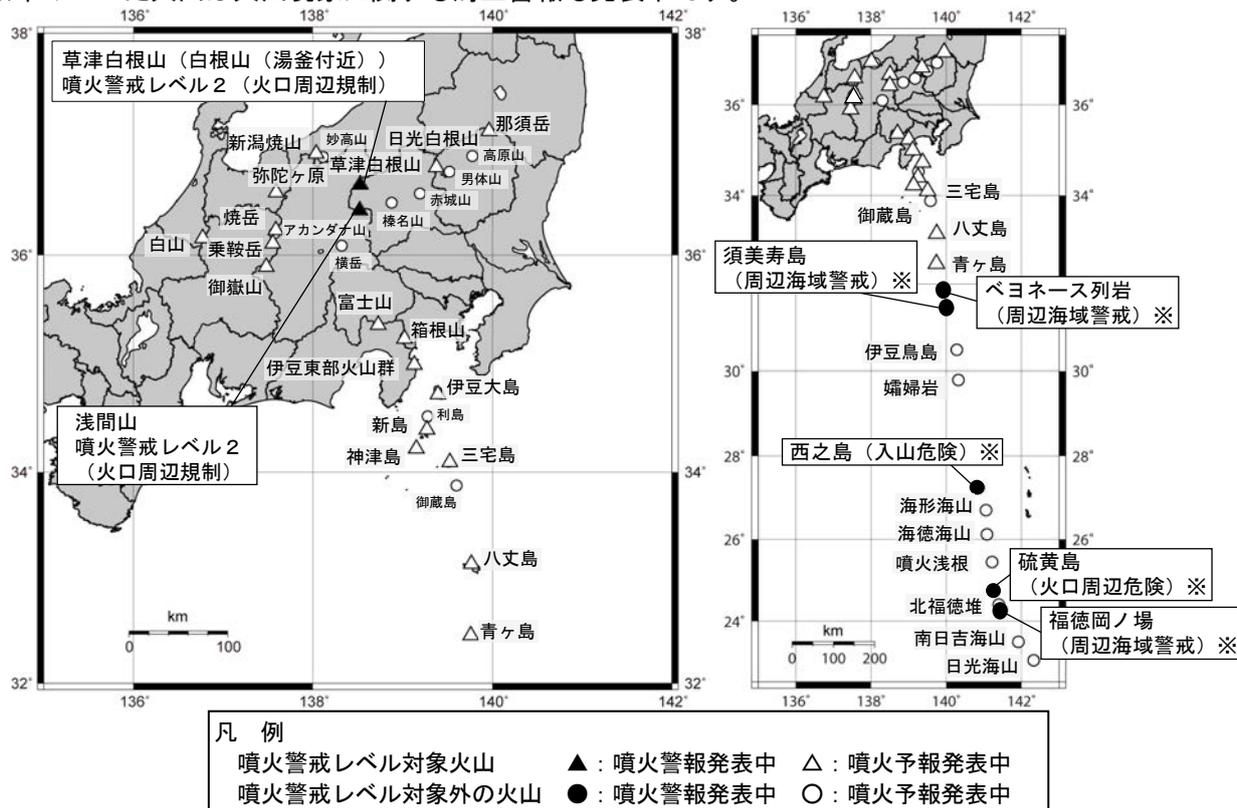
管内月間火山概況（令和8年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（3月4日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、須美寿島※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、神奈川県温泉地学研究所、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

湯釜付近を震源とする火山性地震は2025年10月中旬以降、次第に減少していましたが、2月14日以降、一時的に増加しました。湯釜付近の地下浅部の膨張を示すと考えられる地殻変動や、地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化は、鈍化しながらも継続しています。また、噴気の化学成分比には、活発化を示す変化が引き続き認められています。これらのことから、白根山（湯釜付近）の火山活動は高まった状態が続いています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山体浅部を震源とする火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態が続いていますが、2025年7月頃から減少傾向がみられます。山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、2024年5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、2023年4月以降、多い状態が続いていましたが、2025年6月頃から次第に減少しています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動も認められませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕 ←3月4日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

山頂付近を震源とする微小な火山性地震が1月25日から増加しましたが、その後少ない状況が続いています。火山活動は地震増加前の状態に戻り、想定火口域から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、3月4日（期間外）14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる長期的な変化が続いています。また、山頂付近の微小な地震活動は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきていますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。ま

た、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷火口の一部の噴気孔では引き続き勢いよく噴気が出ており、地熱域の温度は高い状態が継続していますが、長期的には温度の低下傾向がみられます。

地震活動は低調に経過しており、火山活動によるとみられる特段の地殻変動は認められません。

地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制に従い、また、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調に経過しています。火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる1986年の噴火以降の長期的な島全体の膨張は、2018年頃からはほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動や噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いています。一方、主火孔周辺の地熱域では2022年以降温度の上昇や放熱率の増加傾向が認められています。また中長期的な地殻変動では、山体深部の膨張を示す地殻変動が続いており、地下のマグマの蓄積が進んでいると考えられます。2025年6月には、山頂火口直下を震源とする火山性地震の一時的な増加や、山頂付近の隆起を示すと考えられる傾斜変動が認められました。

火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰等の噴出に警戒が必要です。地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

須美^す美^み 寿^す島^{しま}〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められませんが、2024年7月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

噴火は2023年10月を最後に観測されていませんが、山頂火口付近では噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められるため、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、島内及びその周辺海域で噴火は認められず、火山性地震は少ない状態で経過しました。

長期的には島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、小規模な噴火の発生に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性がります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

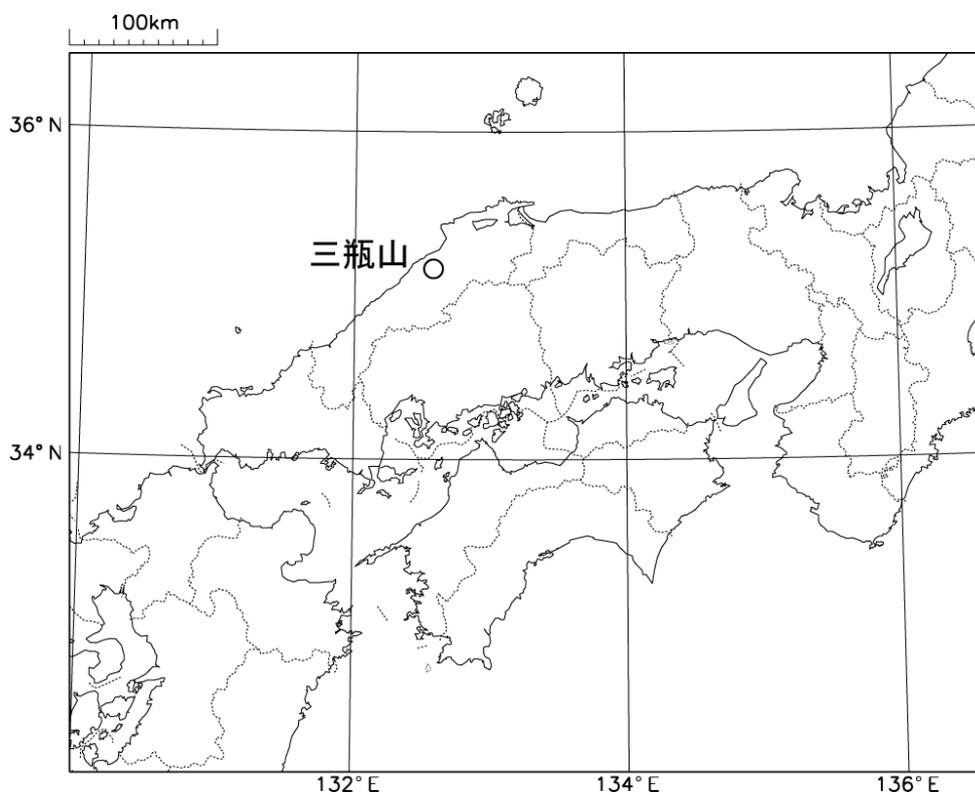
管内月間火山概況（令和8年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

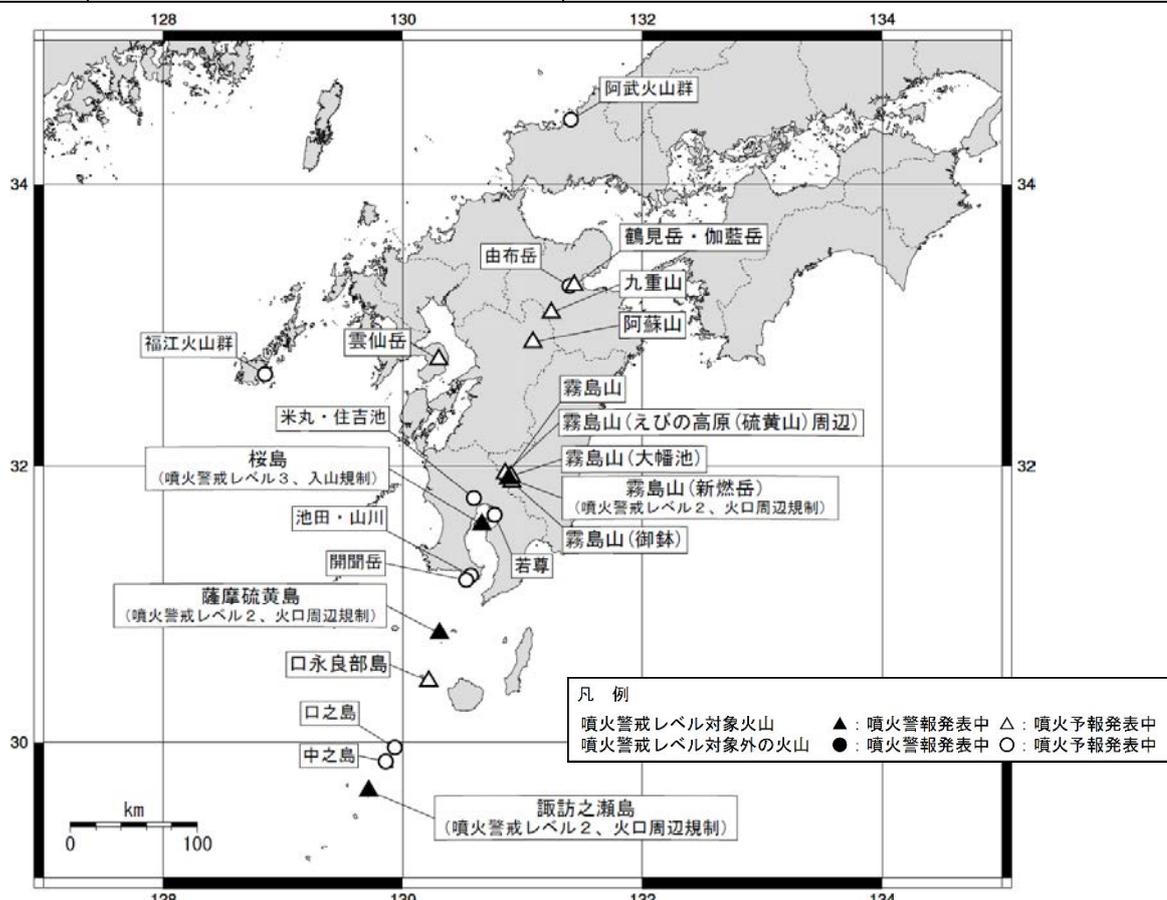
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和8年2月）

福岡管区气象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和8年2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村、阿蘇火山博物館及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、長期的にはB型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出がみられますので、注意してください。

くじゅうざん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態ですが、硫黄山付近において2025年10月頃からやや増加しています。

噴気地帯の状況には特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。地熱域では、長期的には温度の低下や縮小傾向がみられていますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

あそざん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、火山性微動の振幅は小さな状態で、火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量は少ない状態で経過するなど、火山活動は低下した状態で推移しています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しました。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。

地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

きりしまやま おおほたいけ 霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもえだけ [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

新燃岳では、2025年9月8日以降噴火は観測されていません。

火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しており、中長期的には活発な状態が続いています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1日あたり数百トンの状態が継続しています。

GNSS 連続観測では、霧島山を挟む一部の基線で、霧島山深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められていましたが、2025年12月中旬頃からは停滞しています。

新燃岳では、火山活動は高まった状態で経過しています。弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する噴火が発生する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島さくらじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、噴火²⁾が1回発生し、爆発³⁾は発生しませんでした。噴煙は最高で火口縁上2,200mまで上がりました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS 連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島さつまいおうじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島くちのえらぶじま [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性地震は少ない状態で経過しており、振幅の大きな火山性地震は発生していません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態で、GNSS 連続観測では、2023年11月以降、火山活動に伴う特段の変化は認められません。

活火山であることから、新岳及び古岳の火口内では、火山灰等が噴出する可能性があります。また、新岳西側割れ目等の地熱域では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

なかのしま

中之島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

すわのせしま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上 300mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、観測されませんでした。

GNSS 連続観測では、2024 年 10 月以降、島の西側におけるマグマの蓄積量の増加を示唆する変動が認められていましたが、2025 年 11 月頃から停滞しています。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、少ない状態で経過しています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和8年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

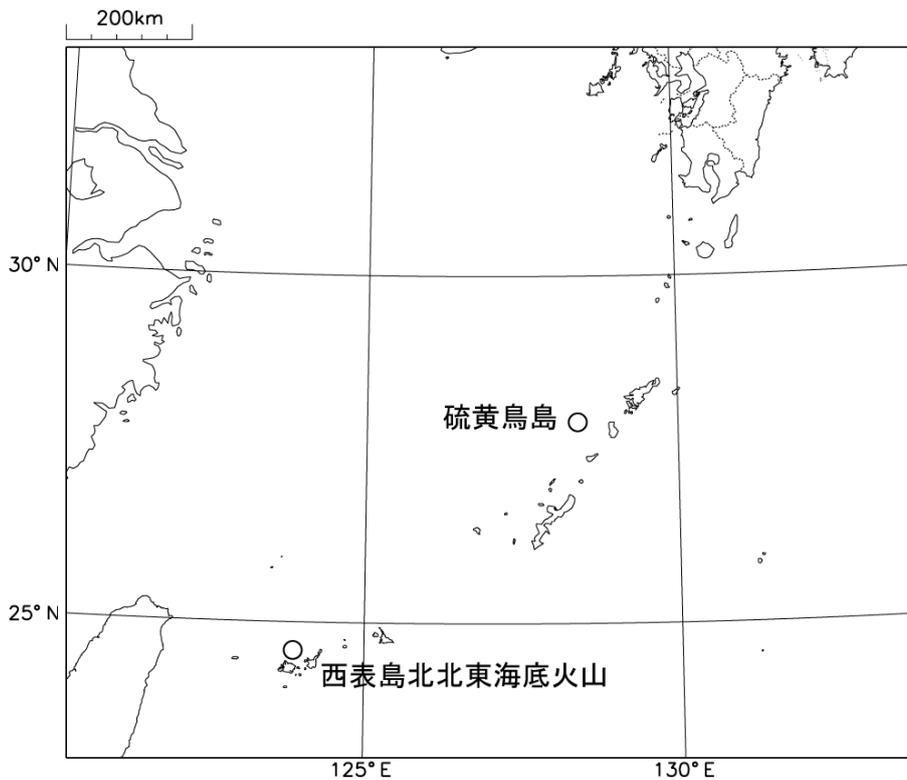
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和8年2月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第10～17号	2日、6日、9日 16時00分	南岳山頂火口で噴火活動継続。噴火、噴煙、火映の状況。爆発なし。 昭和火口では噴火及び火映はない。 火山性地震は概ね少ない。火山性微動は断続的。 火山ガス(二酸化硫黄)放出量は1400～2200[t/日](2/2,19)で概ね多い。9日に上空から観測(陸上自衛隊協力)、両火口内に地熱域を確認。 GNSS観測で、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられ、今後の火山情報に注意。
			13日 16時10分	
			16日、20日、23日、27日 16時00分	
		降灰予報(速報)	25日 15時04分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	25日 15時14分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第6～9号	6日、13日、20日、27日 16時00分	ボンマチネシリ96-1火口の噴煙は引き続き活発な状態。18日の現地調査で火山ガス(二酸化硫黄)放出量は300[t/日]、9月以降同程度で継続していると考えられる。 27日に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が発生し(2025年9月12日以来)、ごくわずかな傾斜変動を観測。噴煙は悪天候のため確認できていない。 9月12日の火山性微動以降、火口方向が上がる傾斜変動が観測され、北方向上がりは2月上旬から鈍化がみられるが火口浅部の膨張した状態は継続。ボンマチネシリ火口付近の火山性地震は、12月以降概ね少ない中で増減を繰り返し推移している。
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第6～9号	6日、13日、20日、27日 16時00分	黒倉山付近の微小な火山性地震は少ない。 2024年2月以降、東岩手山のやや深部の開口割れ目や山体西側のやや深部の膨張を示す地殻変動が観測され、2025年10月頃からの開口割れ目の膨張を示すと考えられる変動は1月から鈍化もしくは停滞。また、2024年8月頃からの大地獄谷付近ごく浅部の膨張の地殻変動は継続の可能性はある。 20日に上空から観測し(陸上自衛隊協力)、噴気や地熱域に特段の変化はない。 引き続き、西岩手山(大地獄谷・黒倉山から姥倉山)の想定火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性はある。
草津白根山 (白根山(湯釜 付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～32号	2日、4日、6日、9日、11日、13日、16日、17～20日、23～28日 16時00分	火山性地震は日回数が0～3回で継続、14日から増加し多い状態。14日にわずかな傾斜変動を観測。 地下浅部の膨張を示す緩やかな地殻変動や地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化は、鈍化しながらも継続。また噴気の化学成分比には活発化を示す変化が継続。 火山活動が高まった状態が継続し、湯釜火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性はある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10～17号	2日、6日、9日、13日、16日、20日、23日、27日 16時00分	火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態から、2025年7月頃から減少傾向がみられる。山体西側での膨張と考えられる傾斜変動は2024年5月以降停滞。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は100[t/日](2/4,10,18,24)、2023年3月以前に比べ多いが、2025年6月頃からやや減少。 山頂火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性はある。

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
焼岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第9～20号	1日、2日、4日、6日、9日、11日、13日、16日、18日、20日、23日、27日 16時00分	1月25日から山頂付近の火山性地震が多い状態で推移したが、次第に減少(1日0～数回)。地震回数は少なくなっているが、過去の例から急に増加する可能性がある。山頂付近の噴煙に特段の変化はない。GNSS観測では山頂付近で緩やかな膨張を示す長期的な変化が継続。火山活動が高まっている。想定火口域から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性がある。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第6～9号	6日 16時00分 13日 16時10分 20日、27日 16時00分	9月8日以降噴火はない。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は200[t/日](13日)でやや少ない。火口直下の火山性地震は増減を繰り返す少ない。火山性微動はない。9日に上空から観測(陸上自衛隊協力)、火口及び西側斜面割れ目付近で地熱域を確認。GNSS観測で霧島山を挟む一部の基線で、2025年3月頃から深部の膨張を示すわずかな伸びが認められたが12月中旬頃から停滞。新燃岳付近の膨張を示すと考えられる基線の伸びは、7月以降は認められない。火山活動が高まった状態が継続。引き続き噴火の可能性がある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第6～9号	6日、13日、20日、27日 16時00分	白色の噴煙と夜間に高感度カメラで火映を観測。10～13日の現地調査で硫黄岳の地熱域、最高温度に変化はない。火山性地震は少ない。長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態。火口周辺に影響する噴火の可能性あり。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第6～9号	6日、13日、20日、27日 16時00分	御岳火口で噴火活動継続。噴火、爆発なし、噴煙、火映の状況。火口付近浅部の火山性地震は少ない。島の西側の地震は少ないが、中長期的には2024年10月頃から島の周辺で地震活動が高まっている。火山性微動は断続的に発生。GNSSで2024年10月以降みられた島の西側のマグマ蓄積量増加を示す変動は、11月頃から停滞。長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺で大きな噴石飛散の可能性がある。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 雌阿寒岳、岩手山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、浅間山、焼岳、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。

● 世界の主な地震

令和8年（2026年）2月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

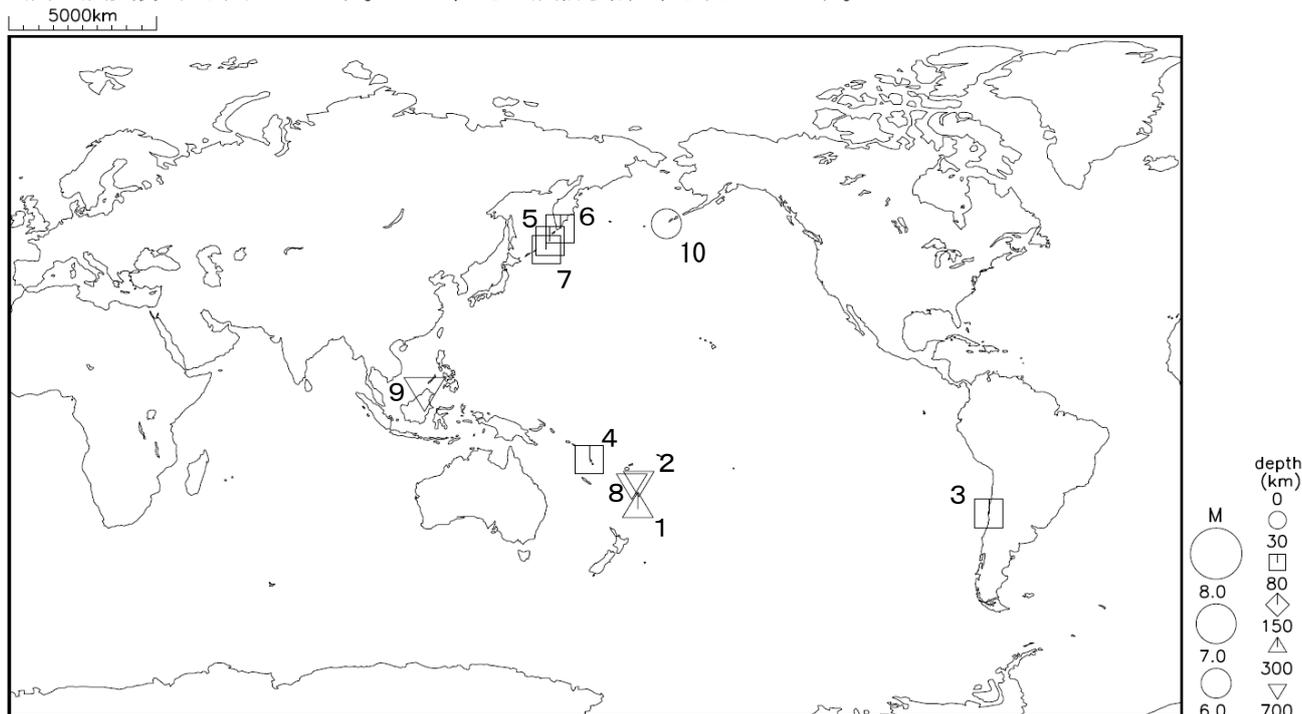


図1 令和8年（2026年）2月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和8年（2026年）2月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	02月04日19時39分	S29° 31.5′	W178° 35.8′	167			6.1	ケルマデック諸島			
2	02月11日05時44分	S21° 2.6′	W178° 19.2′	532			6.2	フィジー諸島			
3	02月12日22時34分	S30° 48.0′	W 71° 26.7′	37			6.2	チリ中部沿岸			
4	02月14日11時27分	S14° 59.5′	E166° 37.2′	43			6.4	バヌアツ諸島			
5	02月16日00時58分	N48° 19.6′	E154° 33.6′	55			6.0	千島列島			
6	02月17日06時42分	N51° 16.3′	E157° 41.1′	43			6.0	ロシア、カムチャツカ半島東岸			
7	02月22日16時25分	N46° 14.5′	E153° 24.2′			6.1	5.8	千島列島			
8	02月22日16時43分	S21° 47.9′	E179° 32.9′	654			6.0	フィジー諸島南方			
9	02月23日01時57分	N 6° 49.7′	E116° 15.8′	620			7.1	ボルネオ		○	
10	02月23日14時11分	N52° 21.4′	W169° 51.4′	14			6.1	アリューシャン列島フォックス諸島			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2026年3月2日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2026年3月2日現在)。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による (2026年3月2日現在)。

● 世界の主な火山活動

令和8年（2026年）2月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

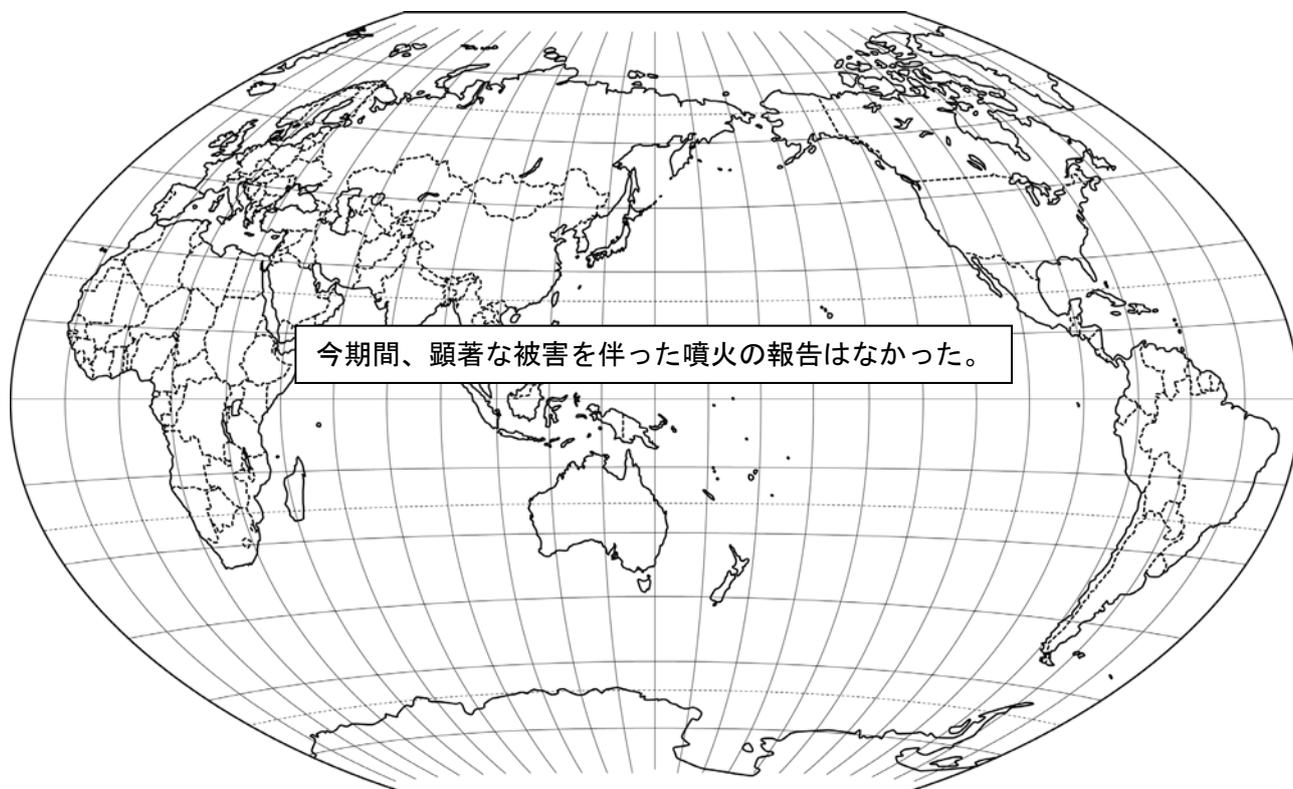


図 令和8年（2026年）2月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

●付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和8年2月中に震度1以上を観測した地震は141回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編） [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（令和7年12月 地震・火山月報（防災編）の付録7参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震源決定精度が十分ではない地震については、震源要素の記載対象外としている。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 18 38	青森県東方沖 青森県 1 八戸市湊町=1.3 八戸市内丸*=1.0 階上町道仏*=0.6	40° 40.4' N	142° 09.5' E	54km	M: 3.6
2	2 14 14	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*=0.9	36° 58.4' N	139° 23.6' E	4km	M: 2.1
3	3 00 11	豊後水道 愛媛県 2 愛南町船越*=1.6 1 宇和島市丸穂*=1.4 松野町松丸*=1.1 愛南町柏*=1.0 西予市明浜町*=0.9 愛南町一本松*=0.9 愛媛鬼北町近永*=0.8 宇和島市吉田町*=0.7 愛南町城辺*=0.7 宇和島市津島町*=0.7 西予市三瓶町*=0.6 宇和島市住吉町=0.6 大洲市長浜*=0.5 愛南町御荘*=0.5 高知県 2 宿毛市桜町*=1.9 1 四万十市古津賀*=0.6	33° 12.8' N	132° 20.8' E	39km	M: 3.6
4	3 06 58	福島県沖 宮城県 2 石巻市桃生町*=1.5 1 大崎市古川三日町=1.0 涌谷町新町裏=0.9 登米市南方町*=0.9 岩沼市桜*=0.8 石巻市北上町*=0.8 登米市豊里町*=0.7 亙理町悠里*=0.7 名取市増田*=0.7 栗原市築館*=0.6 石巻市相野谷*=0.6 石巻市雄勝町*=0.6 蔵王町円田*=0.6 角田市角田*=0.6 大崎市鹿島台*=0.5 登米市中田町=0.5 石巻市大街道南*=0.5 福島県 1 大熊町大川原*=1.0 いわき市三和町=0.9 双葉町長塚*=0.9 相馬市中村*=0.8 本宮市本宮*=0.8 浪江町幾世橋=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.8 檜葉町北田*=0.7 田村市都路町*=0.6 新地町谷地小屋*=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6 天栄村下松本*=0.5	37° 35.0' N	142° 16.0' E	33km	M: 4.5
5	3 09 21	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.3 日立市十王町友部*=0.6	36° 38.2' N	140° 37.6' E	7km	M: 2.6
6	3 11 24	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.3 常陸太田市町屋町=1.3 日立市十王町友部*=0.8	36° 38.2' N	140° 37.6' E	7km	M: 2.8
7	3 18 03	茨城県沖 福島県 3 玉川村小高*=3.0 泉崎村泉崎*=2.9 白河市新白河*=2.8 田村市大越町*=2.8 天栄村下松本*=2.7 鏡石町不時沼*=2.6 中島村滑津*=2.6 棚倉町棚倉中居野=2.6 白河市表郷*=2.6 須賀川市岩瀬支所*=2.5 白河市東*=2.5 2 白河市大信*=2.4 浅川町浅川*=2.4 田村市常葉町*=2.4 矢祭町東館*=2.3 矢祭町戸塚*=2.3 古殿町松川新桑原*=2.3 矢吹町一本木*=2.2 郡山市開成*=2.2 田村市滝根町*=2.2 いわき市三和町=2.1 川内村上川内早渡*=2.1 須賀川市八幡町*=2.1 須賀川市八幡山*=2.1 二本松市針道*=2.0 本宮市白岩*=2.0 白河市郭内=2.0 檜葉町北田*=2.0 田村市船引町=2.0 石川町長久保*=2.0 田村市都路町*=2.0 郡山市湖南町*=1.9 郡山市朝日=1.9 大玉村南小屋=1.9 飯館村伊丹沢*=1.9 小野町中通*=1.9 小野町小野新町*=1.9 浪江町幾世橋=1.8 いわき市平梅本*=1.8 二本松市金色*=1.8 いわき市錦町*=1.8 西郷村熊倉*=1.7 いわき市小名浜=1.7 平田村永田*=1.7 須賀川市長沼支所*=1.7 川俣町五百田*=1.7 二本松市油井*=1.7 本宮市本宮*=1.7 大熊町大川原*=1.6 古殿町松川横川=1.6 棚倉町棚倉館ヶ丘*=1.6 福島広野町下北迫大谷地原*=1.6 福島市花園町=1.6 白河市八幡小路*=1.6 富岡町本岡*=1.5 三春町大町*=1.5 塙町塙*=1.5 大玉村玉井*=1.5 1 福島市五老内町*=1.4 天栄村湯本支所*=1.4 いわき市平四ツ波*=1.4 福島広野町下北迫苗代替*=1.4 双葉町長塚*=1.4 川内村下川内=1.3 南相馬市小高区*=1.3 福島市桜木町*=1.2 葛尾村落合落合*=1.2 川内村上川内小山平*=1.2 大熊町野上*=1.2 鮫川村赤坂中野*=1.1 福島伊達市保原町*=1.1 国見町藤田*=1.1 猪苗代町下園*=1.0 福島伊達市梁川町*=1.0 福島市飯野町*=1.0 福島伊達市霊山町*=1.0 南相馬市鹿島区栞窪=1.0 福島伊達市前川原*=1.0 相馬市中村*=0.9 新地町谷地小屋*=0.9 檜枝岐村上河原*=0.9 会津美里町新鶴庁舎*=0.8 猪苗代町城南=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.7 南相馬市鹿島区西町*=0.7 福島伊達市月館町*=0.7 西会津町登世島*=0.7 下郷町高陸*=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6 会津美里町本郷庁舎*=0.5 茨城県 3 常陸大宮市北町*=3.3 笠間市笠間*=3.2 東海村東海*=3.2 笠間市石井*=3.2 城里町石塚*=3.1 桜川市羽田*=3.1 水戸市栗崎町*=3.1 常陸大宮市山方*=3.0 日立市十王町友部*=3.0 桜川市岩瀬*=3.0 高萩市本町*=3.0 笠間市中央*=2.9 高萩市安良川*=2.9 日立市助川小学校*=2.8 水戸市内原町*=2.8 桜川市真壁*=2.6 ひたちなか市南神敷台*=2.6 水戸市千波町*=2.6 筑西市門井*=2.6 常陸大宮市中富町=2.5 常陸太田市町田町*=2.5 常陸太田市高柿町*=2.5	36° 43.7' N	140° 57.3' E	51km	M: 4.8

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		常陸太田市大中町*2.5 土浦市常名*2.5 ひたちなか市東石川*2.5				
		2 水戸市金町*2.4 常陸太田市金井町*2.4 笠間市下郷*2.4 茨城町小堤*2.4 常陸大宮市高部*2.4 那珂市瓜連*2.4 城里町阿波山*2.4 小美玉市堅倉*2.4 石岡市柿岡*2.4 筑西市舟生*2.4 北茨城市中郷町*2.3 行方市麻生*2.3 小美玉市小川*2.2 日立市役所*2.2 大洗町磯浜町*2.2 筑西市海老ヶ島*2.2 鉾田市汲上*2.2 つくば市研究学園*2.1 茨城鹿嶋市鉢形*2.1 美浦村受領*2.1 大子町池田*2.1 筑西市二本成*2.1 常陸大宮市野口*2.1 北茨城市磯原町*2.1 常総市新石下*2.1 茨城古河市仁連*2.1 常陸太田市町屋町*2.1 石岡市若宮*2.1 かすみがうら市上土田*2.0 石岡市八郷*2.0 取手市寺田*2.0 茨城鹿嶋市宮中*2.0 阿見町中央*2.0 坂東市馬立*2.0 稲敷市江戸崎甲*2.0 稲敷市伊佐津*2.0 土浦市藤沢*2.0 つくば市小茎*1.9 つくばみらい市福田*1.9 小美玉市上玉里*1.9 土浦市田中*1.9 五霞町小福田*1.9 坂東市山*1.9 那珂市福田*1.9 結城市中央町*1.9 下妻市本城町*1.9 かすみがうら市大和田*1.9 下妻市鬼怒*1.9 城里町徳蔵*1.9 鉾田市鉾田*1.9 稲敷市結佐*1.8 茨城古河市下大野*1.8 石岡市石岡*1.8 行方市山田*1.8 稲敷市役所*1.8 龍ヶ崎市役所*1.8 ひたちなか市山ノ上町*1.7 つくば市天王台*1.7 潮来市辻*1.7 守谷市大柏*1.6 潮来市堀之内*1.6 取手市井野*1.6 鉾田市造谷*1.6 境町旭町*1.5 坂東市岩井*1.5 稲敷市須賀津*1.5 坂東市役所*1.5 常総市水海道諏訪町*1.5				
		1 常陸大宮市上小瀬*1.4 八千代町菅谷*1.4 行方市玉造*1.4 取手市藤代*1.3 牛久市中央*1.3 つくばみらい市加藤*1.2 河内町原清田*1.2 神栖市溝口*1.1 神栖市波崎*1.1 利根町布川*1.1 茨城古河市長谷町*1.0				
		栃木県				
		3 高根沢町石末*3.2 真岡市田町*2.9 益子町益子*2.8 宇都宮市中岡本町*2.7 市貝町市塙*2.7 真岡市荒町*2.6 大田原市湯津上*2.5 真岡市石島*2.5				
		2 宇都宮市中里町*2.2 足利市大正町*2.2 茂木町茂木*2.2 芳賀町祖母井*2.2 栃木那珂川町小川*2.2 那須町寺子*2.1 那須烏山市大金*2.1 栃木那珂川町馬頭*2.1 小山市神鳥谷*2.0 壬生町壬生甲*2.0 栃木さくら市氏家*2.0 那須烏山市神長*1.9 日光市鬼怒川温泉大原*1.8 茂木町北高岡天矢場*1.8 大田原市黒羽田町*1.7 那須烏山市役所*1.7 大田原市本町*1.7 下野市田中*1.7 下野市笹原*1.7 宇都宮市明保野町*1.7 佐野市葛生東*1.7 栃木さくら市喜連川*1.7 那須塩原市鍋掛*1.6 鹿沼市晃望台*1.6 日光市芹沼*1.5 那須塩原市あたご町*1.5				
		1 栃木市藤岡町藤岡*1.4 栃木市岩舟町静*1.4 小山市中央町*1.4 下野市大松山*1.4 佐野市田沼*1.3 鹿沼市今宮町*1.3 日光市瀬川*1.3 野木町丸林*1.2 日光市藤原庁舎*1.2 塩谷町玉生*1.2 那須塩原市共懇社*1.2 那須塩原市塩原庁舎*1.2 宇都宮市塙田*1.2 栃木市旭町*1.2 佐野市高砂町*1.2 栃木市西方町本城*1.1 栃木市万町*1.1 栃木市都賀町原宿*1.1 鹿沼市口栗野*1.1 宇都宮市旭*1.1 上三川町しらさぎ*1.1 日光市黒部*1.0 矢板市本町*1.0 佐野市中町*1.0 日光市足尾町中才*0.9 栃木市大平町富田*0.9 日光市御幸町*0.9 日光市今市本町*0.8 日光市湯元*0.7 那須塩原市轟沼*0.7 日光市足尾町通洞*0.5 那須塩原市中塩原*0.5				
		群馬県				
		2 桐生市元宿町*2.2 渋川市赤城町*2.1 大泉町日の出*2.0 邑楽町中野*2.0 沼田市白沢町*1.9 千代田町赤岩*1.9 太田市西本町*1.8 板倉町板倉*1.8 前橋市粕川町*1.7 前橋市富士見町*1.7 桐生市錦町*1.7 桐生市黒保根町*1.7 太田市粕川町*1.7 館林市上三林町*1.7 みどり市笠懸町*1.7 桐生市新里町*1.6 伊勢崎市西久保町*1.6 伊勢崎市今泉町*1.5 渋川市伊香保町*1.5 高崎市高松町*1.5				
		1 前橋市鼻石町*1.4 伊勢崎市境*1.4 渋川市吹屋*1.4 吉岡町下野田*1.3 太田市浜町*1.3 館林市城町*1.3 渋川市北橋町*1.3 沼田市西倉内町*1.2 伊勢崎市東町*1.2 太田市大原町*1.2 渋川市有馬*1.2 みどり市大間々町*1.2 群馬明和町新里*1.1 渋川市石原*1.0 安中市安中*1.0 玉村町下新田*1.0 沼田市下久屋町*1.0 東吾妻町本宿*0.9 前橋市駒形町*0.9 前橋市堀越町*0.9 太田市新田金井町*0.9 沼田市利根町*0.8 神流町生利*0.8 安中市松井田町*0.8 高崎市足門町*0.7 前橋市昭和町*0.6 沼田市尾瀬高等学校*0.6 前橋市大手町*0.6 榛東村新井*0.6 高崎市箕郷町*0.6 神流町神ヶ原*0.6 高崎市吉井町吉井川*0.6 みどり市東町*0.6 高崎市新町*0.5 甘楽町小幡*0.5 片品村鎌田*0.5 川場村谷地*0.5 みなかみ町鹿野沢*0.5				
		埼玉県				
		2 行田市南河原*1.9 久喜市下早見*1.7 春日部市粕壁*1.7 宮代町笠原*1.7 さいたま見沼区堀崎*1.7 熊谷市大里*1.6 熊谷市妻沼*1.5 熊谷市江南*1.5 行田市本丸*1.5 加須市大利根*1.5 東松山市松葉町*1.5 鴻巣市川里*1.5 鴻巣市吹上富士見*1.5 嵐山町杉山*1.5 春日部市金崎*1.5 幸手市東*1.5				
		1 深谷市花園*1.4 久喜市青葉*1.4 春日部市谷原新田*1.4 加須市騎西*1.3 羽生市東*1.3 滑川町福田*1.3 埼玉美里町木部*1.3 さいたま北区宮原*1.3 ときがわ町桃木*1.2 坂戸市千代田*1.2 埼玉三芳町藤久保*1.2 本庄市児玉町*1.2 加須市北川辺*1.1 久喜市鷲宮*1.1 川越市新宿町*1.1 和光市広沢*1.1 川島町下八ツ林*1.1 さいたま大宮区天沼町*1.1 さいたま大宮区大門*1.1 さいたま緑区中尾*1.1 秩父市近戸町*1.1 深谷市仲町*1.0 深谷市菅沼*1.0 久喜市栗橋*1.0 吉見町下細谷*1.0 川口市中青木分室*1.0 上尾市本町*1.0 新座市野火止*1.0 桶川市泉*1.0 蓮田市黒浜*1.0 吉川市きよみ野*1.0 加須市三俣*1.0 さいたま西区指扇*1.0 東松山市市ノ川*1.0 さいたま中央区下落合*1.0 秩父市上町*1.0 鴻巣市中央*1.0 秩父市熊木町*1.0 長瀬町野下郷*1.0 八潮市中央*0.9 富士見市鶴馬*0.9 三郷市中央*0.9 熊谷市宮町*0.9 鶴ヶ島市三ツ木*0.9 さいたま浦和高砂*0.9 越谷市越ヶ谷*0.9 熊谷市桜町*0.9 久喜市菖蒲*0.9 横瀬町横瀬*0.9 北本市本町*0.9 川口市安行領家*0.8 狭山市入間川*0.8 小川町大塚*0.8 戸田市上戸田*0.8 越生町越生*0.8 志木市中宗岡*0.8 鳩山町大豆戸*0.8 さいたま南区別所*0.8 草加市中央*0.7 朝霞市本町*0.7 毛呂山町中央*0.7 秩父市吉田*0.7 松伏町松伏*0.7 小鹿野町小鹿野*0.7 長瀬町本野上*0.6 川越市旭町*0.6 蕨市中央*0.6 伊奈町中央*0.6 寄居町寄居*0.6 深谷市普濟寺*0.5 埼玉神川町植竹*0.5 本庄市本庄*0.5 皆野町皆野*0.5				
		千葉県				
		2 野田市鶴奉*2.1 香取市役所*1.8 香取市仁良*1.7 白井市復*1.7 香取市佐原平田*1.6 野田市東宝珠花*1.6 八千代市大和田新田*1.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.6 栄町安食台*1.6				

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>千葉若葉区小倉台*=1.5 千葉美浜区ひび野=1.5 市川市大町*=1.5 成田市名古屋=1.5 習志野市鷺沼*=1.5 柏市旭町=1.5 柏市柏*=1.5 印西市大森*=1.5 印西市笠神*=1.5 1 神崎町神崎本宿*=1.4 香取市佐原諏訪台*=1.4 山武市埴谷*=1.4 成田市松子*=1.4 印西市美瀬*=1.4 富里市七栄*=1.4 東金市日吉台*=1.3 多古町多古=1.3 千葉花見川区花島町*=1.3 船橋市湊町*=1.3 成田国際空港=1.3 成田市中台*=1.3 千葉佐倉市海隣寺町*=1.3 八街市八街*=1.3 芝山町小池*=1.2 四街道市鹿渡*=1.2 山武市松尾町富士見台=1.1 松戸市西馬橋*=1.1 柏市大島田*=1.1 旭市南堀之内*=1.0 旭市二*=1.0 匝瑳市八日市場ハ*=1.0 香取市羽根川*=1.0 千葉稲毛区園生町*=1.0 成田市役所*=1.0 我孫子市我孫子*=1.0 浦安市日の出=1.0 銚子市小畑新町=1.0 東金市東新宿=0.9 旭市萩園*=0.9 香取市岩部*=0.9 横芝光町栗山*=0.9 千葉中央区中央港=0.9 千葉美浜区稲毛海岸*=0.9 成田市猿山*=0.9 山武市蓮沼ニ*=0.8 酒々井町中央台*=0.8 旭市高生*=0.8 九十九里町片貝*=0.8 横芝光町宮川*=0.7 市原市姉崎*=0.7 東金市東岩崎*=0.7 銚子市川口町=0.6 銚子市若宮町*=0.6 山武市蓮沼ハ*=0.6 東庄町笹川*=0.5 松戸市根本*=0.5</p> <p>宮城県 1 岩沼市桜*=1.3 山元町浅生原*=0.8 丸森町鳥屋*=0.7 角田市角田*=0.6 柴田町船岡=0.5</p> <p>東京都 1 東京千代田区大手町=1.4 東京渋谷区本町*=1.3 東京中野区江古田*=1.2 東京杉並区桃井*=1.2 東京江戸川区中央=1.2 調布市西つづじヶ丘*=1.2 東京新宿区上落合*=1.1 東京杉並区高井戸*=1.1 東京板橋区相生町*=1.1 東京練馬区豊玉北*=1.1 国分寺市泉町*=1.1 東大和市中央*=1.1 東京千代田区麹町*=1.0 東京文京区大塚*=1.0 東京世田谷区三軒茶屋*=1.0 東京板橋区高島平*=1.0 東京練馬区光が丘*=1.0 東京足立区神明南*=1.0 東京中央区日本橋兜町*=0.9 東京港区南青山*=0.9 東京新宿区百人町*=0.9 東京品川区平塚*=0.9 東京世田谷区世田谷*=0.9 東京中野区中野*=0.9 東京葛飾区立石*=0.9 小平市小川町*=0.9 東村山市本町*=0.9 西東京市中町*=0.9 東京北区西ヶ原*=0.8 東京荒川区東尾久*=0.8 東京練馬区東大泉*=0.8 東京千代田区富士見*=0.8 東京江戸川区船堀*=0.8 東京中央区勝どき*=0.8 東京文京区スポーツセンター*=0.8 東京文京区本郷*=0.8 東京足立区伊興*=0.7 東京品川区北品川*=0.7 東京江戸川区鹿骨*=0.7 武蔵野市緑町*=0.7 日野市神明*=0.7 東京渋谷区宇田川町*=0.7 東京荒川区荒川*=0.7 東京葛飾区金町*=0.6 東京大田区本羽田*=0.6 八王子市堀之内*=0.6 東京世田谷区成城*=0.6 東京豊島区南池袋*=0.6 東京中央区築地*=0.6 東京港区海岸=0.6 東京港区白金*=0.5 東京府中市朝日町*=0.5 町田市森野*=0.5 東京新宿区歌舞伎町*=0.5 国分寺市並木町=0.5 東京台東区東上野*=0.5 東京目黒区中央町*=0.5</p> <p>神奈川県 1 川崎宮前区宮前平*=1.2 横浜神奈川区神大寺*=1.1 横浜港北区日吉本町*=1.1 横浜中区山手町=0.8 川崎宮前区野川*=0.8 湯河原町中央=0.8 川崎中原区小杉町*=0.7</p> <p>山梨県 1 山梨北杜市長坂町*=0.9 忍野村忍草*=0.7 富士河口湖町長浜*=0.7 富士川町鯉沢*=0.6</p>				
8	3 19 46	<p>島根県東部 鳥取県 1 鳥取南部町法勝寺*=0.6</p>	35° 18.7' N	133° 13.5' E	11km	M: 2.6
9	4 02 15	<p>長野県中部 長野県 2 松本市寿*=2.1 松本市丸の内*=1.5 1 松本市沢村=0.6</p>	36° 10.6' N	138° 00.7' E	4km	M: 2.5
10	4 03 36	<p>千葉県東方沖 茨城県 2 神栖市波崎*=2.3 神栖市溝口*=2.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.7 稲敷市江戸崎甲*=1.6 茨城鹿嶋市宮中*=1.5 1 稲敷市須賀津*=1.3 行方市麻生*=1.3 稲敷市結佐*=1.3 潮来市辻*=1.1 土浦市常名=1.1 潮来市堀之内=1.0 鉾田市汲上*=1.0 行方市山田*=0.9 美浦村受領*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.9 稲敷市伊佐津*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 桜川市真壁*=0.8 石岡市石岡*=0.7 小美玉市小川*=0.6 筑西市門井*=0.6 石岡市柿岡=0.6 土浦市藤沢*=0.5 鉾田市造谷*=0.5 笠間市石井*=0.5 水戸市栗崎町*=0.5 稲敷市役所*=0.5 取手市寺田*=0.5 つくば市小基*=0.5 鉾田市鉾田=0.5</p> <p>千葉県 2 旭市南堀之内*=2.3 旭市二*=2.3 匝瑳市今泉*=1.9 旭市萩園*=1.8 銚子市若宮町*=1.8 銚子市小畑新町=1.8 山武市蓮沼ニ*=1.8 山武市蓮沼ハ*=1.8 香取市仁良*=1.7 匝瑳市八日市場ハ*=1.7 山武市殿台*=1.7 旭市高生*=1.6 香取市役所*=1.6 銚子市川口町=1.5 多古町多古=1.5 1 東金市日吉台*=1.4 香取市佐原諏訪台*=1.4 香取市羽根川*=1.4 山武市埴谷*=1.4 東庄町笹川*=1.3 芝山町小池*=1.3 横芝光町宮川*=1.3 山武市松尾町富士見台=1.3 山武市松尾町五反田*=1.3 横芝光町栗山*=1.2 九十九里町片貝*=1.1 東金市東新宿=1.1 香取市佐原平田=1.1 東金市東岩崎*=1.0 白子町関*=1.0 大網白里市大網*=1.0 成田市役所*=1.0 成田市松子*=1.0 千葉佐倉市海隣寺町*=1.0 成田国際空港=0.9 成田市名古屋=0.8 一宮町一宮=0.8 市原市姉崎*=0.8 八千代市大和田新田*=0.8 八街市八街*=0.8 柴町安食台*=0.8 香取市岩部*=0.7 野田市鶴奉*=0.7 富里市七栄*=0.7 神崎町神崎本宿*=0.6 長南町総合グラウンド=0.6 成田市猿山*=0.5 柏市旭町=0.5 千葉美浜区ひび野=0.5 印西市美瀬*=0.5 白井市復*=0.5</p>	35° 47.7' N	140° 59.0' E	27km	M: 4.3
11	4 04 33	<p>長野県中部 長野県 1 松本市寿*=1.1</p>	36° 10.7' N	138° 00.6' E	4km	M: 1.8
12	4 05 46	<p>秋田県内陸北部 秋田県 1 北秋田市阿仁水無*=0.7</p>	39° 58.9' N	140° 32.6' E	4km	M: 3.0
13	4 10 16	<p>島根県東部 鳥取県 島根県 1 鳥取南部町天萬*=0.6 1 安来市伯太町東母里*=0.5</p>	35° 18.6' N	133° 12.9' E	13km	M: 2.7

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
14	4 12 09	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*0.8 根室市瑠瑠瑠*0.5	43° 15.9' N	147° 01.1' E	62km	M: 4.3
15	4 17 27	福島県沖 宮城県 1 角田市角田*0.6	37° 45.7' N	141° 36.1' E	56km	M: 3.7
16	5 02 43	福島県沖 福島県 1 浪江町幾世橋=1.0	37° 22.9' N	141° 19.5' E	28km	M: 3.2
17	5 03 20	奄美大島北東沖 鹿児島県 3 鹿児島十島村悪石島*2.8 鹿児島十島村諏訪之瀬島*2.5 2 奄美市笠利町里*2.2 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.1 瀬戸内町加計呂麻島*1.7 喜界町湾*1.6 鹿児島十島村中之島出張所*1.6 喜界町滝川=1.5 1 鹿児島十島村口之島出張所*1.3 屋久島町口永良部島公民館*1.3 瀬戸内町請島*1.1 奄美市名瀬矢之脇町=1.0 屋久島町平内=0.7 大和村思勝*0.5 龍郷町屋入=0.5 瀬戸内町西古見=0.5	29° 09.3' N	130° 21.9' E	63km	M: 5.5
18	5 03 44	宗谷地方北部 北海道 2 中頓別町中頓別*1.7 浜頓別町クッチャロ*1.5 1 猿払村浅茅野*1.2 宗谷枝幸町歌登東町*0.9 宗谷枝幸町栄町*0.8 稚内市沼川*0.6	45° 03.3' N	142° 10.9' E	0km	M: 3.5
19	5 09 19	千葉県北東部 茨城県 2 笠間市石井*1.5 神栖市溝口*1.5 1 石岡市柿岡=1.4 取手市井野*1.4 河内町源清田*1.4 小美玉市上玉里*1.3 龍ヶ崎市役所*1.2 筑西市舟生=1.2 桜川市真壁*1.2 石岡市八郷*1.1 茨城町小堤*1.1 小美玉市小川*1.1 つくば市小基*1.1 水戸市内原町*1.1 利根町布川=1.1 土浦市常名=1.1 筑西市門井*1.1 笠間市中央*1.1 つくばみらい市福田*1.1 かすみがうら市大和田*1.0 稲敷市伊佐津*1.0 稲敷市結佐*1.0 小美玉市堅倉*1.0 取手市寺田*1.0 稲敷市江戸崎甲*0.9 笠間市下郷*0.9 石岡市石岡*0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 土浦市藤沢*0.9 ひたちなか市南神敷台*0.9 かすみがうら市上土田*0.9 行方市玉造*0.9 坂東市岩井=0.9 石岡市若宮*0.8 桜川市岩瀬*0.8 日立市助川小学校*0.8 笠間市笠間*0.8 東海村東海*0.8 茨城鹿嶋市宮中*0.8 潮来市堀之内=0.7 つくば市天王台*0.7 鉾田市鉾田=0.7 城里町石塚*0.7 水戸市金町=0.6 水戸市千波町*0.6 千葉県 2 印西市笠神*1.6 浦安市日の出=1.5 市原市姉崎*1.5 1 東金市日吉台*1.4 旭市南堀之内*1.4 千葉佐倉市海隣寺町*1.4 印西市大森*1.4 山武市松尾町富士見台=1.3 山武市蓮沼ニ*1.3 山武市埴谷*1.3 千葉中央区中央港=1.3 千葉花見川区花島町*1.3 浦安市猫実*1.3 君津市久留里市場*1.3 一宮町一宮=1.3 香取市役所*1.3 香取市羽根川*1.3 香取市仁良*1.3 山武市殿台*1.2 千葉美浜区ひび野=1.2 市川市大町*1.2 船橋市湊町*1.2 野田市鶴奉*1.2 多古町多古=1.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.2 九十九里町片貝*1.2 芝山町小池*1.2 鋸南町下佐久間*1.2 南房総市岩糸*1.2 南房総市谷向*1.1 千葉稲毛区園生町*1.1 白井市復*1.1 長南町総合グラウンド=1.1 富津市下飯野*1.1 大網白里市大網*1.0 東金市東新宿=1.0 千葉美浜区稲毛海岸*1.0 横芝光町栗山*1.0 旭市高生*1.0 成田市松子*1.0 柏市柏*1.0 八千代市大和田新田*1.0 山武市蓮沼ハ*1.0 山武市松尾町五反田*1.0 木更津市富士見*1.0 成田国際空港=0.9 香取市佐原諏訪台*0.9 柏市旭町=0.9 八街市八街*0.9 栄町安食台*0.9 富里市七栄*0.9 鴨川市横渚*0.9 東金市東岩崎*0.9 いすみ市弥正*0.9 南房総市富浦町青木*0.9 旭市ニ*0.9 神崎町神崎本宿*0.9 千葉若葉区小倉台*0.9 館山市長須賀=0.8 千葉緑区おゆみ野*0.8 香取市佐原平田=0.8 成田市名古屋=0.8 鴨川市八色=0.7 木更津市太田=0.6 勝浦市墨名=0.6 勝浦市新官*0.6 東京都 2 東京台東区千束*1.8 東京荒川区東尾久*1.7 東京足立区伊興*1.5 1 東京墨田区東向島*1.4 東京荒川区荒川*1.4 東京足立区千住中居町*1.4 東京江戸川区中央=1.4 東京墨田区横川*1.3 東京江東区亀戸*1.3 東京板橋区相生町*1.3 東京足立区神明南*1.3 東京葛飾区立石*1.3 東京江戸川区船堀*1.3 東京江東区森下*1.2 東京北区西ヶ原*1.2 調布市西つつじヶ丘*1.2 東京墨田区吾妻橋*1.1 東京渋谷区本町*1.1 東京板橋区板橋*1.1 東京練馬区豊玉北*1.1 東京江戸川区鹿骨*1.1 八王子市堀之内*1.1 東京葛飾区金町*1.0 東京千代田区大手町=1.0 東京世田谷区世田谷*1.0 東京豊島区南池袋*0.9 東京北区赤羽南*0.9 東京板橋区高島平*0.9 小平市小川町*0.9 東京文京区本郷*0.9 東京台東区東上野*0.9 東京江東区枝川*0.9 東京大田区本羽田*0.9 東京新宿区上落合*0.8 町田市森野*0.8 東京世田谷区三軒茶屋*0.8 東京世田谷区成城*0.8 東京千代田区富士見*0.8 東京中央区勝どき*0.8 東京港区海岸=0.8 東京中野区中野*0.7 東京文京区スポーツセンタ*0.7 東京文京区大塚*0.7 国分寺市泉町*0.7 東京練馬区光が丘*0.7 東京千代田区麴町*0.7 東京中央区日本橋兜町*0.7 東京杉並区高井戸*0.6 西東京市中野*0.6 東京品川区平塚*0.6 東京大田区多摩川*0.6 東京港区南青山*0.6 東京渋谷区宇田川町*0.6 東京練馬区東大泉*0.5 東京中野区江古田*0.5 東京府中市朝日町*0.5 東京江東区青海=0.5 伊豆大島町波浮港*0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*1.5 1 横浜神奈川区広台太田町*1.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.3 横浜瀬谷区中屋敷*1.3 横浜港北区日吉本町*1.2 横浜瀬谷区三ツ境*1.2 横浜都筑区池辺町*1.2 清川村煤ヶ谷*1.2 横浜鶴見区末広町*1.1 横浜旭区川井宿町*1.1 横浜緑区十日市場町*1.1 横浜緑区鴨居*1.1 大和市下鶴間*1.1 愛川町角田*1.1 川崎川崎区宮前町*1.0 厚木市中町*1.0 横浜金沢区釜利谷南*0.9 横浜旭区今宿東町*0.9 川崎中原区小杉町*0.9 横須賀市光の丘*0.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.9 湯河原町中央=0.9 横浜磯子区洋光台*0.8 川崎宮前区野川*0.8 相模原南区磯部*0.8 相模原緑区中野*0.8 川崎宮前区宮前平*0.7 藤沢市長後*0.7 箱根町湯本*0.7 平塚市浅間町*0.5 栃木県 1 高根沢町石末*1.3 益子町益子=1.1 市貝町市塙*1.1 真岡市石島*1.1 鹿沼市晃望台*1.0	35° 40.3' N	140° 24.9' E	67km	M: 4.5

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>栃木市旭町=0.9 下野市田中*=0.9 真岡市田町*=0.8 芳賀町祖母井*=0.8 壬生町壬生甲*=0.8 下野市笹原*=0.8 宇都宮市明保野町=0.7 小山市神鳥谷*=0.5</p> <p>群馬県 1 渋川市赤城町*=1.1 邑楽町中野*=0.8 沼田市白沢町*=0.7 伊勢崎市西久保町*=0.6 みどり市大間々町*=0.6 沼田市西倉内町=0.5 渋川市吹屋*=0.5 板倉町板倉=0.5 千代田町赤岩*=0.5 前橋市堀越町*=0.5 前橋市粕川町*=0.5</p> <p>埼玉県 1 川口市三ツ和*=1.3 さいたま緑区中尾*=1.3 越谷市越ヶ谷*=1.1 蕨市中央*=1.1 宮代町笠原*=1.1 春日部市谷原新田*=1.0 三郷市中央*=0.9 さいたま大宮区大門*=0.9 さいたま中央区下落合*=0.9 狭山市入間川*=0.9 草加市中央*=0.9 さいたま南区別所*=0.8 加須市大利根*=0.8 久喜市下早見=0.8 川口市安行領家*=0.8 春日部市粕壁*=0.8 春日部市金崎*=0.8 八潮市中央*=0.8 さいたま北区宮原*=0.7 さいたま大宮区天沼町*=0.7 戸田市上戸田*=0.7 吉川市きよみ野*=0.7 さいたま浦和区高砂=0.6 本庄市児玉町=0.6 鴻巣市吹上富士見*=0.6 さいたま西区指扇*=0.6 加須市駒西*=0.6 さいたま見沼区堀崎*=0.6 和光市広沢*=0.6 熊谷市大里*=0.5 富士見市鶴馬*=0.5 幸手市東*=0.5 川島町下八ツ林*=0.5 久喜市青葉*=0.5 朝霞市本町*=0.5 志木市中宗岡*=0.5</p> <p>山梨県 1 富士河口湖町長浜*=1.0 富士川町鯉沢*=0.6 大月市御太刀*=0.6 富士河口湖町船津=0.5</p> <p>静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.4 富士宮市野中*=1.0 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 伊豆の国市長岡*=0.8 富士宮市弓沢町=0.8 熱海市網代=0.6 函南町平井*=0.6 富士市大淵*=0.6</p>				
20	5 11 11	浦河沖 北海道	42° 03.1' N	142° 29.3' E	68km	M: 3.8
		1 新ひだか町三石旭町*=1.3 安平町追分柏が丘*=0.7 新ひだか町静内御幸町*=0.7 函館市新浜町*=0.7 浦河町潮見=0.7 新ひだか町静内山手町=0.6 浦河町築地*=0.6				
21	5 17 33	三陸沖 岩手県	39° 44.4' N	143° 14.6' E	10km	M: 4.3
		1 宮古市田老*=1.0 盛岡市薮川*=0.8 宮古市五月町*=0.6 山田町大沢*=0.5 八幡平市田頭*=0.5				
22	6 09 23	長野県北部 長野県	36° 48.6' N	138° 36.0' E	2km	M: 3.3
		2 栄村小赤沢*=1.5 1 山ノ内町消防署*=0.7 飯山市飯山福寿町*=0.5				
		群馬県 1 草津町草津*=1.2 中之条町中之条町*=1.0 新潟県 1 十日町市上山*=0.6				
23	6 16 45	有明海 長崎県	32° 46.2' N	130° 25.8' E	8km	M: 2.7
		2 南島原市深江町*=1.7 1 雲仙市小浜町雲仙=0.6				
24	6 17 14	茨城県北部 茨城県	36° 38.2' N	140° 37.4' E	7km	M: 2.1
		1 日立市助川小学校*=0.7				
25	6 22 43	島根県東部 島根県	35° 11.0' N	132° 49.6' E	5km	M: 2.0
		1 雲南市掛合町掛合*=1.4				
26	7 00 58	埼玉県南部 栃木県	36° 03.8' N	139° 47.8' E	80km	M: 4.1
		3 下野市笹原*=2.5 2 栃木市岩舟町静*=2.2 足利市大正町*=2.0 佐野市高砂町*=2.0 下野市田中*=2.0 宇都宮市明保野町=1.8 栃木市藤岡町藤岡*=1.8 高根沢町石末*=1.7 佐野市田沼町*=1.7 壬生町壬生甲*=1.7 栃木市旭町=1.6 小山市中央町*=1.6 野木町丸林*=1.5 佐野市葛生東*=1.5 鹿沼市晃望台*=1.5 益子町益子=1.5				
		1 栃木市大平町富田*=1.4 小山市神鳥谷*=1.3 真岡市石島*=1.3 宇都宮市中里町*=1.3 鹿沼市口栗野*=1.3 佐野市中町*=1.2 上三川町しらさぎ*=1.2 栃木市都賀町原宿*=1.2 栃木市西方町本城*=1.1 宇都宮市中岡本町*=1.1 真岡市田町*=1.0 大田原市湯津上*=1.0 芳賀町祖母井*=1.0 下野市大松山*=1.0 栃木市万町*=1.0 宇都宮市埴田*=0.9 宇都宮市旭*=0.9 真岡市荒町*=0.9 茂木町茂木*=0.9 日光市足尾町中才*=0.8 日光市芹沼*=0.7 鹿沼市今宮町*=0.7 日光市足尾町通洞*=0.7 那須烏山市大金*=0.6 日光市黒部*=0.6 日光市鬼怒川温泉大原*=0.6 日光市湯元*=0.6 栃木那珂川町小川*=0.5				
		群馬県 3 板倉町板倉=2.6 2 千代田町赤岩*=2.1 邑楽町中野*=2.1 館林市上三林町*=2.0 大泉町日の出*=2.0 渋川市赤城町*=1.9 渋川市吹屋*=1.7 桐生市新里町*=1.7 桐生市元宿町*=1.6 桐生市黒保根町*=1.6 群馬明和町新里*=1.5 館林市城町*=1.5				
		1 前橋市粕川町*=1.4 伊勢崎市西久保町*=1.4 太田市西本町*=1.4 みどり市大間々町*=1.3 太田市大原町*=1.2 みどり市東町*=1.2 前橋市堀越町*=1.2 桐生市錦町=1.2 伊勢崎市東町*=1.1 太田市粕川町*=1.1 沼田市白沢町*=1.1 渋川市伊香保町*=1.0 藤岡市鬼石*=1.0 沼田市西倉内町=1.0 前橋市鼻毛石町*=1.0 太田市浜町*=1.0 吉岡町下野田*=0.9 みどり市笠懸町*=0.9 前橋市富士見町*=0.8 太田市新田金井町*=0.7 沼田市下久屋町*=0.7 甘楽町小幡*=0.7 沼田市尾瀬高等学校=0.6 片品村鎌田*=0.6 安中市安中*=0.6 東吾妻町奥田*=0.6 群馬昭和村糸井*=0.6 高崎市吉井町吉井川*=0.6 渋川市石原*=0.5 渋川市北橋町*=0.5 渋川市村上*=0.5 伊勢崎市境*=0.5				
		埼玉県 3 加須市大利根*=3.1 行田市南河原*=2.5 2 行田市本丸*=2.3 久喜市下早見=2.3 久喜市青葉*=2.1 川島町下八ツ林*=2.1 宮代町笠原*=2.1 加須市駒西*=2.0 本庄市児玉町=2.0 熊谷市妻沼*=2.0 東松山市松葉町*=1.9 加須市三俣*=1.9 滑川町福田*=1.9 春日部市粕壁*=1.9 上尾市本町*=1.9 熊谷市大里*=1.9 吉見町下細谷*=1.7 埼玉美里町木部*=1.7 川口市中青木分室*=1.7 加須市北川辺*=1.7 和光市広沢*=1.7 桶川市泉*=1.7 さいたま北区宮原*=1.7 久喜市栗橋*=1.7 杉戸町清地*=1.6 さいたま大宮区天沼町*=1.6 さいたま岩槻区本丸*=1.6 羽生市東*=1.6 春日部市谷原新田*=1.6				

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		狭山市入間川*1.6 新座市野火止*1.6 幸手市東*1.6 春日部市金崎*1.5 久喜市菖蒲*1.5 八潮市中央*1.5 越生町越生*1.5 小川町大塚*1.5 さいたま見沼区堀崎*1.5 長瀬町野上下郷*1.5				
		1 東松山市市ノ川*1.4 鴻巣市中央*1.4 鴻巣市川里*1.4 深谷市仲町*1.4 久喜市鷲宮*1.4 ときがわ町桃木*1.4 所沢市北有楽町*1.4 草加市中央*1.4 北本市本町*1.4 さいたま大宮区大門*1.4 さいたま浦和区高砂*1.4 さいたま緑区中尾*1.4 鴻巣市吹上富士見*1.3 長瀬町本野上*1.3 深谷市花園*1.3 嵐山町杉山*1.3 坂戸市千代田*1.3 毛呂山町中央*1.3 さいたま西区指扇*1.3 入間市豊岡*1.2 熊谷市江南*1.2 伊奈町中央*1.2 さいたま南区別所*1.2 埼玉三芳町藤久保*1.1 ときがわ町玉川*1.1 川越市旭町=1.1 川口市安行領家*1.1 熊谷市桜町=1.1 蕨市中央*1.1 越谷市越ヶ谷*1.0 三郷市中央*1.0 さいたま中央区下落合*1.0 深谷市菅沼*1.0 寄居町寄居*1.0 戸田市上戸田*0.9 朝霞市本町*0.9 志木市中宗岡*0.9 富士見市鶴馬*0.9 鳩山町大豆戸*0.9 熊谷市宮町*0.9 川口市三ツ和*0.9 埼玉神川町植竹*0.8 鶴ヶ島市三ツ木*0.8 川越市新宿町*0.8 所沢市並木*0.8 飯能市名栗*0.8 深谷市普濟寺*0.8 東秩父村御堂*0.7 飯能市下直竹=0.7 蓮田市黒浜*0.7 秩父市近戸町*0.7 吉川市きよみ野*0.7 さいたま浦和区常盤*0.6 皆野町皆野*0.6 日高市南平沢*0.6 埼玉神川町下阿久原*0.5 ぶじみ野市福岡*0.5 秩父市上町=0.5 松伏町松伏*0.5 さいたま桜区道場*0.5				
		茨城県 2 結城市中央町*2.1 笠間市石井*1.9 桜川市羽田*1.8 笠間市笠間*1.8 筑西市舟生=1.8 水戸市内原町*1.6 坂東市馬立*1.6 茨城古河市下大野*1.6 桜川市真壁*1.5 土浦市常名=1.5 常陸大宮市北町*1.5 石岡市柿岡=1.5 桜川市岩瀬*1.5				
		1 坂東市岩井=1.4 坂東市役所*1.4 筑西市門井*1.4 小美玉市小川*1.3 取手市寺田*1.3 笠間市中央*1.3 土浦市藤沢*1.2 筑西市二木成*1.2 つくばみらい市福田*1.2 笠間市下郷*1.2 坂東市山*1.2 石岡市八郷*1.1 石岡市石岡*1.1 城里町石塚*1.1 かすみがうら市上土田*1.1 茨城古河市長谷町*1.1 石岡市若宮*1.1 つくば市小茎*1.0 守谷市大柏*1.0 小美玉市堅倉*1.0 小美玉市上玉里*1.0 日立市助川小学校*1.0 下妻市本城町*1.0 茨城町小堤*1.0 つくば市天王台*1.0 常総市新石下*1.0 筑西市海老ヶ島*0.9 常陸大宮市野口*0.9 水戸市千波町*0.9 城里町阿波山*0.9 稲敷市江戸崎甲*0.9 下妻市鬼怒*0.9 行方市玉造*0.8 行方市麻生*0.8 茨城古河市仁連*0.8 常総市海大道諏訪町*0.8 常陸太田市町屋町=0.8 城里町徳蔵*0.8 土浦市田中*0.8 つくば市研究学園*0.8 水戸市金町=0.8 五霞町小福田*0.8 かすみがうら市大和田*0.8 龍ヶ崎市役所*0.8 境町旭町*0.7 常陸大宮市山方*0.7 稲敷市伊佐津*0.6 牛久市中央*0.6 鉾田市汲上*0.6 鉾田市造谷*0.6 美浦村受領*0.6 八千代町菅谷*0.6 東海村東海*0.6 水戸市栗崎町*0.6 ひたちなか市南神敷台*0.5 利根町布川=0.5 茨城鹿嶋市鉾形=0.5				
		千葉県 2 野田市鶴奉*1.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.6 市川市大町*1.5				
		1 柏市旭町=1.4 習志野市鷲沼*1.3 八千代市大和田新田*1.3 船橋市湊町*1.2 松戸市西馬橋*1.2 野田市東宝珠花*1.2 柏市柏*1.2 白井市復*1.2 千葉花見川区花島町*1.0 香取市役所*0.9 千葉若葉区小倉台*0.9 千葉美浜区ひび野*0.9 柏市大島田*0.9 浦安市日の出=0.9 市原市姉崎*0.8 千葉中央区中央港=0.8 千葉稲毛区園生町*0.8 千葉緑区おゆみ塚*0.7 栄町安食台*0.7 君津市久留里市場*0.7 長南町総合グラウンド=0.6 千葉美浜区稲毛海岸*0.6 成田市名古屋=0.5 東金市日吉台*0.5				
		東京都 2 東京杉並区高井戸*2.2 東京中野区中野*2.1 東京渋谷区本町*2.0 東京練馬区光が丘*2.0 調布市西つじヶ丘*2.0 小平市小川町*2.0 東京千代田区大手町=1.9 東京渋谷区宇田川町*1.9 東京板橋区相生町*1.9 東京新宿区百人町*1.8 東京世田谷区成城*1.8 町田市本町田*1.8 東京中野区中央*1.7 東京杉並区桃井*1.7 東京練馬区豊玉北*1.7 八王子市堀之内*1.7 東村山市本町*1.7 国分寺市泉町*1.7 西東京市中町*1.7 東大和市中央*1.7 東京中央区勝どき*1.7 東京新宿区上落合*1.7 東京北区西ヶ原*1.6 東京練馬区東大泉*1.6 東京江戸川区中央=1.6 町田市森野*1.6 東京千代田区富士見*1.6 東京品川区平塚*1.6 青梅市日向和田*1.6 東京世田谷区世田谷*1.6 東京府中市朝日町*1.5 町田市忠生*1.5 東京港区海岸=1.5 東京文京区本郷*1.5 東京文京区大塚*1.5 狛江市和泉本町*1.5 多摩市関戸*1.5 東京世田谷区三軒茶屋*1.5				
		1 東京豊島区南池袋*1.4 東京足立区伊興*1.4 日野市神明*1.4 東村山市美住町*1.4 東京品川区北品川*1.3 東京中野区江古田*1.3 東京杉並区阿佐谷=1.3 小金井市本町*1.3 瑞穂町箱根ヶ崎*1.3 東京荒川区東尾久*1.2 東京足立区神明南*1.2 東京葛飾区立石*1.2 東京江戸川区船堀*1.2 武蔵野市緑町*1.2 武蔵野市吉祥寺東町*1.2 稲城市東長沼*1.2 あきる野市伊奈*1.2 東京文京区スポーツセンタ*1.2 東京中央区築地*1.1 東京港区南青山*1.1 東京港区白金*1.1 東京世田谷区中町*1.1 八王子市大横町=1.1 東京府中市寿町*1.1 国分寺市並木町=1.1 東久留米市本町*1.1 武蔵村山市本町*1.1 東京千代田区麹町*1.0 東京港区芝公園*1.0 東京台東区東上野*1.0 東京大田区本羽田*1.0 東京板橋区高島平*1.0 東京足立区千住中居町*1.0 八王子市石川町*1.0 三鷹市新川*1.0 調布市小島町*1.0 東京板橋区板橋*0.9 東京中央区日本橋兜町*0.9 東京新宿区西新宿=0.9 国立市富士見台*0.9 清瀬市中里*0.9 清瀬市中清戸*0.9 東京新宿区歌舞伎町*0.9 東京墨田区吾妻橋*0.9 青梅市東青梅=0.9 東京江東区森下*0.9 東京目黒区中央町*0.9 東京江東区枝川*0.8 東京北区赤羽南*0.8 東京荒川区荒川*0.8 東京葛飾区金町*0.8 東京江戸川区鹿骨*0.8 立川市泉町*0.8 東京台東区千束*0.8 東京墨田区東向島*0.7 多摩市鶴牧*0.7 東京品川区広町*0.7 東京大田区多摩川*0.7 東京墨田区横川=0.6 東京江東区青海=0.6 東京江東区亀戸*0.6 東京国際空港=0.6 羽村市緑ヶ丘*0.6 東京足立区中央本町*0.6 檜原村本宿*0.6 福生市福生*0.5				
		神奈川県 2 厚木市中町*2.0 横浜鶴見区末広町*1.8 横浜神奈川区神大寺*1.8 横浜磯子区洋光台*1.8 川崎宮前区宮前平*1.8 川崎中原区小須町*1.7 横浜磯子区磯子*1.6 横浜港北区日吉本町*1.6 相模原緑区中野*1.6 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.5 川崎川崎区宮前町*1.5 相模原南区磯部*1.5 横浜中区山下町*1.4 横浜旭区今宿東町*1.4 横浜緑区十日市場町*1.4 横浜瀬谷区中屋敷*1.4 川崎高津区下作延*1.4 川崎麻生区片平*1.4 清川村煤ヶ谷*1.4 横浜中区山手町=1.3 横浜栄区小菅ヶ谷*1.3 川崎中原区小杉陣屋町=1.3 川崎宮前区野川*1.3 愛川町角田*1.3				

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		相模原緑区大島*=1.3 横浜西区浜松町*=1.2 横浜金沢区白帆*=1.2 横浜戸塚区鳥が丘*=1.2 横浜港南区野庭町*=1.2 横浜旭区川井宿町*=1.2 横浜瀬谷区三ツ境*=1.2 大和市下鶴間*=1.2 小田原市荻窪*=1.2 中井町比奈窪*=1.2 横浜鶴見区鶴見*=1.1 横浜神奈川区広台太田町*=1.1 横浜中区日本大通*=1.1 横浜青葉区鴨志田町*=1.1 川崎川崎区千鳥町*=1.1 座間市相武台*=1.1 相模原緑区久保沢*=1.1 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.0 横浜旭区上白根町*=1.0 川崎多摩区登戸*=1.0 海老名市大谷*=1.0 箱根町湯本*=1.0 湯河原町中央=1.0 横浜南区六ツ川*=0.9 横浜金沢区釜利谷南*=0.9 横浜戸塚区平戸町*=0.9 横浜港南区丸山台北部*=0.9 横浜都筑区茅ヶ崎*=0.9 平塚市浅間町*=0.9 藤沢市大庭*=0.9 秦野市曾屋=0.9 山北町山北*=0.9 横浜西区みなとみらい*=0.9 横浜栄区桂台南*=0.8 鎌倉市御成町*=0.8 横浜鶴見区馬場*=0.8 藤沢市辻堂西海岸*=0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 綾瀬市深谷中*=0.8 南足柄市関本*=0.8 横浜中区山吹町*=0.8 松田町松田惣領*=0.8 横浜港北区綱島西*=0.8 神奈川大井町金子*=0.7 逗子市桜山*=0.6 横浜南区大岡*=0.6 秦野市平沢*=0.6 横浜青葉区美しが丘*=0.6 横須賀市坂本町*=0.6 横須賀市光の丘=0.5 藤沢市朝日町*=0.5				
27	7 01 55	山梨県 1 上野原市役所*=1.1 大月市御太刀*=1.0 山梨北杜市長坂町*=0.9 富士川町鯉沢*=0.7 大月市大月=0.7 富士河口湖町船津=0.7 富士河口湖町長浜*=0.7 甲州市塩山上於曾*=0.6 小菅村小菅小学校*=0.6 富士吉田市下吉田*=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.2 伊豆市中伊豆グラウンド=0.9 富士市大淵*=0.9 熱海市泉*=0.7 富士宮市野中*=0.6 伊東市八幡野*=0.5 松崎町江奈*=0.5 富士宮市弓沢町=0.5	37° 08.8' N	141° 10.9' E	18km	M: 4.3
		福島県沖 福島県 2 檜葉町北田*=1.7 1 福島広野町下北迫大谷地原*=1.3 富岡町本岡*=1.2 川内村上川内早渡*=1.2 大熊町大川原*=1.2 田村市都路町*=1.1 相馬市中村*=1.1 浪江町幾世橋=1.0 棚倉町棚倉中居野=0.9 双葉町長塚*=0.9 天栄村下松本*=0.9 白河市新白河*=0.8 須賀川市岩瀬支所*=0.8 浅川町浅川*=0.8 二本松市金色*=0.8 いわき市小名浜=0.8 鏡石町不時沼*=0.8 田村市常葉町*=0.7 田村市船引町=0.7 川内村上川内小山平*=0.7 川内村下川内=0.6 小野町小野新町*=0.6 玉川村小高*=0.6 福島広野町下北迫苗代替*=0.6 川俣町五百田*=0.6 南相馬市鹿島区西町*=0.6 本宮市本宮*=0.5 いわき市三和町=0.5 大熊町野上*=0.5 郡山市湖南町*=0.5 白河市郭内=0.5 二本松市油井*=0.5 宮城県 1 大崎市田尻*=0.6 涌谷町新町裏=0.5 山形県 1 米沢市アルカディア=0.7				
28	7 12 13	十勝地方北部 北海道 1 新得町トムラウシ*=0.9 美瑛町忠別*=0.5	43° 24.9' N	142° 54.2' E	6km	M: 3.1
29	7 15 17	青森県東方沖 青森県 1 八戸市内丸*=1.0 八戸市湊町=0.9 八戸市南郷*=0.8 階上町道仏*=0.6 五戸町古館=0.5 野辺地町野辺地*=0.5 岩手県 1 久慈市枝成沢=0.5	40° 54.5' N	142° 06.4' E	56km	M: 3.7
30	7 20 01	山梨県東部・富士五湖 神奈川県 3 山北町山北*=2.9 2 相模原緑区中野*=2.3 南足柄市関本*=2.0 松田町松田惣領*=1.9 小田原市荻窪*=1.9 小田原市久野=1.7 神奈川大井町金子*=1.7 秦野市曾屋=1.6 開成町延沢*=1.6 箱根町湯本*=1.6 相模原緑区大島*=1.5 厚木市中町*=1.5 1 秦野市平沢*=1.4 中井町比奈窪*=1.3 平塚市浅間町*=1.3 清川村煤ヶ谷*=1.2 相模原南区磯部*=1.2 横浜旭区上白根町*=1.1 海老名市大谷*=1.0 横浜旭区川井宿町*=1.0 横浜瀬谷区中屋敷*=1.0 相模原中央区中央=1.0 大和市下鶴間*=0.9 横浜神奈川区神大寺*=0.9 相模原緑区久保沢*=0.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=0.9 湯河原町中央=0.9 愛川町角田*=0.9 藤沢市打戻*=0.9 横浜神奈川区広台太田町*=0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 横浜旭区今宿東町*=0.8 横浜緑区十日市場町*=0.7 綾瀬市深谷中*=0.6 横浜戸塚区戸塚町*=0.6 大磯町月京*=0.5 3 富士河口湖町船津=2.6 2 甲州市役所*=2.3 山中湖村山中*=2.1 上野原市役所*=2.0 甲州市塩山上於曾*=2.0 富士河口湖町長浜*=2.0 富士河口湖町勝山*=1.9 都留市上谷*=1.9 大月市御太刀*=1.8 道志村釜之前*=1.8 忍野村忍草*=1.8 山梨市牧丘町窪平*=1.7 西桂町小沼*=1.7 甲州市勝沼町勝沼*=1.6 富士吉田市下吉田*=1.6 甲府市古閑町*=1.6 富士吉田市上吉田*=1.5 甲州市大和町初鹿野*=1.5 1 大月市大月=1.3 上野原市秋山*=1.3 富士河口湖町役場*=1.3 上野原市四方津=1.2 甲州市塩山下於曾=1.1 富士川町鯉沢*=1.1 身延町大磯小磯=1.1 鳴沢村役場*=1.0 丹波山村丹波*=1.0 山梨北杜市長坂町*=0.9 大月市役所*=0.6 甲府市相生*=0.6 富士河口湖町本栖*=0.5 笛吹市芦川町中芦川*=0.5 静岡県 2 富士市吉永*=1.5 小山町藤曲*=1.5 1 富士市大淵*=1.4 富士宮市弓沢町=1.2 富士宮市野中*=1.2 三島市東本町=1.0 富士宮市猪の頭*=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 伊豆の国市長岡*=0.8 御殿場市柴原沢*=0.8 沼津市西間門*=0.7 函南町平井*=0.6 長泉町中土狩*=0.6 群馬県 1 神流町生利*=0.6 埼玉県 1 秩父市中津川*=1.2 東京都 1 日野市神明*=1.1 東大和市中央*=1.0 小金井市本町*=1.0 小平市小川町*=0.9 東京世田谷区世田谷*=0.8 東京世田谷区三軒茶屋*=0.8 町田市森野*=0.8 国分寺市並木町=0.8 西東京市中町*=0.8 東京渋谷区宇田川町*=0.7 東京練馬区光が丘*=0.7 調布市西つつじヶ丘*=0.7 東京杉並区高井戸*=0.6 東京練馬区東大泉*=0.6 東京府中市朝日町*=0.5 東京千代田区大手町=0.5 八王子市堀之内*=0.5 長野県 1 佐久市下小田切=1.2 小海町豊里*=0.9 長野南牧村海ノ口*=0.9 長野川上村大深山*=0.6	35° 27.0' N	138° 56.7' E	20km	M: 4.0

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		佐久市臼田*0.5				
31	7 23 11	奄美大島近海 鹿児島県 1 天城町平土野*1.2 瀬戸内町請島*0.6 伊仙町伊仙*0.5	27° 56.8' N	128° 56.5' E	43km	M: 3.2
32	8 08 48	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校*1.7 1 日立市役所*1.3 東海村東海*1.3 ひたちなか市南神敷台*1.2 水戸市栗崎町*1.1 水戸市内原町*1.1 城里町石塚*1.0 水戸市千波町*0.9 小美玉市堅倉*0.9 鉾田市汲上*0.9 小美玉市小川*0.8 常陸大宮市北町*0.8 茨城鹿嶋市鉢形*0.8 水戸市金町*0.8 笠間市笠間*0.7 土浦市常名*0.7 常陸太田市高柿町*0.7 鉾田市鉾田*0.7 笠間市石井*0.7 常陸太田市町田町*0.6 日立市十王町友部*0.6 ひたちなか市東石川*0.6 高萩市安良川*0.6 桜川市岩瀬*0.6 常陸太田市町屋町*0.6 笠間市中央*0.6 筑西市門井*0.5 茨城町小堤*0.5 大洗町磯浜町*0.5 笠間市下郷*0.5	36° 34.1' N	140° 48.5' E	52km	M: 3.6
33	8 09 20	宮城県沖 宮城県 2 大崎市古川旭*1.5 1 大崎市古川三日町=1.2 石巻市桃生町*1.1 大崎市田尻*1.0 名取市増田*1.0 宮城川崎町前川*1.0 登米市米山町*1.0 栗原市一迫*1.0 栗原市志波姫*0.9 栗原市築館*0.9 岩沼市桜*0.9 蔵王町円田*0.9 仙台青葉区作並*0.8 石巻市北上町*0.8 大崎市古川大崎*0.8 栗原市瀬峰*0.8 栗原市高清水*0.7 宮城加美町中新田*0.7 松島町高城*0.7 登米市南方町*0.7 亶理町悠里*0.7 涌谷町新町裏*0.6 大衡村大衡*0.6 仙台宮城野区苦竹*0.6 登米市中田町*0.6 山元町浅生原*0.6 栗原市栗駒*0.5 登米市東和町*0.5 岩手県 1 一関市室根町*0.8 一関市藤沢町*0.7 一関市千厩町*0.5 福島県 1 相馬市中村*1.1 新地町谷地小屋*1.0 福島市花園町=0.8 福島市桜木町*0.6 田村市船引町=0.5	37° 59.6' N	141° 49.0' E	52km	M: 4.0
34	8 10 00	沖縄本島近海 沖縄県 2 国頭村辺土名*2.2 国頭村奥=1.7 1 東村平良*1.0 鹿児島県 1 与論町茶花*1.1 与論町麦屋=0.6	26° 48.6' N	128° 25.3' E	28km	M: 3.9
35	8 10 59	茨城県沖 宮城県 1 岩沼市桜*0.8 蔵王町円田*0.8 大河原町新南*0.8 丸森町鳥屋*0.7 石巻市桃生町*0.7 松島町高城=0.6 宮城川崎町前川*0.6 福島県 1 天栄村下松本*1.3 古殿村松川新桑原*1.2 白河市新白河*1.1 双葉町長塚*1.1 郡山市湖南町*1.1 浅川町浅川*1.1 泉崎村泉崎*1.0 いわき市錦町*1.0 白河市東*1.0 玉川村小高*0.9 須賀川市八幡山*0.9 須賀川市岩瀬支所*0.9 猪苗代町下園*0.8 福島市花園町=0.8 大玉村南小屋=0.8 猪苗代町城南=0.8 南相馬市原町区高見町*0.7 福島市桜木町*0.7 郡山市朝日=0.7 浪江町幾世橋=0.7 白河市郭内=0.6 いわき市三和町=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.6 南相馬市原町区三島町=0.5 茨城県 1 水戸市内原町*1.3 笠間市石井*1.3 東海村東海*1.2 日立市助川小学校*1.2 ひたちなか市南神敷台*1.1 土浦市常名=1.1 大子町池田*0.9 小美玉市小川*0.9 筑西市舟生=0.9 鉾田市汲上*0.9 水戸市千波町*0.9 水戸市金町=0.8 桜川市真壁*0.8 日立市十王町友部*0.8 石岡市若宮*0.7 茨城鹿嶋市宮中*0.7 高萩市安良川*0.7 水戸市栗崎町*0.7 鉾田市鉾田=0.6 石岡市柿岡=0.6 つくば市天王台*0.6 潮来市堀之内=0.6 稲敷市江戸崎甲*0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 取手市寺田*0.5 栃木県 1 大田原市湯津上*1.4 益子町益子=1.2 市貝町市塙*1.1 小山市神鳥谷*0.6 群馬県 1 渋川市赤城町*0.9 沼田市白沢町*0.7 千葉県 1 香取市佐原平田=0.6	36° 19.8' N	141° 51.2' E	2km	M: 4.9
36	8 13 33	鳥取県中部 岡山県 1 真庭市禾津*1.1 真庭市下方*0.5	35° 21.5' N	133° 44.2' E	11km	M: 2.8
37	8 14 30	青森県東方沖 青森県 1 八戸市湊町=0.8	40° 43.1' N	142° 23.2' E	72km	M: 3.6
38	8 22 24	福島県会津 福島県 1 南会津町界*0.8	37° 18.5' N	139° 31.2' E	9km	M: 2.1
39	9 01 50	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*1.4 根室市瑤瑤瑁*1.4 中標津町丸山*0.6 別海町常盤=0.5 根室市牧の内*0.5	43° 27.4' N	146° 45.6' E	48km	M: 4.1
40	9 03 00	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*0.5	29° 12.4' N	129° 14.5' E	8km	M: 2.6
41	9 03 54	福島県中通り 茨城県 1 笠間市石井*0.6	37° 05.5' N	140° 23.9' E	84km	M: 2.9
42	9 06 45	十勝地方南部 北海道 1 幕別町忠類錦町*1.4 広尾町並木通=1.4 浦河町潮見=1.3 様似町栄町*1.3 十勝大樹町東本通*1.1 更別村更別*1.1 広尾町白樺通=1.1 浦河町築地*1.0 浦幌町桜町*1.0 浦河町野深=0.9 十勝大樹町生花*0.9 白糠町西1条*0.8 本別町北2丁目=0.6 釧路市阿寒町中央*0.6 十勝池田町西1条*0.6 本別町向陽町*0.5	42° 21.5' N	143° 06.8' E	51km	M: 4.0

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
43	9 10 13	和歌山県南方沖 和歌山県 1	33° 29.4' N	135° 36.0' E	25km	M: 2.5 すさみ町周参見*=0.5
44	9 21 27	埼玉県北部 栃木県 群馬県 埼玉県 1	36° 07.5' N	139° 40.7' E	87km	M: 3.3 佐野市高砂町*=0.7 佐野市葛生東*=0.5 宇都宮市明保野町=0.5 渋川市吹屋*=0.8 伊勢崎市東町*=0.7 前橋市粕川町*=0.7 伊勢崎市西久保町*=0.7 邑楽町中野*=0.6 桐生市黒保根町*=0.6 桐生市元宿町*=0.6 板倉町板倉=0.6 太田市大原町*=0.5 滑川町福田*=1.0 東松山市松葉町*=0.9 加須市大根*=0.7 本庄市児玉町=0.6 東松山市市ノ川*=0.5 小川町大塚*=0.5
45	9 23 44	宗谷地方南部 北海道 2	45° 02.2' N	142° 11.3' E	0km	M: 3.6 浜頓別町クッチャロ*=1.5 猿払村浅茅野*=1.4 中頓別町中頓別*=1.3 宗谷枝幸町栄町*=1.0
46	10 00 08	千葉県北西部 千葉県 東京都 神奈川県 1	35° 38.0' N	140° 03.7' E	73km	M: 3.2 市原市姉崎*=0.5 調布市西つつじヶ丘*=0.6 川崎川崎区宮前町*=0.8
47	10 04 31	奄美大島近海 鹿児島県 2	28° 02.6' N	129° 04.2' E	11km	M: 3.6 瀬戸内町与路島*=2.0 瀬戸内町加計呂麻島*=1.9 瀬戸内町請島*=1.5 瀬戸内町古仁屋*=1.2 天城町平土野*=1.1 瀬戸内町西古見=1.0 伊仙町伊仙*=1.0
48	10 10 17	根室地方北部 北海道 2	43° 55.9' N	145° 00.8' E	6km	M: 3.5 斜里町ウトロ香川*=1.6 羅臼町春日=1.5 標津町薫別*=1.2 標津町古多糠=0.5
49	10 13 19	トカラ列島近海 鹿児島県 1	29° 21.9' N	129° 32.9' E	9km	M: 2.3 鹿児島十島村悪石島*=0.9
50	10 18 15	トカラ列島近海 鹿児島県 1	29° 21.8' N	129° 32.5' E	10km	M: 2.0 鹿児島十島村悪石島*=0.7
51	11 01 12	千葉県南東沖 千葉県 1	34° 36.6' N	140° 14.3' E	60km	M: 3.6 勝浦市墨名=0.6
52	11 03 52	関東東方沖 青森県 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 1	35° 35.5' N	143° 46.6' E	50km	M: 5.1 階上町道仏*=1.0 八戸市南郷*=0.5 盛岡市薮川*=0.9 岩沼市桜*=1.0 石巻市桃生町*=1.0 松島町高城=0.7 蔵王町円田*=0.6 大崎市田尻*=0.6 角田市角田*=0.6 栗原市築館*=0.6 田村市大越町*=0.8 郡山市湖南町*=0.6 白河市新白河*=0.5 水戸市千波町*=0.5 笠間市石井*=0.5
53	11 13 30	釧路地方中南部 北海道 1	43° 12.2' N	145° 10.9' E	88km	M: 3.9 浜中町茶内*=1.2 浜中町湯沸=1.0 標茶町塘路*=1.0 根室市厚床*=1.0 根室市落石東*=0.8 根室市牧の内*=0.7 厚岸町尾幌=0.7 鶴居村鶴居東*=0.7 釧路市幸町=0.6 別海町常盤=0.6 別海町本別海*=0.6
54	11 16 46	千葉県東方沖 千葉県 1	35° 23.3' N	140° 27.6' E	57km	M: 3.0 千葉若葉区野呂町*=1.0 大網白里市大網*=0.7 長南町総合グラウンド=0.7 東金市日吉台*=0.5 一宮町一宮=0.5 長生村本郷*=0.5
55	11 17 36	静岡県西部 静岡県 長野県 岐阜県 愛知県 1	34° 51.4' N	137° 50.0' E	19km	M: 3.4 浜松天竜区佐久間町*=1.7 浜松天竜区春野町*=0.8 浜松天竜区龍山町*=0.7 湖西市吉美*=0.7 島田市川根町家山=0.6 浜松浜名区三ヶ日町=0.6 袋井市新屋=0.5 根羽村役場*=0.9 泰阜村役場*=0.7 下條村睦沢*=0.5 恵那市上矢作町*=1.0 新城市大野*=0.8 新城市東入船*=0.7 新城市乗本=0.6 豊根村富山*=0.6
56	11 19 36	宗谷地方南部 北海道 1	45° 02.5' N	142° 11.4' E	0km	M: 3.3 中頓別町中頓別*=1.1 猿払村浅茅野*=0.8 浜頓別町クッチャロ*=0.7
57	12 02 28	青森県東方沖 青森県 3	41° 29.4' N	142° 02.8' E	56km	M: 4.3 東通村砂子又沢内*=2.8 東通村砂子又蒲谷地=1.9 野辺地町田狭沢*=1.8 むつ市金曲=1.8 平内町小湊=1.8 むつ市大畑町中島*=1.6 むつ市金谷*=1.6 野辺地町野辺地*=1.5 外ヶ浜町蟹田*=1.3 七戸町森ノ上*=1.2 横浜町林ノ脇*=1.2 六ヶ所村尾駈=1.2 階上町道仏*=1.2 東通村尻屋*=1.2 むつ市川内町*=1.1 むつ市大畑町奥薬研=1.0 横浜町寺下*=1.0 八戸市湊町=0.8 三沢市桜町*=0.8 東通村白糠*=0.8 八戸市内丸*=0.7 東北町上北南*=0.6 東北町塔ノ沢山*=0.6 藤崎町水木*=0.6 五戸町古館=0.6 五戸町倉石中市*=0.6 青森南部町平*=0.6

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
58	12 03 00	北海道 2 函館市泊町*1.9 1 函館市新浜町*1.4 函館市日ノ浜町*1.4 白老町竹浦=1.2 千歳市若草*1.2 登別市鉦山=1.1 むかわ町穂別*1.1 苫小牧市旭町*1.0 新千歳空港=0.9 千歳市北栄=0.9 苫小牧市末広町=0.9 千歳市支笏湖温泉*0.9 胆振伊達市梅本=0.8 安平町早来北進*0.8 室蘭市寿町*0.7 登別市桜木町*0.7 函館市大森町*0.7 壮瞥町滝之町*0.7 安平町追分柏が丘*0.7 むかわ町松風*0.7 新ひだか町静内山手町=0.6 厚真町鹿沼=0.6 胆振伊達市大滝区本町*0.6 恵庭市京町*0.6 鹿部町宮浜*0.6 函館市川汲町*0.6 新ひだか町静内御幸町*0.5 新ひだか町三石旭町*0.5 日高地方日高町門別*0.5 福島町福島*0.5				
		北海道東方沖 北海道 3 根室市落石東*2.7 2 根室市瑠瑠瑠*2.3 別海町常盤=2.1 別海町本別海*2.0 標津町北2条*2.0 根室市厚床*1.9 中標津町丸山*1.8 羅臼町岬町*1.7 根室市牧の内*1.7 標茶町塘路*1.6 釧路市黒金町*1.5 白糠町西1条*1.5 1 浜中町茶内*1.3 根室市弥栄=1.3 釧路市阿寒町中央*1.2 中標津町養老牛=1.2 羅臼町緑町*1.2 釧路市音別町中園*1.2 清里町羽衣町*1.1 浦幌町桜町*1.1 釧路市幸町=1.0 厚岸町尾幌=1.0 函館市新浜町*1.0 鶴居村鶴居東*0.9 弟子屈町弟子屈*0.9 厚岸町真栄*0.9 十勝大樹町生花*0.9 浦河町潮見=0.8 標茶町川上*0.8 十勝池田町西1条*0.8 弟子屈町サワソビ*0.7 斜里町本町=0.7 標津町古多糠=0.7 標津町薫別*0.7 羅臼町春日=0.7 様似町栄町*0.7 新ひだか町静内山手町=0.7 浜中町湯沸=0.5 十勝清水町南4条=0.5 根室市豊里=0.5	44° 03.5' N	147° 20.2' E	0km	M: 5.2
59	12 07 39	福島県中通り 福島県 1 田村市都路町*1.4 大熊町大川原*0.8 川内村下川内=0.7	37° 25.7' N	140° 47.2' E	80km	M: 3.4
60	12 13 05	秋田県内陸北部 秋田県 1 大館市比内町扇田*0.7	40° 11.0' N	140° 34.0' E	12km	M: 2.6
61	13 01 45	択捉島南東沖 北海道 1 根室市落石東*1.1 根室市瑠瑠瑠*0.6	43° 45.1' N	148° 11.0' E	83km	M: 5.3
62	13 05 49	青森県東方沖 岩手県 1 盛岡市藪川*0.6	40° 49.9' N	143° 05.8' E	0km	M: 4.5
63	13 06 23	福島県沖 福島県 1 飯館村伊丹沢*0.9 田村市船引町=0.8 南相馬市鹿島区西町*0.7 南相馬市原町区三島町=0.6 相馬市中村*0.6 田村市都路町*0.5	37° 51.4' N	141° 43.6' E	61km	M: 4.0
64	13 06 48	沖縄本島近海 鹿児島県 2 与論町茶花*1.5 1 伊仙町伊仙*1.4 和泊町和泊*1.4 知名町瀬利寛=1.4 天城町平土野*1.2 和泊町国頭=1.0 瀬戸内町与路島*0.9 瀬戸内町加計呂麻島*0.8 知名町知名*0.6 与論町麦屋=0.6 沖縄県 2 国頭村辺土名*2.3 座間味村座間味*2.1 西原町与那城*2.0 名護市港*2.0 恩納村恩納*1.9 うるま市石川石崎*1.9 今帰仁村仲宗根*1.8 本部町役場*1.8 南城市知念久手堅*1.8 南城市佐敷字新里*1.8 国頭村奥=1.7 八重瀬町東風平*1.7 北大東村中野*1.7 うるま市与那城平安座*1.6 豊見城市宜保*1.6 沖縄市美里*1.6 うるま市みどり町*1.6 糸満市潮崎町*1.6 大宜味村大兼久*1.5 八重瀬町具志頭*1.5 与那原町上与那原*1.5 南城市玉城字玉城=1.5 北中城村喜舎場*1.5 那覇市港町*1.5 1 東村平良*1.4 宜野湾市野嵩*1.4 北谷町桑江*1.4 中城村当間*1.4 渡名喜村渡名喜*1.4 読谷村座喜味=1.3 南風原町兼城*1.3 那覇市樋川=1.3 久米島町比嘉*1.3 名護市豊原=1.2 嘉手納町嘉手納*1.2 久米島町謝名堂=1.2 那覇空港=1.2 伊是名村仲田*1.1 名護市宮里=1.1 宜野座村宜野座*1.1 伊江村東江前*1.1 北大東村黄金山=1.1 浦添市安波茶*1.0 うるま市勝連平安名*1.0 金武町金武*0.9 久米島町山城=0.9 伊平屋村役場*0.8 渡嘉敷村渡嘉敷*0.8 粟国村浜=0.6 伊平屋村我喜屋=0.6	25° 53.3' N	128° 35.2' E	48km	M: 5.6
65	13 13 58	新潟県下越地方 福島県 1 大熊町大川原*0.7 茨城県 1 日立市助川小学校*1.1 常陸太田市町屋町=0.7 ひたちなか市南神敷台*0.6 ひたちなか市東石川*0.5 笠間市石井*0.5 新潟県 1 三条市新堀*1.1 長岡市山古志竹沢*0.9 刈羽村割町新田*0.9	37° 46.6' N	139° 06.0' E	172km	M: 4.7
66	13 22 32	茨城県沖 茨城県 1 高萩市安良川*0.6 常陸大宮市山方*0.5	36° 43.9' N	140° 57.3' E	49km	M: 3.1
67	14 00 58	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*0.5	29° 37.0' N	129° 36.7' E	7km	M: 2.5
68	14 13 15	千葉県西北部 千葉県 1 千葉緑区おゆみ野*1.0	35° 34.9' N	140° 07.4' E	0km	M: 2.4
69	15 02 59	陸奥湾 青森県 1 平内町小湊=0.6	41° 01.9' N	141° 04.0' E	10km	M: 2.8

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
70	15 04 50	日向灘 宮崎県 1 門川町平城東*1.1 延岡市天神小路=0.8 川南町川南*0.7	32° 23.6' N	132° 17.5' E	26km	M: 3.5
71	15 11 52	茨城県南部 茨城県 2 筑西市二本成*1.6 笠間市石井*1.6 桜川市岩瀬*1.5 桜川市真壁*1.5 1 水戸市内原町*1.4 笠間市笠間*1.4 筑西市舟生=1.4 筑西市門井*1.4 茨城古河市下大野*1.3 石岡市柿岡=1.2 常陸大宮市北町*1.1 小美玉市小川*1.1 坂東市山*1.1 茨城古河市仁連*1.0 笠間市下郷*1.0 笠間市中央*1.0 結城市中央町*1.0 下妻市本城町*1.0 土浦市常名=1.0 土浦市藤沢*1.0 坂東市役所*0.9 石岡市石岡*0.9 筑西市海老ヶ島*0.9 常総市新石下*0.8 境町旭町*0.8 五霞町小福田*0.8 取手市寺田*0.7 つくば市天王台*0.7 城里町石塚*0.7 石岡市若宮*0.7 坂東市岩井=0.7 石岡市八郷*0.7 常陸大宮市山方*0.6 小美玉市堅倉*0.6 かすみがうら市上土田*0.6 小美玉市上玉里*0.6 つくばみらい市福田*0.6 八千代町菅谷*0.6 水戸市千波町*0.6 常陸大宮市野口*0.5 桜川市羽田*0.5 下妻市鬼怒*0.5 城里町阿波山*0.5 守谷市大柏*0.5 城里町徳蔵*0.5 栃木県 2 栃木市旭町=2.4 下野市笹原*2.1 下野市田中*2.0 壬生町壬生甲*2.0 宇都宮市明保野町=1.6 栃木市岩舟町静*1.6 佐野市高砂町*1.5 1 栃木市都賀町原宿*1.4 栃木市大平町富田*1.3 栃木市西方町本城*1.3 栃木市万町*1.3 小山市中央町*1.3 佐野市田沼町*1.2 真岡市荒町*1.2 真岡市石島*1.2 栃木市藤岡町藤岡*1.1 足利市大正町*1.1 佐野市葛生東*1.0 鹿沼市見望台*1.0 宇都宮市旭*1.0 真岡市田町*1.0 野木町丸林*1.0 小山市神島谷*0.9 上三川町しらさぎ*0.9 芳賀町祖母井*0.9 日光市鬼怒川温泉大原*0.7 茂木町茂木*0.7 佐野市中町*0.7 日光市足尾町通洞*0.7 下野市大松山*0.7 宇都宮市中里町*0.7 鹿沼市口栗野*0.7 日光市足尾町中才*0.6 日光市藤原庁舎*0.6 日光市芹沼*0.5 群馬県 2 板倉町板倉=1.7 1 邑楽町中野*1.0 桐生市元宿町*0.8 伊勢崎市東町*0.7 太田市大原町*0.7 桐生市新里町*0.6 伊勢崎市西久保町*0.6 渋川市赤城町*0.6 群馬明和町新里*0.6 千代田町赤岩*0.5 沼田市西倉内町=0.5 みどり市大間々町*0.5 埼玉県 2 加須市騎西*1.5 1 久喜市下早見=1.2 さいたま浦和高砂=1.2 春日部市金崎*1.1 宮代町笠原*1.1 行田市南河原*1.0 春日部市粕壁*1.0 熊谷市江南*0.9 加須市北川辺*0.9 加須市大利根*0.9 さいたま北区宮原*0.9 さいたま南区別所*0.9 滑川町福田*0.8 川越市新宿町*0.8 さいたま見沼区堀崎*0.8 久喜市栗橋*0.8 久喜市鷲宮*0.8 羽生市東*0.7 鴻巣市中央*0.7 鴻巣市川里*0.7 深谷市仲町*0.7 久喜市菖蒲*0.7 川口市中青木分室*0.7 上尾市本町*0.7 桶川市泉*0.7 北本市本町*0.7 さいたま大宮区大門*0.7 蓮田市黒浜*0.6 幸手市東*0.6 長瀬町野上下郷*0.6 本庄市児玉町=0.5 東松山市市ノ川*0.5 坂戸市千代田*0.5 さいたま西区指扇*0.5 行田市本丸*0.5 嵐山町杉山*0.5 ときがわ町桃木*0.5 加須市三俣*0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*0.6 野田市東宝珠花*0.6 柏市旭町=0.5	36° 04.6' N	139° 55.5' E	47km	M: 3.7
72	15 16 19	青森県東方沖 青森県 2 東通村砂子又沢内*1.7 1 むつ市大畑町中島*1.3 東通村砂子又蒲谷地=1.3 むつ市金曲=1.0 東通村尻屋*1.0 むつ市金谷*0.9 東通村白糠*0.9 むつ市川内町*0.6 八戸市湊町=0.6 階上町道仏*0.6 横浜町林ノ脇*0.5 北海道 1 函館市泊町*1.4 函館市新浜町*1.3 福島町福島*0.7 函館市美原=0.6 室蘭市寿町*0.5 函館市川波町*0.5 岩手県 1 久慈市枝成沢=0.5 軽米町軽米*0.5	41° 35.9' N	141° 52.0' E	33km	M: 3.8
73	15 17 28	福島県沖 福島県 1 大熊町大川原*1.0 いわき市三和町=0.5	37° 19.4' N	141° 44.0' E	42km	M: 4.2
74	15 21 21	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原*1.6	37° 03.9' N	139° 21.7' E	7km	M: 2.9
75	16 00 49	栃木県南部 福島県 茨城県 1 玉川村小高*0.7 棚倉町棚倉中居野=0.6 浅川町浅川*0.5 矢祭町戸塚*0.5 1 日立市助川小学校*0.9 笠間市石井*0.9 ひたちなか市南神敷台*0.9 ひたちなか市東石川*0.9 常陸大宮市山方*0.8 常陸大宮市北町*0.7 城里町石塚*0.7 笠間市笠間*0.6 水戸市金町=0.6 水戸市千波町*0.5 水戸市内原町*0.5	36° 36.7' N	140° 06.9' E	111km	M: 3.5
76	16 08 44	福島県会津 福島県 1 会津美里町新鶴庁舎*0.7	37° 30.3' N	139° 47.0' E	8km	M: 2.3
77	16 13 59	岩手県沖 岩手県 2 盛岡市薮川*1.7 普代村銅屋*1.5 1 盛岡市洪民*1.4 大槌町上町*1.3 宮古市田老*1.3 住田町世田米*1.2 宮古市五月町*1.2 釜石市中妻町*1.2 八幡平市田頭*1.2 宮古市鍛ヶ崎=1.1 矢巾町南矢幅*1.1 遠野市青笹町*1.1 山田町大沢*1.0 盛岡市山王町=1.0 紫波町紫波中央駅前*1.0 大船渡市大船渡町=1.0 釜石市只越町=0.9 二戸市浄法寺町*0.9 北上市相去町*0.9 一関市千蔵町*0.9 一関市東山町*0.9 一関市室根町*0.9 山田町八幡町=0.8 宮古市川井*0.8 一関市藤沢町*0.8 一関市大東町=0.8 宮古市区界*0.7 盛岡市馬場町*0.7 葛巻町葛巻元木=0.6 花巻市大迫町=0.6 軽米町軽米*0.6 花巻市大迫総合支所*0.5	40° 07.9' N	142° 28.8' E	38km	M: 4.4

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		青森県 1 青森南部町苫米地*1.1 八戸市南郷*1.1 五戸町古館=0.9 八戸市内丸*0.9 階上町道仏*0.9 八戸市湊町=0.9 三戸町在府小路町*0.8 平内町小湊=0.6 青森南部町平*0.6 宮城県 1 石巻市桃生町*0.9 気仙沼市唐桑町*0.8 涌谷町新町裏*0.8 気仙沼市笹が陣*0.7 気仙沼市赤岩=0.7 登米市迫町*0.6 栗原市栗駒=0.5				
78	17 02 52	青森県東方沖 青森県 1 青森南部町平*0.8 八戸市南郷*0.6 五戸町古館=0.5 青森南部町苫米地*0.5 岩手県 1 盛岡市藪川*0.8	40° 48.1' N	142° 37.7' E	43km	M: 4.0
79	18 11 27	奄美大島北東沖 鹿児島県 3 鹿児島十島村悪石島*2.6 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*2.0 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.9 奄美市笠利町里*1.6 1 鹿児島十島村中之島出張所*1.4 鹿児島十島村中之島出張所*1.2 瀬戸内町加計呂麻島*1.1 屋久島町尾之間*0.9 屋久島町宮之浦*0.9 屋久島町平内=0.9 屋久島町口永良部島公民館*0.8 屋久島町小瀬田=0.8 瀬戸内町西古見=0.6 宇検村湯湾*0.6 喜界町滝川=0.6 奄美市名瀬矢之脇町=0.6 錦江町田代支所*0.5 中種子町野間*0.5	29° 17.5' N	130° 34.4' E	74km	M: 4.8
80	19 06 13	青森県津軽南部 青森県 1 田舎館村田舎館*1.4 藤崎町西豊田*1.2 弘前市城東中央*1.2 藤崎町水木*0.7 板柳町板柳*0.6 平川市猿賀*0.6 平川市柏木町*0.6 青森市浪岡*0.5	40° 38.8' N	140° 29.3' E	11km	M: 2.7
81	19 07 40	福島県沖 宮城県 1 山元町浅生原*1.4 石巻市桃生町*1.2 岩沼市桜*1.1 亶理町悠里*1.0 仙台青葉区作並*0.8 角田市角田*0.8 石巻市大街道南*0.7 石巻市北上町*0.7 名取市増田*0.7 涌谷町新町裏=0.7 仙台青葉区大倉=0.6 仙台空港=0.6 白石市亶理町*0.6 福島県 1 浪江町幾世橋=1.4 相馬市中村*1.3 飯館村伊丹沢*1.3 田村市都路町*1.1 大熊町大川原*1.1 国見町藤田*1.1 葛尾村落合落合*1.1 田村市常葉町*1.1 双葉町長塚*1.0 田村市船引町=1.0 福島伊達市月館町*1.0 田村市大越町*1.0 南相馬市原町区三島町=1.0 南相馬市鹿島区西町*1.0 本宮市本宮*0.9 川俣町五百田*0.9 南相馬市鹿島区栞窪=0.9 白河市新白河*0.9 郡山市湖南町*0.8 新地町谷地小屋*0.8 いわき市三和町=0.8 福島市飯野町*0.8 福島伊達市霊山町*0.8 福島市五老内町*0.7 二本松市油井*0.7 福島市花園町*0.7 玉川村小高*0.7 川内村上川内早渡*0.7 二本松市金色*0.6 二本松市針道*0.6 天栄村下松本*0.6 福島市桜木町*0.6 須賀川市岩瀬支所*0.6 檜葉町北田*0.6 川内村下川内=0.6 福島伊達市梁川町*0.5	37° 18.6' N	141° 54.3' E	37km	M: 4.5
82 (注)	19 17 24 19 17 24	千葉県南部 千葉県南部 千葉県 2 君津市久留里市場*2.0 勝浦市新官*1.8 勝浦市墨名=1.7 大多喜町大多喜*1.7 木更津市富士見*1.6 いすみ市岬町長者*1.6 いすみ市弥正*1.6 千葉美浜区ひび野=1.5 1 一宮町一宮=1.3 睦沢町下之郷*1.3 長南町総合グラウンド=1.3 市原市姉崎*1.3 富津市下飯野*1.3 長柄町桜谷*1.2 木更津市太田=1.1 大網白里市大網*1.1 茂原市道表*1.1 鴨川市内浦=1.0 長生村本郷*0.9 君津市久保*0.9 千葉緑区おゆみ野*0.9 いすみ市大原*0.9 千葉若葉区小倉台*0.8 東金市日吉台*0.8 鴨川市横渚*0.8 市川市大町*0.8 千葉花見川区花島町*0.8 長南町長南*0.7 鴨川市八色=0.7 御宿町須賀*0.6 千葉美浜区稲毛海岸*0.6 千葉稲毛区園生町*0.6 館山市長須賀=0.5 千葉中央区中央港=0.5 埼玉県 1 さいたま緑区中尾*0.6 東京都 1 東京千代田区大手町=0.8 東京江戸川区船堀*0.7 小金井市本町*0.7 国分寺市泉町*0.6 東京大田区多摩川*0.6 東京渋谷区本町*0.6 調布市西つつじヶ丘*0.6 東京練馬区東大泉*0.5 東京文京区本郷*0.5 八王子市堀之内*0.5 東京国際空港=0.5 東京世田谷区成城*0.5 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺*1.2 横浜神奈川区広台太田町*1.1 川崎宮前区宮前平*1.1 横浜緑区十日市場町*1.0 横浜鶴見区末広町*0.9 横浜中区山手町=0.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町*0.9 横浜磯子区洋光台*0.9 横浜金沢区白帆*0.9 藤沢市長後*0.9 川崎川崎区宮前町*0.8 川崎中原区小杉陣屋町=0.8 横須賀市光の丘=0.8 横浜金沢区釜利谷南*0.7 川崎中原区小杉町*0.6 厚木市中町*0.5	35° 14.1' N 35° 14.7' N	140° 15.7' E 140° 15.1' E	26km 24km	M: 4.2 M: -.
83	19 22 44	千葉県東方沖 千葉県 1 大網白里市大網*0.7 東金市日吉台*0.6	35° 21.4' N	140° 29.5' E	27km	M: 2.9
84	20 20 05	根室地方北部 北海道 2 羅臼町春日=2.1 斜里町ウトロ香川*1.7 標津町薫別*1.6 1 標津町北2条*1.2 標津町古多糠=0.9 羅臼町緑町*0.8	43° 55.6' N	145° 00.5' E	4km	M: 3.7
85	20 22 06	島根県東部 島根県 1 安来市伯太町東母里*1.4 奥出雲町横田*0.7	35° 17.4' N	133° 14.2' E	10km	M: 2.8
86	20 22 40	千葉県南部 千葉県 1 勝浦市新官*0.6 君津市久留里市場*0.5	35° 14.6' N	140° 14.9' E	25km	M: 2.7
87	20 23 16	青森県東方沖 青森県 3 東通村砂子又沢内*3.0 階上町道仏*2.9 2 八戸市南郷*2.0 野辺地町田狭沢*2.0 むつ市大畑町中島*2.0 東通村砂子又蒲谷地=2.0 六ヶ所村尾駈=1.9 野辺地町野辺地*1.8 八戸市湊町=1.8 青森南部町苫米地*1.8 むつ市金曲=1.8	41° 30.5' N	142° 05.2' E	54km	M: 5.1

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		平内町小湊=1.8 八戸市内丸*=1.7 むつ市金谷*=1.6 五戸町古館=1.5 青森南部町平*=1.5 1 三沢市桜町*=1.4 七戸町森ノ上*=1.4 東北町上北南*=1.4 五戸町倉石中市*=1.4 東通村尻屋*=1.4 東通村白糠*=1.4 横浜町林ノ脇*=1.3 外ヶ浜町蟹田*=1.2 おいらせ町中下田*=1.2 東北町塔ノ沢山*=1.1 むつ市川内町*=1.1 七戸町七戸*=1.1 青森南部町沖田面*=1.0 おいらせ町上明堂*=1.0 横浜町寺下*=1.0 六戸町大落瀬*=0.9 十和田市奥瀬*=0.9 六ヶ所村出戸*=0.9 三戸町在府小路町*=0.9 むつ市大畑町奥薬研=0.8 平内町東田沢*=0.8 十和田市西二番町*=0.8 八戸市島守=0.7 十和田市西十二番町*=0.7 佐井村長後*=0.6 青森市中央*=0.6 青森市浪岡*=0.6 つがる市車力町*=0.6 藤崎町水木*=0.6 風間浦村易国間*=0.6 青森市花園=0.5 むつ市脇野沢*=0.5				
		北海道 2 函館市泊町*=2.3 様似町栄町*=2.1 浦幌町桜町*=1.9 浦河町潮見=1.8 十勝大樹町東本通*=1.7 むかわ町松風*=1.7 新冠町北星町*=1.7 えりも町えりも岬*=1.7 浦河町野深=1.7 新ひだか町静内山手町=1.6 函館市新浜町*=1.6 むかわ町穂別*=1.5 浦河町築地*=1.5 千歳市若草*=1.5				
		岩手県 2 久慈市枝成沢=1.6 盛岡市薮川*=1.6 軽米町軽米*=1.5				
		宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.5				
88	21 04 16	与那国島近海 沖縄県 2 与那国町役場*=1.8 与那国町久部良=1.7 与那国町祖納=1.5 1 竹富町上原青年会館*=1.0 竹富町上原小学校=0.7 竹富町大原=0.6	24° 18.0' N	122° 50.9' E	51km	M: 4.7
89	21 04 44	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町久部良=0.8	24° 04.2' N	122° 25.4' E	40km	M: 4.3
90	21 13 03	茨城県北部 茨城県 2 日立市助川小学校*=1.9 1 常陸太田市町屋町=1.4 日立市十王町友部*=1.1 日立市役所*=0.7	36° 38.2' N	140° 37.5' E	7km	M: 2.9
91	22 00 15	豊後水道 愛媛県 高知県 1 宇和島市丸穂*=1.2 西予市明浜町*=0.5 西予市三瓶町*=0.5 1 宿毛市桜町*=0.6	33° 10.9' N	132° 20.1' E	38km	M: 3.0
92	22 02 09	青森県東方沖 青森県 2 八戸市南郷*=1.5 1 階上町道仏*=1.2 八戸市内丸*=1.0 野辺地町野辺地*=1.0 五戸町古館=1.0 八戸市湊町=1.0 青森南部町苦米地*=0.8 五戸町倉石中市*=0.8 東通村砂子又沢内*=0.6 東通村白糠*=0.5 青森南部町平*=0.5 三沢市桜町*=0.5 おいらせ町中下田*=0.5	40° 54.6' N	142° 06.6' E	55km	M: 3.8
		北海道 岩手県 1 函館市泊町*=0.9 1 軽米町軽米*=0.8 久慈市枝成沢=0.6				
93	22 06 13	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=1.0	36° 05.0' N	137° 31.9' E	3km	M: 2.5
94	22 12 36	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市千厩町*=0.6 1 石巻市北上町*=1.1 石巻市泉町=0.7 石巻市雄勝町*=0.6 石巻市鮎川浜*=0.5	38° 13.2' N	141° 58.1' E	44km	M: 3.8
95	22 22 28	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町*=0.6 珠洲市三崎町=0.5	37° 33.7' N	137° 16.4' E	11km	M: 2.7
96	23 03 14	茨城県北部 茨城県 1 水戸市千波町*=0.7	36° 31.4' N	140° 31.6' E	54km	M: 2.9
97	23 11 59	岩手県沖 青森県 岩手県 1 八戸市南郷*=0.9 青森南部町苦米地*=0.8 五戸町古館=0.8 青森南部町平*=0.7 八戸市湊町=0.6 七戸町森ノ上*=0.5 三戸町在府小路町*=0.5 階上町道仏*=0.5 八戸市内丸*=0.5 1 普代村銅屋*=1.2 盛岡市薮川*=1.2 盛岡市渋民*=1.0 八幡平市田頭*=0.7 宮古市田老*=0.6	40° 22.7' N	142° 57.7' E	23km	M: 4.5

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
98	23 14 35	盛岡市山王町=0.5 三重県南部 奈良県 2 御杖村菅野*=1.6 1 宇陀市菟田野松井*=0.8 菅爾村今井*=0.7 三重県 1 三重紀北町相賀*=0.6 尾鷲市南陽町=0.6 尾鷲市南浦*=0.6 尾鷲市中央町*=0.5 名張市鴻之台*=0.5 津市一志町田尻*=0.5 津市美杉町八知*=0.5	34° 17.9' N	136° 11.3' E	39km	M: 3.3
99	23 20 07	石川県能登地方 石川県 1 穴水町大町*=1.1	37° 10.5' N	136° 49.1' E	10km	M: 2.4
100	24 00 16	奄美大島近海 鹿児島県 2 瀬戸内町加計呂麻島*=1.6 1 伊仙町伊仙*=1.3 瀬戸内町請島*=1.2 瀬戸内町与路島*=1.1 瀬戸内町古仁屋*=0.7 天城町平土野*=0.6 奄美市笠利町里*=0.6 宇検村湯湾*=0.5 瀬戸内町西古見=0.5	27° 58.6' N	129° 09.2' E	14km	M: 3.7
101	24 07 34	三宅島近海 千葉県 1 鴨川市八色=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=1.0 神奈川県 1 厚木市中町*=0.6	34° 22.8' N	139° 35.7' E	122km	M: 4.2
102	24 08 03	富山湾 福島県 1 浪江町幾世橋=0.5 埼玉県 1 加須市大利根*=0.6	36° 59.8' N	137° 08.5' E	259km	M: 4.6
103	24 10 08	島根県東部 鳥取県 1 鳥取南部町天萬*=0.8 米子市東町*=0.7 鳥取南部町法勝寺*=0.7 米子市博労町=0.5 島根県 1 松江市東出雲町揖屋*=1.1 安来市伯太町東母里*=1.1 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*=0.8 松江市八雲町西岩坂*=0.6	35° 18.9' N	133° 15.0' E	10km	M: 3.0
104	24 13 26	宮城県沖 宮城県 2 石巻市桃生町*=1.7 大崎市鹿島台*=1.5 1 涌谷町新町裏=1.3 宮城川崎町前川*=1.2 仙台泉区将監*=1.1 大崎市田尻*=1.0 亶理町悠里*=1.0 岩沼市桜*=1.0 松島町高城=1.0 七ヶ浜町東宮浜*=1.0 仙台若林区遠見塚*=0.9 大郷町粕川*=0.9 名取市増田*=0.8 石巻市鮎川浜*=0.8 栗原市栗駒=0.7 白石市亶理町*=0.7 東松島市小野*=0.7 山元町浅生原*=0.7 仙台青葉区大倉=0.7 仙台青葉区作並*=0.7 大衡村大衡*=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.7 大河原町新南*=0.7 宮城加美町中新田*=0.6 石巻市大街道南*=0.6 多賀城市中央*=0.6 宮城美里町北浦*=0.6 大崎市古川大崎=0.5 仙台空港=0.5 岩手県 1 平泉町平泉*=0.6 一関市花泉町*=0.5 福島県 1 相馬市中村*=0.9 飯館村伊丹沢*=0.8 福島伊達市梁川町*=0.5	38° 11.4' N	141° 46.2' E	58km	M: 3.7
105	24 13 37	台湾付近 沖縄県 1 与那国町久部良=0.5	24° 37.7' N	121° 54.4' E	70km	M: 4.9
106	24 19 45	岩手県内陸北部 青森県 1 青森南部町苔米地*=0.7	40° 03.5' N	141° 15.5' E	90km	M: 3.4
107	25 03 05	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=0.7	29° 26.7' N	129° 31.4' E	3km	M: 2.3
108	25 03 16	岩手県沿岸北部 岩手県 3 花巻市大迫総合支所*=3.1 矢巾町南矢幅*=2.9 奥州市胆沢*=2.8 北上市相去町*=2.7 遠野市青笹町*=2.7 花巻市大迫町=2.7 2 釜石市中妻町*=2.4 盛岡市洪民*=2.4 紫波町紫波中央駅前*=2.4 一関市東山町*=2.4 盛岡市藪川*=2.3 花巻市石鳥谷町*=2.3 花巻市東和町*=2.3 一関市室根町*=2.3 宮古市区界*=2.2 一関市千厩町*=2.2 住田町世田米*=2.2 花巻市材木町*=2.2 奥州市江刺*=2.2 一関市大東町=2.1 盛岡市馬場町*=2.0 宮古市田老*=2.0 金ヶ崎町西根*=2.0 北上市柳原町=2.0 奥州市衣川*=2.0 大槌町上町*=2.0 大船渡市大船渡町=1.9 葛巻町葛巻元木=1.9 平泉町平泉*=1.9 一戸町高善寺*=1.9 奥州市前沢*=1.9 宮古市川井*=1.9 滝沢市鶴飼*=1.9 山田町大沢*=1.9 八幡平市田頭*=1.8 釜石市只越町=1.8 普代村銅屋*=1.8 盛岡市山王町=1.8 一関市藤沢町*=1.7 二戸市浄法寺町*=1.7 雫石町千刈田=1.7 一関市花泉町*=1.7 奥州市水沢大鐘町=1.6 野田村野田*=1.5 軽米町軽米*=1.5 遠野市宮守町*=1.5 大船渡市猪川町=1.5 奥州市水沢佐倉河*=1.5 1 久慈市枝成沢=1.4 岩手町五日市*=1.4 八幡平市大更=1.4 八幡平市野駄*=1.4 西和賀町沢内川舟*=1.3 二戸市福岡=1.3 陸前高田市高田町*=1.2 西和賀町沢内太田*=1.2 宮古市鉾ヶ崎=1.2 宮古市茂市*=1.2 山田町八幡町=1.2 葛巻町消防分署*=1.1 大船渡市盛町*=1.1 八幡平市叭田*=1.1 九戸村伊保内*=1.0 西和賀町川尻*=1.0 岩手洋野町大野*=1.0 宮古市五月町*=1.0 久慈市長内町*=0.9 一関市川崎町*=0.9 雫石町西根上駒木野=0.9 久慈市川崎町=0.9 葛巻町役場*=0.8 一関市竹山町*=0.8 二戸市石切所*=0.7 岩手洋野町種市=0.7 宮古市長沢=0.7 田野畑村役場*=0.7 田野畑村田野畑=0.5 岩泉町大川*=0.5 青森県 2 八戸市南郷*=2.3 階上町道仏*=2.0 八戸市内丸*=1.8 青森南部町苔米地*=1.8 青森南部町平*=1.6 五戸町古館=1.6 1 八戸市湊町=1.4 おいらせ町中下田*=1.4 三戸町在府小路町*=1.3 七戸町森ノ上*=1.2 東北町上北南*=1.1 三沢市桜町*=1.0 青森南部町沖田面*=0.9 八戸市島守=0.9	39° 33.3' N	142° 00.8' E	54km	M: 4.6

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮城県 2 石巻市桃生町*2.1 気仙沼市赤岩*2.0 気仙沼市唐桑町*1.8 涌谷町新町裏*1.8 栗原市栗駒*1.8 登米市東和町*1.8 栗原市若柳*1.7 栗原市一迫*1.7 登米市豊里町*1.7 登米市中田町*1.6 登米市迫町*1.6 登米市米山町*1.6 気仙沼市笹が陣*1.6 登米市南方町*1.5 栗原市志波姫*1.5 大崎市鹿島台*1.5 大崎市田尻*1.5 1 登米市登米町*1.4 宮城美里町北浦*1.4 石巻市前谷地*1.3 栗原市築館*1.2 登米市石越町*1.2 大崎市古川三日町*1.2 大崎市古川旭*1.2 大崎市松山*1.2 石巻市大街道南*1.2 石巻市相野谷*1.2 大衡村大衡*1.2 石巻市北上町*1.1 宮城美里町木間塚*1.1 東松島市矢本*1.1 栗原市金成*1.1 栗原市鶯沢*1.0 栗原市花山*1.0 石巻市泉町*1.0 栗原市瀬峰*1.0 栗原市高清水*1.0 色麻町四竈*1.0 大崎市古川大崎*0.9 名取市増田*0.9 岩沼市桜*0.9 仙台青葉区作並*0.9 登米市津山町*0.9 南三陸町歌津*0.9 宮城加美町中新田*0.9 松島町高城*0.8 亙理町悠里*0.8 大崎市鳴子*0.8 気仙沼市本吉町西川内*0.7 石巻市雄勝町*0.7 東松島市小野*0.7 気仙沼市本吉町津谷*0.6 仙台青葉区大倉*0.5 南三陸町志津川*0.5 仙台宮城野区苦竹*0.5 秋田県 1 大仙市刈和野*1.3 大仙市北長野*1.1 横手市雄物川町今宿*1.0 横手市大森町*1.0 横手市中央町*0.9 横手市山内土濁*0.9 大仙市高梨*0.9 仙北市田沢湖生保内上清水*0.9 横手市大雄*0.8 由利本荘市岩谷町*0.8 秋田美郷町六郷東根*0.7 仙北市西木町上絵木内*0.7 仙北市角館町小勝田*0.7 由利本荘市石脇*0.6 山形県 1 中山町長崎*0.7				
109	25 03 58	上川地方北部 北海道 1 天塩町川口*1.2 初山別村初山別*0.7 初山別村有明*0.5	44° 36.4' N	142° 04.7' E	0km	M: 3.9
110	25 16 48	茨城県南部 茨城県 栃木県 1 石岡市石岡*0.8 笠間市石井*0.5 1 下野市笹原*0.8 栃木市旭町*0.7 宇都宮市明保野町*0.7 下野市田中*0.6 真岡市石島*0.5	36° 04.5' N	139° 54.0' E	46km	M: 3.1
111	25 18 07	四国沖 熊本県 2 熊本高森町高森*2.2 産山村山鹿*1.9 熊本美里町永富*1.5 1 合志市竹迫*1.4 阿蘇市波野*1.3 阿蘇市一の宮町*1.2 南阿蘇村河陽*1.1 西原村小森*1.1 阿蘇市内牧*1.1 山都町浜町*0.8 上天草市大矢野町*0.5 大分県 2 佐伯市蒲江蒲江浦*1.9 佐伯市弥生*1.7 佐伯市上浦*1.7 竹田市会々*1.6 竹田市荻町*1.6 佐伯市米水津*1.5 1 佐伯市鶴見*1.4 竹田市直入町*1.4 佐伯市春日町*1.3 大分市新春日町*1.3 津久見市宮本町*1.2 竹田市久住町*1.1 臼杵市臼杵*1.1 佐伯市宇目*1.1 竹田市竹田小学校*1.0 豊後大野市三重町*1.0 豊後大野市清川町*1.0 豊後大野市千歳町*0.9 津久見市立花町*0.9 佐伯市役所*0.9 豊後大野市大野町*0.8 大分市佐賀関*0.7 大分市舞鶴町*0.7 豊後大野市緒方町*0.7 日田市前津江町*0.7 佐伯市直川*0.6 別府市鶴見*0.5 国東市田深*0.5 宮崎県 2 門川町平城東*1.8 宮崎美郷町田代*1.7 高千穂町三田井*1.6 延岡市北方町総合支所*1.5 延岡市北川町川内名白石*1.5 1 西都市上の宮*1.4 川南町川南*1.4 宮崎都農町役場*1.4 高鍋町上江*1.3 延岡市北浦町古江*1.2 延岡市天神小路*1.1 宮崎市松橋*1.1 西都市聖陵町*1.0 延岡市北川町総合支所*0.9 宮崎市高岡町内山*0.9 日南市南郷町南町*0.9 串間市役所*0.9 小林市真方*0.9 宮崎市田野町体育館*0.8 宮崎市佐土原町下田島*0.8 宮崎市霧島*0.8 国富町本庄*0.8 都城市葛蒲原*0.8 都城市山之口町花木*0.8 小林市野尻町東麓*0.8 三股町五本松*0.8 日南市油津*0.7 新富町上富田*0.7 日南市中央通*0.7 高千穂町寺迫*0.7 えびの市加久藤*0.7 日向市大王谷運動公園*0.6 日向市東郷町山陰*0.6 椎葉村総合運動公園*0.6 日南市吾田東*0.6 日之影町七折*0.5 島根県 1 益田市常盤町*1.0 広島県 1 廿日市市大野*0.7 呉市二河町*0.7 江田島市能美町*0.6 府中町大通り*0.6 広島中区羽衣町*0.5 江田島市大柿町*0.5 愛媛県 1 伊方町湊浦*1.2 宇和島市吉田町*1.1 愛南町船越*0.8 高知県 1 宿毛市桜町*1.2 黒潮町佐賀*1.0 土佐清水市足摺岬*0.5 土佐清水市松尾*0.5 山口県 1 防府市西浦*0.7 福岡県 1 久留米市津福本町*0.6 鹿児島県 1 大崎町仮宿*0.8 鹿屋市新栄町*0.6 鹿屋市札元*0.6 錦江町田代支所*0.5	32° 08.9' N	132° 42.2' E	33km	M: 5.0
112	25 18 41	青森県東方沖 青森県 2 東通村砂子又沢内*1.7 階上町道仏*1.5 1 野辺地町田狭沢*1.3 八戸市湊町*1.2 六ヶ所村尾駈*1.2 東通村砂子又蒲谷地*1.1 平内町小湊*1.0 野辺地町野辺地*1.0 八戸市内丸*1.0 むつ市金曲*0.9 東通村白糠*0.8 むつ市大畑町中島*0.8 青森南部町苦米地*0.8 八戸市南郷*0.7 三沢市桜町*0.6 五戸町古館*0.6 七戸町森ノ上*0.6 横浜町林ノ脇*0.5 青森南部町平*0.5 東北町上北南*0.5 五戸町倉石中市*0.5 北海道 1 函館市泊町*1.0 函館市新浜町*0.7 岩手県 1 久慈市枝成沢*0.9 軽米町軽米*0.9	41° 29.6' N	142° 02.7' E	56km	M: 4.2
113	26 02 17	日向灘 宮崎県 3 日南市南郷町南町*3.0 串間市役所*2.7 2 宮崎美郷町田代*2.4 宮崎市松橋*2.0 小林市真方*2.0 串間市都井*1.9 日南市油津*1.8 日南市吾田東*1.8 川南町川南*1.8 串間市奈留*1.7 宮崎市田野町体育館*1.7	31° 41.8' N	132° 08.8' E	42km	M: 4.9

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>日南市中央通*1.7 小林市野尻町東麓*1.7 都城市菖蒲原=1.6 宮崎市霧島=1.6 西都市上の宮*1.6 高原町西麓*1.6 国富町本庄*1.6 小林市中原*1.5 都城市山之口町花木*1.5</p> <p>1 高鍋町上江*1.4 宮崎市高岡町内山*1.4 えびの市加久藤*1.4 三股町五本松*1.4 高千穂町三田井=1.3 西都市聖陵町*1.3 宮崎市田野支所*1.3 日南市北郷町郷之原*1.3 延岡市北方町総合支所*1.3 門川町平城東*1.3 宮崎市清武町西新町*1.2 都城市山田町山田*1.2 宮崎都農町役場*1.2 綾町南俣健康センター*1.1 延岡市天神小路=1.1 延岡市北川町川内名白石*1.1 宮崎市佐土原町下田島*1.0 新富町上富田=1.0 綾町役場*1.0 都城市高城町穂満坊*1.0 延岡市北浦町古江*0.9 木城町高城*0.9 日向市大王谷運動公園=0.9 日向市東郷町山陰*0.9 日向市亀崎=0.8 小林市役所*0.8 椎葉村下福良*0.8 日南市北郷町大藤=0.8 日向市富高*0.8 高千穂町寺迫*0.8 延岡市東本小路*0.7 椎葉村総合運動公園*0.7</p> <p>2 大崎町仮宿*2.2 鹿屋市新栄町=2.1 鹿屋市札元*1.8 東串良町川西*1.8 霧島市福山町牧之原*1.7 垂水市田神*1.7 志布志市志布志町志布志=1.6 鹿児島市喜入町*1.5 肝付町新富*1.5</p> <p>1 南さつま市金峰町尾下*1.4 霧島市国分中央*1.4 始良市加治木町本町*1.4 鹿屋市輝北町上百引*1.4 鹿屋市串良町岡崎*1.4 錦江町田代支所*1.4 鹿児島市桜島赤水新島*1.3 鹿児島空港=1.3 始良市蒲生町北*1.3 志布志市有明町野井倉*1.3 始良市宮島町*1.2 鹿屋市吾平町麓*1.2 錦江町城元*1.2 伊佐市菱刈前目*1.2 鹿児島市東郡元=1.0 霧島市隼人町内山田=1.0 曾於市大隅町中之内*1.0 曾於市財部町南俣*1.0 指宿市十町*0.9 指宿市山川新生町=0.8 阿久根市鶴見町*0.7 錦江町田代麓=0.7 肝付町北方*0.7</p> <p>佐賀県 1 神埼市千代田*1.0 白石町有明*0.8 佐賀市川副*0.5</p> <p>熊本県 1 あさぎり町岡原*1.4 あさぎり町須恵*1.4 多良木町多良木=1.4 人吉市西間下町=1.2 多良木町上球磨消防署*1.2 人吉市蟹作町*1.0 芦北町芦北=1.0 熊本美里町永富*0.9</p> <p>大分県 1 佐伯市蒲江蒲江浦=1.4 佐伯市弥生*0.8 佐伯市春日町*0.6 大分市新春日町*0.5</p>				
114	26 03 21	十勝地方南部 北海道	42° 15.2' N	143° 16.9' E	12km	M: 3.3
		1 広尾町白樺通=1.1 広尾町並木通=1.0 えりも町目黒*0.7				
115	26 05 24	茨城県南部 茨城県	36° 04.4' N	139° 53.9' E	47km	M: 3.2
		1 笠間市笠間*0.8 筑西市門井*0.7 笠間市石井*0.6 水戸市内原町*0.6 桜川市岩瀬*0.5 笠間市下郷*0.5				
		1 下野市笹原*1.1 栃木市旭町=1.0 下野市田中*0.9 栃木市岩舟町静*0.7 宇都宮市明保野町=0.7 小山市中央町*0.5 真岡市石島*0.5				
116	26 12 22	石川県能登地方 石川県	37° 10.5' N	136° 52.9' E	11km	M: 2.7
		1 穴水町大町*0.9				
117	26 22 54	岐阜県飛騨地方 長野県 岐阜県	35° 51.2' N	137° 22.4' E	8km	M: 3.0
		1 木曾町新開*0.6				
		1 下呂市小坂町*1.3 下呂市下呂小学校*1.1 下呂市森=1.0 下呂市萩原町*0.7 中津川市加子母*0.7 高山市高根町*0.6				
118	26 23 31	沖縄本島近海 鹿児島県	27° 26.9' N	128° 39.2' E	42km	M: 3.3
		1 知名町瀬利覚=0.7				
119	27 03 51	宮古島近海 沖縄県	25° 20.2' N	124° 53.0' E	8km	M: 5.1
		1 宮古島市下地*1.4 宮古島市伊良部前里添=1.2 宮古島市城辺福北=1.2 宮古島市下地島空港*1.2 宮古島市城辺福西*1.0 宮古島市平良下里=1.0 宮古島市平良狩俣*1.0 宮古島市平良西里*0.9 宮古島市平良池間=0.8 多良間村塩川=0.7 石垣市新栄町*0.5				
120	27 06 24	上川地方北部 北海道	44° 37.0' N	142° 04.0' E	8km	M: 4.0
		1 天塩町川口*1.3 音威子府村音威子府*0.9 上川中川町中川*0.8 遠別町本町*0.7				
121	27 08 06	宮古島近海 沖縄県	25° 19.1' N	124° 52.7' E	5km	M: 5.0
		1 宮古島市城辺福北=0.8 宮古島市城辺福西*0.8 宮古島市下地島空港*0.8 宮古島市平良下里=0.6				
122	27 11 54	宮古島近海 沖縄県	25° 21.8' N	124° 55.9' E	8km	M: 4.5
		1 宮古島市城辺福北=0.7 宮古島市城辺福西*0.6				
123	27 11 54	宮古島近海 沖縄県	25° 22.4' N	124° 56.4' E	9km	M: 5.4
		2 宮古島市城辺福北=1.9 宮古島市城辺福西*1.9 宮古島市下地*1.8 宮古島市上野新里=1.5 宮古島市下地島空港*1.5				
		1 多良間村仲筋*1.4 宮古島市平良下里=1.4 宮古島市平良狩俣*1.4 宮古島市平良西里*1.4 宮古島市平良池間=1.3 宮古島市伊良部前里添=1.0 多良間村塩川=0.9				
124	27 12 19	宮古島北西沖 沖縄県	25° 21.9' N	124° 53.7' E	7km	M: 4.4
		1 宮古島市下地島空港*0.8				
125	27 12 46	宮古島近海 沖縄県	25° 19.2' N	124° 56.7' E	12km	M: 4.5
		1 宮古島市城辺福北=0.5				
126	27 14 50	宮古島近海 沖縄県	25° 20.8' N	124° 54.2' E	10km	M: 4.5
		1 宮古島市城辺福北=0.5				

令和8年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
127	27 15 11	宮古島近海 沖縄県	25° 16.1' N	124° 52.2' E	0km	M: 5.2
		2 宮古島市下地*=1.5 1 宮古島市城辺福北=1.4 宮古島市城辺福西*=1.4 宮古島市平良池間=1.2 宮古島市平良下里=1.2 宮古島市平良西里*=1.2 宮古島市下地島空港*=1.2 宮古島市伊良部前里添=1.0 宮古島市平良狩俣*=0.9				
128	27 15 43	宮古島北西沖 沖縄県	25° 22.7' N	124° 54.3' E	6km	M: 4.8
		1 宮古島市下地島空港*=1.1 宮古島市城辺福北=0.8 宮古島市伊良部前里添=0.8 宮古島市平良下里=0.8 宮古島市城辺福西*=0.6 宮古島市平良池間=0.6 宮古島市平良狩俣*=0.5				
129	27 20 01	宮古島北西沖 沖縄県	25° 23.0' N	124° 56.4' E	11km	M: 4.7
		1 宮古島市城辺福西*=0.9 宮古島市平良池間=0.8 宮古島市城辺福北=0.7				
130	27 22 39	北海道北西沖 北海道	45° 26.9' N	140° 59.8' E	13km	M: 3.0
		2 礼文町上泊崎=1.5 1 礼文町船泊*=1.2 礼文町香深*=0.8				
131	27 23 48	宮古島北西沖 沖縄県	25° 22.5' N	124° 55.5' E	11km	M: 5.5
		2 宮古島市下地*=2.0 宮古島市城辺福北=1.9 宮古島市城辺福西*=1.7 宮古島市平良下里=1.7 宮古島市平良池間=1.6 宮古島市下地島空港*=1.6 宮古島市平良狩俣*=1.5 宮古島市平良西里*=1.5 宮古島市伊良部前里添=1.5 1 宮古島市上野新里=1.3 石垣市平久保=1.1 多良間村塩川=1.0 多良間村仲筋*=1.0 石垣市登野城=0.8 石垣市新栄町*=0.8 竹富町黒島=0.8				
132	27 23 54	宮古島近海 沖縄県	25° 19.0' N	124° 55.9' E	0km	M: 4.4
		1 宮古島市城辺福北=0.9 宮古島市城辺福西*=0.9 宮古島市下地*=0.8 宮古島市平良池間=0.6				
133	28 07 59	長野県南部 長野県	35° 53.9' N	137° 38.7' E	6km	M: 2.7
		1 木曾町新開*=1.1 木曾町三岳*=1.0 木曾町開田高原西野*=0.8				
134	28 08 06	小笠原諸島西方沖 東京都	28° 11.8' N	140° 15.2' E	431km	M: 4.4
		1 小笠原村母島=0.5				
135	28 08 55	宮古島近海 沖縄県	25° 18.3' N	124° 52.9' E	15km	M: 4.8
		1 宮古島市下地*=0.9 宮古島市下地島空港*=0.9 宮古島市城辺福北=0.6 宮古島市平良池間=0.5 宮古島市伊良部前里添=0.5				
136	28 10 49	宮古島北西沖 沖縄県	25° 25.2' N	124° 53.7' E	0km	M: 5.9
		2 宮古島市下地*=1.9 宮古島市下地島空港*=1.9 宮古島市伊良部前里添=1.8 宮古島市平良下里=1.7 宮古島市城辺福西*=1.7 宮古島市城辺福北=1.6 宮古島市平良池間=1.6 多良間村仲筋*=1.5 1 宮古島市平良狩俣*=1.4 宮古島市平良西里*=1.4 石垣市平久保=1.4 宮古島市上野新里=1.3 多良間村塩川=1.3 石垣市新栄町*=1.2 竹富町黒島=1.0 竹富町大原=0.8 石垣市登野城=0.8 石垣市伊原間*=0.5				
137	28 11 37	紀伊水道 和歌山県	34° 11.4' N	135° 08.8' E	7km	M: 2.3
		1 和歌山市一番丁*=0.7				
138	28 14 53	宮古島近海 沖縄県	25° 21.7' N	124° 54.3' E	0km	M: 5.8
		2 宮古島市城辺福西*=2.4 宮古島市城辺福北=2.3 宮古島市下地*=2.0 宮古島市平良池間=1.9 宮古島市上野新里=1.9 宮古島市平良狩俣*=1.8 宮古島市平良下里=1.8 宮古島市伊良部前里添=1.8 宮古島市平良西里*=1.8 宮古島市下地島空港*=1.8 1 多良間村仲筋*=1.2 多良間村塩川=1.0				
139	28 20 01	根室半島南東沖 北海道	43° 14.8' N	146° 01.8' E	48km	M: 4.2
		2 根室市落石東*=2.4 中標津町丸山*=1.8 根室市瑤瑤瑠*=1.7 標津町北2条*=1.5 1 浜中町茶内*=1.2 根室市牧の内*=1.2 別海町本別海*=1.1 標茶町塘路*=0.9 別海町常盤=0.9 浜中町湯沸=0.8 中標津町養老牛=0.5				
140	28 20 18	宮古島近海 沖縄県	25° 20.6' N	124° 54.9' E	8km	M: 4.6
		1 宮古島市伊良部前里添=0.6 宮古島市城辺福西*=0.6 宮古島市城辺福北=0.5				
141	28 21 56	宮古島北西沖 沖縄県	25° 21.9' N	124° 53.9' E	11km	M: 5.7
		2 宮古島市城辺福北=2.0 宮古島市城辺福西*=1.9 宮古島市下地*=1.7 宮古島市上野新里=1.6 宮古島市平良下里=1.6 宮古島市平良池間=1.6 宮古島市平良西里*=1.6 宮古島市下地島空港*=1.6 宮古島市平良狩俣*=1.5 1 宮古島市伊良部前里添=1.4 多良間村塩川=0.8				

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <令和7年（2025年）3月～令和8年（2026年）2月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和7年（2025年）											
3月	86	39	9	3						137	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （3月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：7回） 奄美大島北東沖の地震活動 （3月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：4回、震度1：6回）
4月	133	45	13	4	1					196	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （4月中：震度2：2回、震度1：10回） 大分県中部の地震活動 （4月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回） 18日 長野県北部（震度5弱） （4月中：震度5弱：1回、震度4：2回、震度3：3回、震度2：13回、震度1：46回）
5月	82	30	5	5						122	
6月※	553	202	51	13	1					820	30日 トカラ列島近海（震度5弱） （6月中：震度5弱：1回、震度4：10回、震度3：43回、震度2：173回、震度1：471回）
7月※	1110	421	119	44	3	3	1			1701	トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （7月中：震度6弱：1回、震度5強：3回、震度5弱：3回、震度4：41回、震度3：108回、震度2：382回、震度1：1002回） トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近） （7月中：震度3：6回、震度2：6回、震度1：21回）
8月※	164	51	22	3						240	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （8月中：震度2：1回、震度1：12回） トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （8月中：震度3：5回、震度2：12回、震度1：49回） トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近） （8月中：震度3：3回、震度2：7回、震度1：24回）
9月※	193	60	21	6	1					281	トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （9月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：8回、震度1：30回） 17日 トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）（震度5弱） （9月中：震度5弱：1回、震度4：3回、震度3：17回、震度2：26回、震度1：71回）
10月※	104	37	9	4	1					155	トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （10月中：震度3：4回、震度2：8回、震度1：25回） トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近） （10月中：震度2：5回、震度1：9回） 25日 根室半島南東沖の地震（震度5弱）
11月※	134	78	22	3		1				238	トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （11月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：8回） 鹿児島県薩摩地方の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：5回、震度2：5回、震度1：6回） 三陸沖の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：9回、震度2：20回、震度1：15回） 25日 熊本県阿蘇地方（震度5強） （11月中：震度5強：1回、震度4：1回、震度3：2回、震度2：14回、震度1：29回）
12月※	130	55	20	9				1		215	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （12月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：8回） トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （12月中：震度3：1回、震度1：9回） トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近） （12月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回） 熊本県阿蘇地方の地震活動 （12月中：震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回） 8日 青森県東方沖（震度6強） （12月中：震度6強：1回、震度4：4回、震度3：6回、震度2：14回、震度1：26回）
令和8年（2026年）											
1月	182	67	31	9	1	1				291	6日10時18分 島根県東部（震度5強） 6日10時28分 島根県東部（震度5弱） （1月中：震度5強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：6回、震度2：17回、震度1：34回） 宗谷地方北部・南部の地震活動 （1月中：震度3：5回、震度2：12回、震度1：24回）
2月	92	39	10							141	宮古島北西沖の地震活動 （2月中：震度2：6回、震度1：11回）
2026年計	274	106	41	9	1	1	0	0	0	432	
過去1年計	2963	1124	332	103	8	5	1	1	0	4537	

※掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合がある。

注) 「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 〈令和7年（2025年）3月～令和8年（2026年）2月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和7年（2025年）								
3月	361	71	9			441	80	
4月	348	82	8	1		439	91	2日 大隅半島東方沖（M6.1）
5月	345	80	9	2		436	91	5日 台湾付近（M6.0） 31日 釧路沖（M6.0）
6月	567	112	11	5		695	128	2日 十勝沖（M6.1） 11日 台湾付近（M6.0） 14日 千島列島（M6.2） 19日 根室半島南東沖（M6.0） 22日 根室半島南東沖（M6.0）
7月	756	137	24			917	161	
8月	391	79	11			481	90	
9月	374	77	4			455	81	
10月	325	78	11	1		415	90	5日 福島県沖（M6.0）
11月	546	113	31	4		694	148	9日17時03分 三陸沖（M6.9） 9日17時14分 三陸沖（M6.1） 9日17時54分 三陸沖（M6.6） 10日16時23分 三陸沖（M6.4）
12月	658	141	22	5	2	828	170	8日23時15分 青森県東方沖（M7.5） 9日03時56分 青森県東方沖（M6.1） 9日06時52分 青森県東方沖（M6.6） 10日23時52分 青森県東方沖（M6.0） 12日11時44分 青森県東方沖（M6.9） 28日00時05分 台湾付近（M7.0） 31日23時26分 岩手県北東沖（M6.1）
令和8年（2026年）								
1月	420	111	19	3		553	133	6日 島根県東部（M6.4） 13日 択捉島南東沖（M6.3） 22日 硫黄島近海（M6.5）
2月	506	122	20	1		649	143	22日 千島列島（M6.1）
2026年計	926	233	39	4	0	1202	276	
過去1年計	5597	1203	179	22	2	7003	1406	

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和8年2月に長周期地震動階級*1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和8年2月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11
令和6年 (2024年)	15	0	1	4	0	1	0	1	0	0	1	0	23
令和7年 (2025年)	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	4	3	13
令和8年 (2026年)	3	0											3

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和7年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202512/202512furoku_10.pdf

なお、気象庁が発表する「長周期地震動に関する観測情報」の最新情報は、気象庁ホームページ（以下 URL）をご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和8年2月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は87回であった。

平成19年10月～令和8年2月に発表した緊急地震速報の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)	0(51)	1(82)	1(60)	0(61)	0(62)	17(824)
令和6年 (2024年)	20(376)	2(104)	2(82)	4(90)	0(54)	2(81)	0(68)	2(65)	0(62)	0(61)	1(109)	0(63)	33(1215)
令和7年 (2025年)	1(82)	0(54)	1(60)	1(71)	0(54)	2(93)	2(136)	0(69)	0(50)	1(42)	2(105)	3(107)	13(923)
令和8年 (2026年)	5(109)	0(87)											5(196)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。